

資料 2



燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会
実行委員会

第12回 常任委員会 報告事項

燃ゆる感動 かごしま国体

燃ゆる感動 かごしま大会

スローガン

熱い鼓動 風は南から

令和5年3月22日(水)

自治会館 4階 ホール

目 次

○ 報告事項

ア 総務専門委員会

- (ア) 文化プログラム事業の追加等----- 1

イ 広報・県民運動専門委員会

- (ア) 運営ボランティア募集要項の改訂-----23

ウ 競技専門委員会

- (ア) 特別国民体育大会 自衛隊協力要請計画-----27
(イ) 特別国民体育大会 自転車競技（ロード・レース）コース変更-----29
(ウ) 特別国民体育大会 競技会場名変更，競技会会期変更-----31

エ 式典専門委員会

- (ア) 式典実施要項の改訂-----33

オ 宿泊・衛生専門委員会

- (ア) 馬事衛生対策要項の改正----- 35
(イ) 特別国民体育大会 報道員及びその他大会関係者宿泊規程
の改正-----53
(ウ) 特別国民体育大会 宿泊事務実施要領の改正-----55
(エ) 燃ゆる感動かごしま大会 宿泊事務実施要領の改正-----61

カ 全国障害者スポーツ大会専門委員会

- (ア) 燃ゆる感動かごしま大会実施要綱-----67
(イ) 燃ゆる感動かごしま大会競技実施要項-----79
(ウ) 燃ゆる感動かごしま大会競技別実施要領-----83
(エ) 燃ゆる感動かごしま大会リハーサル大会荒天時等対応要領-----117

〔1〕文化プログラム

1 目的

多くの県民が文化・芸術活動を通じて「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」に参加することにより、開催気運を醸成し、鹿児島らしさを生かした県民総参加の大会の実現を目指すとともに、本県の誇る文化や伝統など、多彩な魅力を全国に発信するため、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会文化プログラム事業を実施する。

2 事業概要

(令和5年3月7日現在)

※ ★印がついている事業は、前回の国体委員会後に申込みがあったもの、(中止)とあるものは、承認後に中止が決定した事業です。

※ 二重下線がついているところは、前回の国体委員会後に変更があったものです。

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
鹿 児 島 市	錦江湾公園はなまつり	令和5年4月23日(日)(予定)	公園内の約240種、1,300本のバラが見頃を迎え、色とりどりの花と香りを楽しめます。また、花と緑の講習会や散策オリエンテーリングなど、様々な催しが行われます。
		錦江湾公園	
	RunRunトレイルかごしまinグリーンファーム	令和5年4月23日(日)	走って、収穫して、食べる！全国初の農業体験×トレイルランニング大会。1周約2.5km、標高差約130mの自然遊歩道を使用したコース。
		鹿児島市観光農業公園(グリーンファーム)	
	薩摩偉人 維新伝心隊による「維新演劇シアター」	令和5年5月上旬～(予定)	明治維新期の史実を現代風にコミカルに描いた演劇、かごしま弁講座なども織り交ぜ、鹿児島ゆかりの偉人たちに扮し語りかけられる歴史物語の舞台上演。
		鹿児島市維新ふるさと館	
	第13回博物館まつり	令和5年5月21日(日)	国際博物館の日(毎年5月18日)を記念し開催。博物館が行っている科学教室や楽しい実験などを多数実施し、自然科学の楽しさを体験できる貴重な機会。
		鹿児島県立博物館	
	第38回 む 展	令和5年5月30日(火)～6月4日(日)	武蔵野美術大学卒業生の有志による展覧会。鹿児島に縁のある者が出張し、1982年に第1回目を開催。2023年で38回を数える。基本、年1回鹿児島市立美術館で開催。
		鹿児島市立美術館 1階第1, 第2, 第3展示室	
	ジュニアヨット教室	令和5年5月頃の土日(全5回講座)	小中学生を対象に、全5日間の講座(講義・実技)を通して、初心者レベルでのセーリングが可能な技術を習得できるヨット教室。(オプティミスト級ヨット)
		平川ヨットハーバー	
	シーカヤック体験講座	令和5年5月～6月の土曜日または日曜日	錦江湾を活用し、鹿児島の豊かな自然を感じながら2人乗りシーカヤックの体験ができる講座。親子対象の日程と、一般(高校生以上)対象の日程がある。
		磯海水浴場 または 生見海水浴場	
かごしまヨット教室	令和5年5月頃の土日(全5回講座)	全5日間の講座(講義・実技)を通して、初心者レベルでのセーリングが可能な技術を習得できるヨット教室。	
	平川ヨットハーバー		
第72回南日本書道展	令和5年6月6日(火)～6月11日(日)(予定)	1951年に第1回展が始まった公募展。一般の部、学童の部に加えて、今回から高校の部を新設。展覧会では入賞入選作や委嘱作家の作品などを展示。	
	鹿児島県歴史・美術センター黎明館		
令和5年度第1回黎明館企画展「初公開資料展 幕末・維新」(仮)	令和5年6月6日(火)～8月27日(日)(休館日あり)	幕末・維新期の収蔵資料の中から、貴重な内容を含みながらも展示機会に恵まれていない資料を紹介する。現代語訳を用意し、わかりやすく解説する。	
	鹿児島県歴史・美術センター黎明館		
令和5年度 親子読書研修会	令和5年6月25日(日)	親子読書の説明や、県内読書グループによる取組発表・実演、講演会など	
	かごしま県民交流センター 県民ホール		
第53回南日本写真展	令和5年6月27日(火)～7月2日(日)	単写真、組み写真の2部門に、例年千点を超える出品がある。展覧会では日常・自然の営みや世相を捉えた作品などから選ばれた入賞入選作を展示。	
	鹿児島市立美術館		
生涯学習ふれあい展示①	令和5年7月8日(土)～7月16日(日)	県民が生涯学習として取り組んでいる創作・文化活動の成果を発表する場及び市町村の体験活動などの各種情報を提供。	
	かごしま県民交流センター6階ギャラリー第1		

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
鹿 児 島 市	★鹿児島市eスポーツフェスタ (仮)	令和5年7月8日(土) センターラス天文館	新たなスポーツコンテンツとしてのeスポーツの振興や認知度向上、交流人口の拡大を目的として、eスポーツイベントを開催する(仮)
	第42回南日本ジュニアピアノ コンクール	令和5年7月中旬～8月下旬※優秀賞受 賞者演奏会開催予定は8月下旬 南日本新聞会館みなみホール	参加資格は高校生以下。公開の予選と本選で優秀賞と入選を決める。後日、優秀賞受賞者による演奏会で、南日本音楽コンクールフレンズコンサートの出演者を選出。
	ヨットとふれあう体験帆走	令和5年7月頃 平川ヨットハーバー	指導者が操作するスナイプ級ヨットに同乗し、帆走体験ができる(1回20分から30分程度)
	第6回錦江湾潮風フェスタ	令和5年7月下旬(予定) ウォーターフロントパークほか	多くの観光客や市民に鹿児島市の貴重な観光資源である錦江湾や桜島の魅力を感じてもらうため、「錦江湾潮風フェスタ」を開催する。
	第45回「少年の主張鹿児島県 大会」	令和5年8月6日(日)(予定) 鹿児島県青少年会館	人格形成で重要な時期にある中学生が、日常生活の中で考えていることを広く県民に訴え、社会の一員としての自覚を促し、中学生の健全育成に対する県民の理解を深める。
	文化財研修講座	令和5年8月上旬 未定	県内の文化財に係る講演等を通して、文化財への理解と認識を深め、文化財愛護思想の普及を図り、文化財保護行政の一層の推進を図る。
	南日本小学生バレーボール 2023年大会	令和5年8月上旬 南栄リース桜島アリーナ(予定)	鹿児島県内のバレーボールに親しむ小学生相互の親睦と連帯を深めるとともに、心身の鍛錬に努めスポーツの振興を図る。
	南日本U-12サッカー大会	令和5年8月19日(土)～令和5 年8月23日(水) 南栄リース桜島グラウンド・南栄 リース桜島広場	サッカーに親しむ子供たちの技術向上と心身の育成・発達を図り、大会を通して親睦を深め相互の友情の輪を広げ、正しく創造力豊かな人間を育成しスポーツ振興に努める。
	第21回かごしま錦江湾サマー ナイト大花火大会	令和5年8月19日(土) 鹿児島港本港区	桜島・錦江湾ジオパークのエリアにある活火山桜島と波静かな錦江湾という世界に誇れる自然景観を背景に、夏休みの一大イベントとして開催。
	第1回貴重資料紹介展	令和5年8月中旬～ 鹿児島県立図書館 ロビー	鹿児島県立図書館所蔵の貴重資料の公開
	かごしまラバーズプロジェク ト事業	令和5年8月～12月頃 未定	鹿児島市の多彩な魅力を磨き、発信するため、市民や首都圏の若者などを対象としたワークショップや首都圏報告会・交流会を開催。“鹿児島ファン”の拡大を図る。
	かごしま国体関連展示	令和5年9月1日(木)～10月31 日(火) 鹿児島市立天文館図書館	2023年10月7日から10月30日にかけて実施される「かごしま国体」「かごしま大会」の認知促進、啓発を目的とした関連展示を天文館図書館にて実施する。
	令和5年度第2回黎明館企画 展「古代末・中世初の領主居 館」(仮)	令和5年9月5日(火)～11月26 日(日)(休館日あり) 鹿児島県歴史・美術センター黎明 館	令和5年9月末開催を計画する黎明館企画特別展「中世の争乱と南九州」(仮)に関連し、展示内容の前提となる中世前期の南九州の領主の様子について紹介。
	第1回かごしまの歴史文化講 演会	令和5年9月上旬 鹿児島県立図書館 大研修室	鹿児島の歴史に関する講演会
	第32回シルバー文化作品展	令和5年9月(期間未定) 鹿児島県歴史・美術センター黎明 館	高齢者の趣味活動や文化創作意欲を高めることにより、心身ともにすこやかな生きがいを推進することを目的に、高齢者の創作した文化作品を展示・表彰する。
	ゆめ・ときめき鹿児島ねんり ん大会	令和5年9月頃 川商ホール	功労者表彰及び地域芸能大会の開催
	第2回鹿児島県高校対抗eス ポーツ選手権大会 全国高校e スポーツ交流大会	令和5年9月または10月(予定) 南日本新聞会館みなみホール	鹿児島県内の高校生主体で企画・運営するeスポーツ高校対抗戦(団体戦・個人戦)および全国の高校生を対象としたオープン戦。

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
鹿 児 島 市	令和5年度黎明館企画特別展「中世の争乱と南九州の武士たち」(仮)	令和5年10月1日(日)～令和5年11月5日(日)(予定)(休館日あり) 鹿児島県歴史・美術センター黎明館	鎌倉時代の蒙古襲来などに、南九州の武士たちがどのように対応したかについて、軍勢催促状や軍忠状などの史料を中心に、関連する考古資料や絵画資料等を基に紹介。
	市民一斉清掃「クリーンシティかごしま2023」	令和5年10月1日(日)～11月30日(木) 町内会等、団体の活動区域内	市内全域における一斉清掃活動を行う。また、町内会等が実施する清掃活動で出たごみの回収を行う。
	第24回かごしま木材まつり	令和5年10月28日(土)～10月29日(日) イオンモール鹿児島1階「空の広場」「水の広場」「インフォメーション権特設会場」	県内で作成された木製品等の展示により、県民の県産材への理解を深めるとともに、その普及を通じて、県産材の需要拡大及び業務の活性化に資することを目的とする。
	生涯学習ふれあい展示②	令和5年10月28日(土)～11月5日(日) かごしま県民交流センター6階ギャラリー第1	県民が生涯学習として取り組んでいる創作・文化活動の成果を発表する場及び市町村の体験活動などの各種情報を提供。
	全国スポーツ写真展	令和5年10月頃(予定) 鹿児島県庁1階ロビー	全国スポーツ写真コンクール2023の入賞作品を展示 ※全国スポーツ俳句展と同時開催。
	全国スポーツ俳句展	令和5年10月頃(予定) 鹿児島県庁1階ロビー	第3回 全国スポーツ俳句コンクールの入賞作品を展示 ※全国スポーツ写真展と同時開催。
	農福連携マルシェ2023「秋の収穫祭」	令和5年10月(予定)2日間開催 鹿児島中央駅アミュ広場	①障害者就労施設等による生鮮野菜や加工品等の販売 ②障害者就労施設等によるイベント(参加施設の利用者による楽器演奏等)
	2023 かごしまの新特産品コンクール	令和5年10～11月のうち1日(予定) 鹿児島サンロイヤルホテル(予定)	県内で新たに開発・製造・改良された商品のコンクール。入賞商品を広くPRすることにより、その販路拡大に努め、もって活力ある地場産業の育成・振興に寄与する。
	秋のお祭り「薩摩文化の祭典IN石橋記念公園」	令和5年10月下旬～令和5年11月上旬(うち1日) 石橋記念公園	市無形文化財「西田橋地突唄」「上町傘鉾」実演、石橋歴史パネル展示他。
	第7回「ぞ展」～百花繚乱、造形を超えて～	令和5年10月28日(土)～11月5日(日) 長島美術館 別館 地下展示場	鹿児島県在住者の造形美術グループ展。2017年から年に1回、長島美術館にて開催。今回で7回目。平面(油絵、イラスト、写真、版画)から立体造形まで約150点展示予定。
	第72回おはら祭	令和5年11月2日(木)～令和5年11月3日(金・祝) 天文館電車通り一帯	南九州を代表する市民のまつりとして、また、多くの観光客を誘致できる魅力的な観光イベントとして「おはら祭」を開催し、観光都市鹿児島のアピールにつなげる。
	第8回かごしま食育フェスタ	令和5年11月4日(土) AMU広場	食育の推進を図るため、各種展示や体験、鹿児島の食材等の販売などを行うイベントです。
	令和5年度鹿児島県障害者保健福祉大会	令和5年11月9日(木) かごしま県民交流センター(県民ホール)	「障害者一人ひとりの人格と個性が尊重される社会づくり」を目指し、障害や障害者に対する県民の理解と認識をより一層深めることを目的とする。
	音楽や伝統芸能に触れ親しむイベント(予定)	令和5年11月18日(土)～11月19日(日) アミュ広場、歴史ロード維新ふるさとの道、加治屋まちの杜公園	音楽や伝統芸能などの文化芸術に触れ親しむ文化イベントを開催する。
	全国都道府県対抗eスポーツ選手権 2023 KAGOSHIMA	令和5年11月18日(土)、19日(日)(予定) センターラス天文館、天文館アーケード(予定)	全都道府県で予選が行われるeスポーツの全国大会。複数の競技タイトルで日本一を決める。「いきいき茨城ゆめ国体・大会」の文化プログラムとして開催され、本大会で5回目。
	第43回ランニング桜島大会	令和5年11月26日(日)(予定) 南栄リース桜島広場	日本ジオパークに認定されている活火山「桜島」の麓で開催されるランニング大会。【種目】ハーフマラソン、10km
	第34回 薩摩焼フェスタ	令和5年11月29日(水)～12月3日(日) かごしま県民交流センター	薩摩焼のブランドの確立と需要拡大及び消費者ニーズを的確に捉えた商品開発等の成果について、県内の窯元が一堂に会し県内外の皆様へ作品を紹介する。

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
鹿 児 島 市	第56回鹿児島県古武道大会	令和5年11月頃	鹿児島県にある古武道の10流派が、毎年年1回集まって演武大会を開催しています。大人から子供（小学生から最高年齢85歳まで）男女問わず参加しています。
		鹿児島市中央公民館（予定）	
	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」シンポジウム	令和5年11月（予定）	基調講演、パネルディスカッションなどを実施する。
		未定	
	すぽどんジュニアスポーツ EXPO(仮称)	令和5年11月頃（予定）	市内の小学生を対象に、鹿児島市スポーツ振興協会の加盟団体等によるスポーツ体験会等を行うことにより、スポーツへの興味・関心へのきっかけづくりの場を創出。
		鹿児島国際大学 フィールドハウス（予定）	
	あったか交流フェスタ2023	令和5年12月3日（日）	障害者週間に合わせて実施(あったかステージ、文化教室体験、展示即売会、障害者スポーツ体験、障害者の芸術文化に関する展覧会)
		ハートピアかごしま	
	令和5年度第3回黎明館企画展「南九州の山の民俗」(仮)	令和5年12月5日(火)～令和6年3月3日(日)(休館日あり)	信仰、狩猟・採集・焼畑、山仕事の切り口から、貴重な資料や写真をとおして、南九州の山の民俗を紹介する。
		鹿児島県歴史・美術センター黎明館	
	第2回かごしまの歴史文化講演会	令和5年12月23日（土）	鹿児島の歴史に関する講演会
		鹿児島県立図書館 大研修室	
	ほっとフェス	令和5年12月23日（土）～12月24日（日）	講演会、バックヤードツアー、ロビーコンサート、図書館ミニ講座、おはなしのじかんを開催。
		鹿児島県立図書館	
	第2回貴重資料紹介展	令和5年12月下旬～	鹿児島県立図書館所蔵の貴重資料の公開
		鹿児島県立図書館 ロビー	
	黎明館開館40周年記念シンポジウム	令和5年12月の土曜日、又は日曜日の午後（半日）	開館40周年を迎え、考古、歴史、民俗、美術・工芸それぞれの分野の研究者から、当館が鹿児島の歴史・文化に果たしてきた役割などをお話いただく
		鹿児島県歴史・美術センター黎明館	
	鹿児島市維新ふるさと館	通年	幕末の薩摩や日本の様子と明治維新を支えた英雄たちの姿を展示、映像、ゲームなどでわかりやすく紹介、体験できる観光施設。
		鹿児島市維新ふるさと館	
黎明館 常設展示	通年（休館日あり）	1階から3階にわたり、考古、歴史、民俗、美術・工芸それぞれの分野の資料を展示。鹿児島の歴史や文化に触れることができる。	
	鹿児島県歴史・美術センター黎明館		
鹿児島市立ふるさと考古歴史館 常設展示	通年（休館日あり）	鹿児島市の歴史を実物資料やパネルを用いて、わかりやすく紹介する。	
	鹿児島市立ふるさと考古歴史館		
かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館	通年	鹿児島にゆかりのある作家を中心とした文学作品や資料、ミニアスレチック、トリックアート、絵本のお城等	
	かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館		
鹿児島市立科学館	通年	桜島や鹿児島の地史などに関する常設展示、ロケット発射場など宇宙開発に関する常設展示等	
	鹿児島市立科学館		
旧鹿児島紡績所技師館（異人館）	通年	日本初の洋式紡績工場である鹿児島紡績所の技術指導にあたったイギリス人技師の宿舎。平成27年に世界文化遺産に登録された。	
	旧鹿児島紡績所技師館（異人館）		
平川動物公園	通年	南国鹿児島らしい、緑に囲まれた自然の中で、楽しく、遊びながら動物の生態を観察したり、動物とのふれあいを通じて、自然保護や動物愛護の精神を学べる動物公園。	
	平川動物公園		
いおワールドかごしま水族館	通年	九州最大級の水族館。鹿児島の海の生きものを中心に約500種3万点を展示。世界最大の魚ジンベエザメやカツオ・マグロの群れ、大型のエイが泳ぐ黒潮大水槽は圧巻。	
	いおワールドかごしま水族館		

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
鹿児島市	鹿児島市立美術館	通年	黒田清輝、藤島武二など郷土作家の作品、桜島など郷土の風景を描いた作品のほか、モネ、ピカソ、ロダンなど西洋の近現代美術の巨匠の作品を展示。
		鹿児島市立美術館	
	西郷南洲顕彰館	通年	西郷隆盛（南洲翁）に関する資料・ジオラマ等の常設展示等
		西郷南洲顕彰館	
	ランチタイムコンサート	毎週金曜日 ※閉庁時は除く	30分のミニコンサート
		市民アートギャラリー	
	桜島ビジターセンター	通年	桜島のメカニズム、歴史等の紹介
		桜島ビジターセンター	
	石橋記念公園・石橋記念館 平常展示	通年（休館日あり）	鹿児島市の甲突川にあった五石橋のうち、平成5年8月の集中豪雨災害の流出を免れた西田橋などを移設復元。五石橋の歴史や技術等を伝える展示等
石橋記念公園・石橋記念館			
どこでもヨガ	令和5年4月1日（土）～令和5年12月31日（日）期間内で月1回程度	鹿児島市内各所の季節を感じることができる自然の中や、人気の観光地等でヨガを行い、心身共にリフレッシュでき、鹿児島市の魅力を再発見できるイベント。	
	鹿児島市内各地		
KAGOSHIMAシティウォーク	令和5年4月1日（土）～令和5年12月31日（日）期間内に4回程度開催	鹿児島市内各地の歴史、文化、食、自然など、豊かな地域資源に触れながら楽しく歩くウォーキングイベント。	
	鹿児島市内各地		
すぼどんジュニア体カアップ 教室	令和5年4月～12月の期間内で計12コマ開催予定	子どもの体力向上および運動習慣の向上を目的とし、市内の小学4～6年生を対象とし、県内の大学の先生や民間講師の指導を年間通して受ける。	
	鹿児島市体育施設等		
鹿屋市	★南日本クロスカントリー大会 IN きほく	令和5年5月上旬（予定）	起伏のある輝北うわば公園の地形を生かしたクロスカントリー競争を開催
		輝北うわば公園	
	★かのやマリンフェスタ2023	令和5年7月中旬（予定）	バナナボート・SUPなどのマリンスポーツや、ビーチサンダルとばし・綱引きなどのマリンイベントを開催
		高須海岸、浜田海岸	
	★第54回 鹿屋市文化祭	令和5年11月4日（土）～11月5日（日）	市内文化団体による作品展示及び舞台発表
		鹿屋市文化会館	
★王子遺跡資料館	通年	弥生時代中期の王子遺跡から見つかった出土品と復元住居の展示	
	鹿屋市王子遺跡資料館		
★輝北歴史民俗資料館	通年	鹿屋市内の明治時代から昭和の暮らしの道具の展示	
	輝北歴史民俗資料館		
★串良歴史民俗資料室	通年	鹿屋市内の発掘調査で見つかった出土品の展示	
	串良ふれあいセンター内串良歴史民俗資料室		
枕崎市	こどもの日かつおまつり	令和5年5月4日（木）～5月5日（金）	子どもの健やかな成長を枕崎特産の縁起魚「かつお」にあやかろうと始まった祭りです。特産品即売会、かつお一本釣り大会、かつお節削り大会などを開催。
		南薩地域地場産業振興センター周辺	
	さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつり	令和5年8月上旬（2日間）	昭和26年8月から航海の安全と大漁、五穀豊穡、商売繁盛、地場産業の振興を祈念して始められた、南薩摩最大の夏祭り。
枕崎漁港一帯			
枕崎市総合文化祭	令和5年10月22日（日）～11月17日（金）	市民や枕崎市文化協会会員による書道や絵画等の展示を行う。また、市民芸能祭では舞踊や歌などの舞台発表が行われる。	
	枕崎市市民会館/枕崎市文化資料センター南浜館		

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
枕崎市	常設展「～郷土ゆかりの作家コレクションから～」	通年	南浜館のコレクションから、郷土ゆかりの作家である山口長男、海老原喜之助、吉井淳二、藤田嗣治などの作家の作品を中心に紹介・展示。
		枕崎市文化資料センター南浜館	
阿久根市	ひな女祭り	令和5年5月27日(土) ※対象者がいない場合は開催されない	佐潟地区で江戸時代以前から、旧暦の4月8日に子孫繁栄を願い行われる伝統的な祭り。同地区出身者(男性)の長女を背負い家族・親族等の関係者がハンヤ節を踊る。
		佐潟漁協広場	
	笠山観光農園	令和5年6月1日(木)～令和5年6月30日(金)	阿久根市の北部、脇本地区にある笠山は初夏の紫陽花、冬には鶴の北帰行が見られる穴場の観光スポット。
		笠山観光農園	
	海水浴場開設	令和5年7月1日(土)～令和5年8月31日(木)	阿久根市内3海水浴場の開設。阿久根大島海水浴場と脇本海水浴場は「快水浴場百選」にも選定。
		①阿久根大島海水浴場、②脇本海水浴場、③大川島海水浴場	
	阿久根みどこい夏まつり	令和5年7月29日(土)	パレードやハンヤ総踊りで盛り上がる阿久根の夏の風物詩
		阿久根市内各所	
	第25回あくね洋画展	令和5年8月26日(土)～令和5年9月3日(日)	県内屈指の風光明媚で豊かな郷土阿久根の魅力の再発見と文化の薫るまちづくりを目的として、ジュニアの部(小・中学生)と一般・高校生の部に分けて公募展を開催。
		風テラスあくね(阿久根市民交流センター)	
第76回阿久根市総合文化祭	令和5年11月4日(土)～11月5日(日)	市内の幼児・小・中・高の児童生徒及び各種生涯学習講座・文化協会等で活動している市民の作品の展示、演芸披露など1年間の活動成果を発表する。	
	風テラスあくね(阿久根市民交流センター)		
第40回あくねボンタンロードレース大会	令和5年12月3日(日)	ボンタンの生産地として知られる阿久根市において、黄色に色づくボンタン路で健康増進と体力の向上を図るとともにふるさとの味覚と香りを満喫するマラソン大会。	
	阿久根総合運動公園陸上競技場(発着場)		
阿久根市産業祭	令和5年12月中旬	阿久根の特産物の販売、お楽しみ抽選会、ステージイベント等	
	阿久根総合運動公園内 総合体育館		
寺島宗則記念館	通年	阿久根市出身の偉人である松木弘安(寺島宗則)の旧家で、松木弘安(寺島宗則)の生涯や功績を伝える歴史資料を展示。	
	寺島宗則記念館		
出水市	史跡めぐり歩こう大会	令和5年第2日曜日または第3日曜日	先人が残した旧跡等を歩いて訪ね、ふるさとの文化や歴史についての見聞を広め、身近にある景観や豊かな自然に接しふるさとを愛する豊かな心を育み健康増進を図る。
		出水市内	
	高尾野兵六踊り	令和5年9月23日(土)	藩政時代から旧高尾野町内で踊られている。紫尾神社で開催される豊年秋祭りにおける奉納行事。
		紫尾神社	
	出水市青年の家主催事業 秋の自然まつり「第22回青年の家フェスティバル」	令和5年10月15日(日)	クラフト活動等を通して、出水市青年の家の理解や自然の素晴らしさを体験してもらう。
		出水市青年の家	
	出水市本町通り土曜祭り	令和5年10月28日(土) (予定)	昔からの店舗が並ぶ商店街を巡ってもらう子ども向けイベントや学生や地元ダンスチーム等によるステージの他、市内外のハンドメイド作家によるマルシェも同時開催。
		出水市本町通商店街	
	いずみマチ・テラス	令和5年10月下旬～11月	市内各地に竹灯籠の展示。会場では、ステージイベントやマルシェを開催。台湾から寄贈された巨大なドラゴンランタンの展示もある。
		出水麓武家屋敷 他	
出水市ツル観察センター	令和5年11月1日(水)～令和6年3月2日曜日	出水市は令和4年に国内初のラムサール条約湿地自治体に認証された。展望所や屋上からは出水平野を舞うツルの雄大な姿を間近で見ることができる。	
	出水市ツル観察センター		
西日本オールドカーフェスティバル	令和5年11月3日(金) (予定)	毎年九州各地遠くは関西地方からも昔懐かしい車やオールドバイク、発動機が一同に会する九州最大級のカーイベント。	
	出水市野田運動場 他		

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
出水市	出水市大産業祭	令和5年11月18日(土)～11月19日(日) 屋根付き市民ふれあい広場	ふるさと特産市、農林水産まつり、飲食まつり、交通安全フェア、各PRブースなど、さまざまなイベントを同時開催する。
	出水市出水駅観光特産品館「飛来里」	通年(休業:1月1日) 出水市出水駅観光特産品館「飛来里」	九州新幹線出水駅に隣接し、観光案内所や出水をはじめとする北薩地域の特産品の販売所、食事処、休憩所等がある。
	出水市公開武家屋敷「竹添邸」「税所邸」	年中無休 出水市公開武家屋敷「竹添邸」「税所邸」	江戸時代、薩摩藩の重要な防衛拠点であった「出水麓」は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、令和元年に日本遺産にも認定されている。大河ドラマのロケ地にもなった。
	出水市出水麓歴史館	通年(毎月第3水曜日休館) 出水市出水麓歴史館	出水麓武家屋敷群に関する資料を収集・保管・調査研究・展示。出水の歴史と文化を通じた交流の場となっている。
	出水市ツル博物館クレインパークいずみ	4～10月:毎週月曜日休館(祝日のときは翌日) 11～3月:無休 出水市ツル博物館クレインパークいずみ	ツル、出水の自然に関する展示。自然に関する観察会や公開講座、講演会などを実施。
	出水市高野山公園	年中無休 出水市高野山公園	紫尾山系を背景に出水平野、八代海、天草を一望でき、キャンプ場、宿泊施設やBBQコーナー、70メートルのローラースライダー等がある。
	出水麓武家屋敷群で着物着付・茶道体験	年中無休(事前予約が必要) 出水麓武家屋敷内	江戸時代の雰囲気が残っている出水麓武家屋敷群を、着物を着て散策し、当時の薩摩の武士の生活・生き様を体験してもらう。
	いずみ観光牛車	通年(土日祝運行)※要予約、雨天時と大晦日、元旦は運行しない 出水麓武家屋敷群	令和元年に薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～の構成文化財「出水麓」として日本遺産に認定され、そこを黒毛和牛が引く牛車でゆったり観光して回る。
指宿市	九州オールドカーフェスタ in 指宿かいもん	令和5年4月16日(日)(予定) かいもん山麓ふれあい公園	オールドカー・珍車・希少車等の展示。その他ステージにて催し物の開催。屋台等の出店も有り。
	フラワーパークかごしま「スプリングフェスティバル」	令和5年4月22日(土)～5月7日(日)(予定) フラワーパークかごしま	未定
	アロハ宣言セレモニー	令和5年4月29日(土) ふれあいプラザなのはな館	南国指宿を全国にアピールするため、市長による「アロハ宣言」を行い10月末まで市民のユニホームとしてアロハシャツの着用を呼びかける。フラダンスの披露等も同時開催。
	ヒラメの稚魚放流会	令和5年5月13日(土)(予定) 指宿港海岸(太平次公園横)	ヒラメの稚魚3,000匹の放流
	第11回砂むしカップ ビーチバレー大会(仮称)	令和5年5月14日(日)(予定) 指宿港海岸(太平次公園横)	ビーチバレーボール大会の開催
	フラワーパークかごしま「ジャカラダ祭り(仮称)」	令和5年5月27日(土)～6月11日(日)(予定) フラワーパークかごしま	未定
	第90回山川みなと祭り	令和5年6月3日(土)～6月4日(日)(予定) 山川漁港内港周辺(花火大会は外港周辺)	航海の安全と大漁を祈願する祭り
	第20回いぶすきフラフェスティバル(未定)	令和5年6月9日(金)～6月11日(日) 指宿総合体育館	コンペティション[競技会]、エキシビション[発表会]等
	いぶすきシェルコレ2023	令和5年6月17日(土)～8月31日(木)(予定) 指宿市考古博物館 時遊館COCCO はしむれ	館内に市内の貝類研究者や市外の博物館が所蔵する貴重な標本を展示することで、生物の多様性や面白さを伝え、児童生徒が夏休みの自由研究に取り組むための一助とする。

会場地	事業名	期 日	事業内容	
		会 場		
指宿市	第34回いぶすきシルバー美術展	令和5年7月30日(日)～8月16日(水)(予定) 指宿市考古博物館 時遊館COCCO はしむれ	第34回の開催を迎える、鹿児島県内在住の60歳以上を対象とした公募美術展。	
	かいもん夏祭り	令和5年8月11日(金)(予定) かいもん山麓ふれあい公園	祭事・神輿担ぎ、フリーステージ(地元芸能)・特別ゲストステージ、花火大会(約3,000発打ち上げ)、その他関連イベント	
	開聞郷土芸能祭	令和5年8月28日(日)(予定) 開聞総合体育館	指宿市文化協会開聞支部会員による郷土芸能の披露。しだら節をはじめ上野棒踊り、田中手拍子踊り、脇浦古琴節、神舞、龍宮太鼓など。	
	ミニ企画展「太陽国体今昔物語」	令和5年9月16日(土)～11月5日(日)(予定) 指宿市考古博物館 時遊館COCCO はしむれ	太陽国体時と比べて、現在の生活や社会は大きく変化した。ミニ企画展「太陽国体今昔物語」で使用したパネルを展示し、激変した鹿児島現代史を振り返る。	
	第76回指宿温泉祭(未定)	令和5年9月23日(土)～9月24日(日)(予定) セントラルパーク指宿及び周辺地域・湯権現	土曜日:前夜祭(ハンヤ踊り、いぶすき菜の花大使披露等) 日曜日:本祭(湯権現祭事、神輿渡御(降神祭・昇神祭)等)	
	開聞岳の日	令和5年9月24日(日)(予定) かいもん山麓ふれあい公園	例年、開聞岳の標高924メートルにつなんで、9月24日を開聞岳の日としてイベントを開催。	
	フラワーパークかごしま「ハロウィーンフェスティバル」	令和5年10月14日(土)～10月31日(火)(予定) フラワーパークかごしま	未定	
	開聞地域文化祭	令和5年11月5日(日)(予定) 開聞総合体育館	指宿市文化協会開聞支部会員による開聞地域文化祭。日舞やフラダンス等の芸能部門と、絵画、短歌、書道等の作品の展示部門がある。	
	山川地域文化祭	令和5年11月12日(日)(予定) 山川文化ホール	指宿市文化協会山川支部会員による山川地域文化祭。日舞やフラダンス等の芸能部門と、絵画、短歌、書道等の作品の展示がある。	
	指宿地域文化祭	令和5年11月18日(土)～11月19日(日)(予定) 指宿市民会館	指宿市文化協会指宿支部会員による指宿地域文化祭。日舞やフラダンス等の芸能部門と、絵画、短歌、書道等の作品の展示部門がある。	
	指宿市生涯学習フェスティバル	令和5年11月25日(土)(予定) ふれあいプラザなのはな館及び指宿市民会館	市民や生涯学習関係団体の関係者が一堂に会し、社会教育等に関する各種表彰や講座等の作品展示等を実施する。人権教育講演会も同時開催。	
	グリーンフェスタいぶすき	令和5年12月2日(土)～12月3日(日)(予定) ふれあいプラザなのはな館	観葉植物・花き・熱帯果樹等の品評会・展示・即売、苗木の無料配布等	
	いぶすき産業まつり	令和5年12月2日(土)～12月3日(日)(予定) ふれあいプラザなのはな館	地元特産品の展示即売、郷土芸能披露・ステージショー、グリーンフェスタいぶすき(観葉植物等の品評会・展示即売会)等	
	フラワーパークかごしま「ウィンターフェスティバル」	令和5年12月9日(土)～令和6年1月2日(火) フラワーパークかごしま	未定	
	西之表市	★TANEGASHIMA CUP ヨットレース	未定 西之表港沖～鹿児島湾入り口(予定)	西之表港沖から鹿児島湾入り口で行われるヨットレース。ヨットレースの魅力、マリンスポーツの魅力を体感しながらレース参加者と島民の交流を深めよう。
	垂水市	高峠つつじ祭り	令和5年4月下旬(予定) 高峠つつじヶ丘公園	つつじの見頃を迎える高峠つつじヶ丘公園にて、地元で採れた農産物を活かした加工品や特産物等の販売、4つの観光施設間で行うスタンプラリーなどを開催。
ウォーキングin猿ヶ城		令和5年5月下旬(予定) 三和センターから猿ヶ城溪谷	猿ヶ城溪谷の自然に触れながらウォーキングで健康づくりを図るイベント。	

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
垂水市	第25回瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクール	令和5年6月初旬（予定）	吹奏楽の原点である行進曲の父、瀬戸口藤吉翁の故郷である本市の音楽文化の向上を図るとともに、日本の吹奏楽発展のため寄与を目的として行われるコンクール。
		垂水市文化会館	
	第25回瀬戸口藤吉翁ふるさとコンサート	令和5年6月初旬～中旬（予定）	垂水市の偉人・行進曲の父である「瀬戸口藤吉翁」を顕彰する事業。例年、海上自衛隊音楽隊による演奏会を行う。
		垂水市文化会館	
	たるみずふれあいフェスタ夏祭り2023	令和5年8月初旬～中旬（予定）	垂水市最大の夏のイベント。錦江湾の美しい海岸線を背景に音楽花火、水中花火など息つく間もなく豪華花火が打ち上がり、屋台やステージイベントも開催される。
		未定	
	第17回錦江湾シーカヤック大会in垂水	令和5年8月頃（未定）	錦江湾の美しい海岸線を活かし、シーカヤック競漕やカヌーボートボール、バナナボートなどの試乗体験ができる海の体験型イベント。
		マリンパークたるみず海岸	
	たるみずふれあいフェスタ秋の産業祭	令和5年11月初旬（未定）市民文化祭と同時開催	垂水市の秋の風物詩である秋の産業祭は、ステージイベント、市内業者による特産品の販売、特産品の当たる空くじなしの抽選会などが行われる。
垂水中央運動公園キララドーム他			
第46回垂水市民文化祭	令和5年11月初旬（未定）秋の産業祭と同時開催	太鼓、合唱、日本舞踊、ダンスなどの舞台発表や、華道、写真、絵画、押し花、児童・生徒の作品などの展示発表が行われる。	
	垂水市文化会館・垂水中央運動公園体育館		
たるみず千本イチョウ祭り	令和5年11月下旬～令和5年12月初旬（予定）	昭和53年から園主ご夫妻が私有地に植樹した約1200本のイチョウ並木が無料で一般公開され、夜にはライトアップされる。平成23年3月に鹿児島県景観大賞を受賞。	
	垂水千本イチョウ園		
大野原（うのばい）いきいき祭り	令和5年12月3日（日）（予定）	大野原地区特産のつらさげ芋や野菜、ぜんざい、もちなどの特産品コーナーや演習林散策などのイベント、豚汁などの温かい振る舞いも行われる。	
	大野地区公民館別館（旧大野小中学校）		
第9回和田英作・和田香苗記念絵画コンクール	令和5年12月中旬～12月下旬（未定）	垂水市出身の和田英作・和田香苗両画伯の名をいただいた絵画コンクール。一般部門（高校生以上）、ジュニア部門（垂水市内の未就学児、小・中学生）の作品を展示。	
	垂水市市民館・垂水市文化会館		
薩摩川内市	川内川花火大会	令和5年8月16日（水）（予定）	川内商工会議所が主催し、以下の趣旨で実施する花火大会。
		川内川 太平橋下流 河川敷一帯	
薩摩川内はんやまつり	令和5年11月5日（日）	毎年11月第1日曜日に、音楽隊、神輿パレードに、路上パフォーマンス、迫力満点の「武者行列」が披露さ、約5,000人が参加して「はんや踊り」を踊る。	
	国道3号線		
日置市	湯之元馬頭観音馬踊り	令和5年4月9日（日）	明治25年から続く伝統的な神事。色鮮やかに着飾った鈴かけ馬と踊り連が太鼓・三味線・おはやしにのり、東市来町湯之元地区の温泉街を練り歩き、観光振興を図る。
		東市来町湯之元温泉街	
	（中止）ふるさと港まつり	中止	地域振興と活性化、水産物の販路拡大・魚食の普及を目指すため、芸能発表・魚つかみ捕り・漁船乗船体験・抽選会などを行う。
		江口漁港	
	せつぺとべ	令和5年6月4日（日）	文禄4年（約420年前）から日吉地域に伝わる「お田植え祭り」若い衆が田の中で円陣を組み、酒や唄を歌いながら勢いよく飛び跳ね、今年一年の豊作を祈願する。
		日置八幡神社、吉利鬼丸神社	
	江口浜海浜公園海水浴場の海開き	令和5年7月中旬～令和5年8月31日（木）	吹上浜初の人工ビーチをはじめ、トイレ・シャワー棟、イベント広場、江口蓬萊館などを備え、アクティビティエリアも充実。
江口浜海浜公園			
日置市子ども読書活動推進大会	令和5年7月22日（土）	おはなし会や工作のワークショップ等	
	日置市中央公民館		
北山の火振り	令和5年8月15日（火）	毎年8月15日のお盆の日に北山納骨堂広場で行われる。起源には諸説あるが、魂を極楽浄土へ導く送り火の行事として地域で200年以上行われている。	
	北山納骨堂広場		

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
日置市	伊作太鼓踊	令和5年8月28日(月)～8月29日(火)	6地区の保存会が持ち回りで南方神社において毎年8月28日の例祭に行っている。保存会は各地区で結成され、伊作太鼓踊の伝承に努めている。
		南方神社 他	
	令和5年度日置市伊集院文化会館自主文化事業 ひおきフラ フェスティバル 14th	令和5年9月9日(土)～9月10日(日) (予定)	市内外のフラ団体によるステージ。
		日置市伊集院文化会館	
	第73回妙円寺詣り行事大会	令和5年10月15日(日), 21日(土), 22日(日)	鹿児島の大三大行事の一つである「妙円寺詣り」に合わせて、弓道競技をはじめとする6競技、武者行列、太鼓踊り、生花展示、呈茶などを行う行事。
		徳重神社ほか各所	
	妙円寺詣りフェスタ2023	令和5年10月21日(土)・22日(日)	鹿児島の大三大行事の一つである「妙円寺詣り」を内外に広くPRすることにより、地域活性化と観光振興を図る(妙円寺詣りフェスタウォークラリーなど)
		徳重神社	
	第4回美山CRAFT WEEK (クラフトウィーク)	令和5年10月末～11月上旬※10日間ほど	薩摩焼で有名な東市来町「美山(みやま)」において、作家や職人の作品たちが訪れる方々を魅了。
		東市来町美山地区	
令和5年度日置市総合文化祭	令和5年11月23日(木) (予定)	市内各文化団体による舞台発表及び作品展示。	
	日置市伊集院文化会館		
第31回日置市ジュニアオーケストラ定期演奏会	令和5年12月17日(日) (予定)	子どもから大人までが所属する市民オーケストラの演奏会。(曲目等未定)	
	日置市伊集院文化会館		
みんなのYUMEタイムトライアル2023	令和5年12月17日(日) (予定)	「リレーマラソン」「キッズRUN」「みんなのタイムトライアル」など子どもから大人まで一日中楽しめるランニングイベント	
	日置市伊集院総合運動公園陸上競技場		
元外相東郷茂徳記念館	通年(休館日:毎週月曜日,年末年始(12月29日～1月3日))	薩摩焼の技法を美山に花咲かせた陶工たちの末裔である元外相東郷茂徳氏の生涯を時代背景とともに遺品・パネル・マルチ画面で展示紹介している。	
	元外相東郷茂徳記念館		
陶芸体験	通年(休館日あり)	ロクロ体験,手ひねり体験,絵付け体験など気軽に陶芸体験が楽しめます。作品の完成まで約1ヶ月程。完成作品は発送も可。	
	美山陶遊館		
曾於市	溝ノ口岩穴祭り	令和5年4月9日(日) (予定)	奴踊りや棒踊り,刀踊り(棒踊りと刀踊りは隔年奉納)が奉納される。パワースポットでの祭りは神秘的で一見の価値あり。
		溝ノ口洞穴	
	悠久の森ランニング大会	令和5年8月27日(日)	全国遊歩百選や美しい日本の歩きたくなるみち選定コースにも認定されている「悠久の森」を駆け抜けるマラソン大会。
		清流の森大川原峽キャンプ場(オートキャンプ場)	
	弥五郎どんまつり	令和5年11月3日(金) (予定)	・神事 ・弥五郎どん浜下り ・芸能大会 ・文化展示 ・武道大会 ・市中パレード
		岩川八幡神社および大隅町内	
	末吉の豊祭(住吉神社の流鏝馬)	令和5年11月19日(日)(11月第3日曜日)	約250メートルの参道を鳥居から神社へ向かって馬を馳せ、馬上から3か所の的を射る。的に当たれば当たるほど翌年は豊年と言われている。
		住吉神社	
	曾於市悠久の森ウォーキング大会	令和5年11月下旬(予定)	オープニングイベント,ウォーキングイベント,お楽しみ抽選会 など
		(受付)大川原キャンプ場(会場)悠久の森	
曾於市埋蔵文化財センター常設展	通年(土曜日,日曜日および祝日休館)	土器・石器などの展示に加え,太平洋戦争末期,特攻作戦に異議を唱えた部隊として知られる芙蓉部隊の展示コーナーを設けている。	
	曾於市埋蔵文化財センター		
末吉歴史民俗資料館 常設展	通年(休館日:毎週月曜日及び第3水曜日)	末吉町内の発掘調査による考古資料をはじめ,島津家久(忠恒)らが詠んだ短冊や上別府家の鎧等の歴史資料を展示している。	
	末吉歴史民俗資料館		

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
霧島市	霧島の環境を守るパネル展	令和5年6月1日(木)～6月14日(水)	市民の環境保全への理解および関心を高めるため、パネル展示する。
		国分シビックセンター1階共通ロビー	
	霧島神宮 狭名田長田 御田植祭	令和5年6月4日(日)	日本最古の水田と伝えられる神田「狭名田の長田(さなだのおさだ)」で行われる御田植祭。当日は霧島神楽も奉納される。
		狭名田の長田	
	霧島神宮 斎田御田植祭	令和5年6月10日(土)	霧島神宮の祭典で使用されるお米を育てる神事で、県の文化財に指定されている田の神舞も奉納される。
		霧島神宮 境内	
	第6回霧島市水産まつり	令和5年6月	・水産物、活け鮎、鮎飯の販売 ・鮎の塩焼体験等
		霧島市日当山温泉公園	
	鹿児島神宮 御田植祭	令和5年6月(旧暦5月5日を過ぎた日曜日)	豊作と家内安全を祈り、早男早乙女による儀式を行い、田の神舞やトド組、棒踊り等の奉納がある。
		鹿児島神宮	
	きりしま吹奏楽団演奏会	令和5年7月2日(日)	霧島市を拠点とした吹奏楽団であり、演奏会を実施。
		霧島市市民会館	
	第59回霧島国分夏まつり	令和5年7月中旬の2日間	毎年約13万人の人出で賑わう。初日は約6,000人による霧島総おどりで盛り上がり、2日目は太鼓競演、御輿五通りお披露目、国分寺御輿競走でフィナーレを迎える。
		霧島市国分市街地	
	第16回 大隅横川駅平和コンサート	令和5年7月30日(日)	鹿児島県最古の木造駅舎「大隅横川駅」がアメリカ軍戦闘機の機銃掃射による襲撃を受けた日に合わせて、平和を願い、同駅が平和の発信地となるように開催している。
		大隅横川駅	
	鹿児島神宮 六月灯夏祭り	令和5年7月	鹿児島神宮に奉納する六月灯のお祭り。
		鹿児島神宮	
	霧島神宮 六月灯(献灯祭)	令和5年8月5日(土)	大小さまざまな灯籠を境内に掲げて悪疫退散を祈念する。境内では演芸大会や花火大会を開催。
		霧島神宮 境内	
よこがわ夏祭り	令和5年8月上旬	地域振興と商店街活性化を目的とした市民参加型の手作り夏祭り。ちびっこ踊り、太鼓演奏、歌謡ショー、花火大会等を開催。	
	大隅横川駅前広場		
ふるさと霧島夏まつり	令和5年8月上旬	露店が祭会場を囲み、ステージイベントや来場者参加型のイベントが催される。祭り終盤、目の前に広がる約3,000発の花火は圧巻。	
	霧島運動場		
はんぎり出し	令和5年8月16日(水)	はんぎり(馬の飼料桶)に乗ってエッナ(ボラの子)を獲り、その場で背ごしにさせていただき、盆明けの精進落としの行事。	
	国分広瀬潮遊池		
第18回 天孫降臨霧島祭	令和5年8月第3週土日(予定)	地域に継承される民芸保存団体や霧島神楽、霧島九面太鼓が中心となり、西日本から著名な神楽・太鼓団体を招聘し、郷土芸能で夏の霧島の活力を発信。	
	未定		
霧島神宮 秋分祭	令和5年9月22日(金)	二十四節気の秋分の日に行う神事で、祭典後、境内で霧島神楽を奉納。	
	霧島神宮 境内		
霧島市国際交流パネル展	令和5年9月～10月(予定)	霧島市が交流を行っている姉妹都市や友好交流都市等に関する展示を行い、交流都市への関心を高め、国際理解の向上に努める。	
	霧島市役所国分シビックセンター		
竹子ふるさとウォーク	令和5年9月下旬(予定)	黄金色の稲穂と彼岸花が咲く里山の、のどかな風景に溶け込んで、のんびりウォーキングができる。	
	霧島市溝辺町竹子地区		

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
霧 島 市	野外音楽フェス～みやまの森の響き～	令和5年10月22日（日）	鹿児島県内で活躍している音楽団体を広く紹介するとともに、出演団体相互の交流を深めることを目的として、毎年開催している野外フェス。
		霧島国際音楽ホール・野外音楽堂	
	隼人浜下り	令和5年10月第3日曜日	隼人族の霊を慰めるために始まったとされている行事です。武者行列が鹿児島神宮から浜之市（海）まで歩き、魚を海に返す放生会を行う。
		鹿児島神宮～隼人港	
	かごしま遺跡フォーラム2023	令和5年10月（予定）	遺跡の調査成果を県民ほかに公開する。
		未定	
	霧島市みぞべ秋祭り	令和5年10月下旬	農林産物の品評会や各種のイベント、抽選会など地域住民が主体となった手作りの祭りが行われる。
		霧島市溝辺体育館	
	大隅横川駅ハッピーハロウィン“ヨコハロ”2023	令和5年10月下旬の日曜日（予定）	鹿児島県最古の木造駅舎を地域ぐるみで保存活用することで、駅を中心とした地域ににぎわいを創出することと交流人口の増大を目的に開催している。
		大隅横川駅	
	第8回霧島市文化協会溝辺支部文化祭	令和5年10月（予定）	文化協会溝辺支部の会員が、日頃の練習の成果を披露することで、市民が芸術に触れる機会を提供、（舞台・展示）
		霧島市溝辺公民館（みそめ館）	
	第16回 霧島文化祭	令和5年11月2日（木）～11月3日（金）	文化協会霧島支部の会員が、日頃の練習の成果を披露することで、市民が芸術に触れる機会を提供。（作品・展示）
		霧島公民館	
	霧島神宮 御神火祭	令和5年11月10日（金）	天孫降臨の神様を迎えたという炎の道しるべ。夜空を焦がす御神火と山々に響く太鼓の音が神話の浪漫へと誘う。
		高千穂河原 古宮跡	
	霧島ふるさと祭2023	令和5年11月上旬	霧島市各所に点在する特産品や産業の製品・技術、そして、農畜産物など第1次産業から第3次産業を広く市民に紹介。
		霧島市国分シビックセンターお祭り広場（霧島市役所駐車場）	
	第16回霧島市文化協会牧園支部文化祭	令和5年11月12日（日）	文化協会牧園支部の会員が日ごろの練習の成果を披露することで、市民の皆様が芸術に触れる機会を提供する。
		みやまコンセール	
第18回霧島市文化協会福山支部文化祭	令和5年11月12日（日）（予定）	文化協会福山支部の会員が日頃の練習の成果を披露することで、市民が芸術に触れる機会を提供。（作品展示・舞台発表）	
	福山活性化センター		
秋期ターゲットバードゴルフ大会（第52回県民の森杯）	令和5年11月18日（土）	県民の森（霧島市溝辺町丹生附地区）にある常設コース（18ホール）におけるTBG大会	
	鹿児島県県民の森ターゲットゴルフ場		
霧島神宮 新嘗祭（ほぜ祭り）	令和5年11月23日（木）	五穀の豊穰に感謝する神事が行われ、境内では子ども神輿や俵踊りなどの奉納行事が行われる。特産品や抽選会などの催しを終日開催。	
	霧島神宮 境内		
遺跡の現地説明会	令和5年11月（予定）	発掘調査中の遺跡を公開し、調査成果を説明する。	
	未定（県内の発掘調査現場で実施予定）		
霧島・食の文化祭	令和5年11月（予定）	「子や孫に残したい霧島の食は何ですか」のテーマのもと、霧島の家庭料理や郷土料理、食育ワークショップなどの開催。	
	霧島公民館（予定）		
温泉センター「神乃湯」（かみのゆ）	通年	気泡湯や打たせ湯、浮き風呂など様々なお湯が楽しめる温泉入浴施設。	
	温泉センター「神乃湯」		
つつじ祭り・花文字（惣陣が丘山頂）	つつじ祭り：4月下旬、花文字：通年	日本一の花文字と景観が楽しめるイベント。惣陣が丘プチ登山、植樹祭、紙ヒコーキ大会など。	
	惣陣が丘展望所		

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
霧島市	霧島市西郷公園	通年	高さ10.5m、重さ30トンにもなる西郷隆盛公の銅像があり、人物銅像としては日本最大を誇る。そのほか、西南戦争を描いた展示など。
		霧島市西郷公園	
	日当山西郷どん村	通年	日当山には西郷隆盛公が温泉や狩り、釣りなどを楽しんだ等のエピソードがあり、このとき西郷隆盛公が逗留していた龍寶家を基に建てられた。
		日当山西郷どん村	
	霧島市立隼人歴史民俗資料館 常設展	通年（休館日：あり）	鹿児島神宮関係の歴史資料や考古資料、民俗資料などの展示をしています。
		霧島市立隼人歴史民俗資料館	
	霧島市立国分郷土館 常設展	通年（休館日：あり）	霧島市国分地域に関する歴史資料や民俗資料を展示
霧島市立国分郷土館			
霧島市立隼人塚史跡館 常設展	通年（休館日：あり）	国指定史跡「隼人塚」の歴史や由来を紹介するためのガイダンス施設。	
	霧島市立隼人塚史跡館		
高千穂河原ビジターセンター	通年	霧島山の自然や文化について、解りやすく展示・解説を行うとともに周辺の観光に関する情報を提供している。	
	高千穂河原ビジターセンター		
霧島郷土芸能のタベ	年6回開催	地域に継承される民芸保存団体や霧島我楽、霧島九面太鼓が中心となり、固有の個性豊かな伝統芸能や、伝統文化を継承し後継者の確保・育成を行う。	
	みやまコンセール		
いちき串木野市	黎明祭	令和5年4月16日（日）	英国に向けいちき串木野市羽島から旅立った若き薩摩藩士19名。イギリスの先進技術を学んだ、その後の日本の近代化や国際化に大きく貢献した彼らの功績を顕彰する。
		薩摩藩英国留学生記念館	
	荒川ほたるでナイト	令和5年5月20日（土）（予定）	ホテルの絵画作品展示、ステージイベント（太鼓演奏など）、地元産野菜販売、ホテル鑑賞
		いちき串木野市荒川小学校周辺	
	串木野さのさ祭り	令和5年7月16日（日）（予定）	・市中流し（串木野さのさ、はんや節）
		串木野地域中心商店街	・当日祭（内容未定）
	祇園祭	令和5年7月29日（土）	活発な男山と優雅な装いの女山の山車が街中を練り進む。市指定無形民俗文化財の行事。
		湊町地区内	
	羽島南方神社太鼓踊	令和5年8月20日（日）	羽島南方神社の夏大祭。中高生を中心に小学6年生～30代の若者が色鮮やかな笠旗や花笠を身につけ、太鼓と鉦を鳴らしながら勇壮な踊りで五穀豊穡や無病息災を祈る。
		羽島南方神社	
	川上踊	令和5年8月27日（日）	約400年前に五穀豊穡と平和を祈念して創始されたものと伝えられる。鉦や太鼓を打ち鳴らし踊る様は勇壮華麗です。
		いちき串木野市川上地区	
	マリンビーチフェスタ2023	令和5年8月下旬	毎年8月最終日曜日に開催するビーチバレー大会。市内外から約40チームの参加で行われ、ビーチフラッグ等の催しもある。
		いちき串木野市照島海岸	
虫追踊	令和5年9月23日（土）	虫追踊は、大里地域12か所で奉納される行事で、稲に害をもたらす虫を追い払うための儀礼として始められたもの。	
	いちき串木野市大里地区		
いちき串木野市文化祭	令和5年11月上旬	市民文化センターで日本舞踊やフラダンスなどの舞台発表、いちきアクアホールで書道や写真などの作品を展示。	
	いちき串木野市文化センター、いちきアクアホール		
南さつま市	砂でつくる夢と感動！2023吹上浜砂の祭典	令和5年5月3日（水）～5月5日（金） 南さつま市役所市民交流広場を中心とした「まちなか」	「砂でつくる夢と感動」をメインテーマに、地域の貴重な資源である吹上浜の砂を活用して制作された砂像を展示する鹿児島県のゴールデンウィークを代表するイベント。

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
南さつま市	笠沙アートフェスティバル in 南さつま	令和5年5月24日(木)～11月18日(土)	東シナ海に面する鹿児島県南さつま市のシンボルである「海」をテーマに、写生画、想像画などを自由に描いていただく児童生徒美術展。
		南さつま市民会館	
	南さつま市「日新公いろは歌」短歌大会	令和5年6月3日(土)～令和6年1月20日(土)(予定)	薩摩藩郷中教育の礎となり、学んだ偉人たちが明治維新を成し遂げた「島津日新公いろは歌」の教えを広く知らせ、短歌文化の創造、文化振興の一助となることを願う。
		南さつま市民会館	
	竹田神社夏祭り	令和5年7月23日(日)	県指定無形民俗文化財の土踊(稚児踊・二才踊)の奉納や県指定有形民俗文化財の水車からくりの展示、各地域の郷土芸能などが行われる。
		竹田神社境内及びその周辺	
	第51回加世田ゆめびか本町七夕まつり	令和5年8月5日(土)～8月7日(月)	市内の子ども会・企業団体・商店街等が制作した色とりどりの七夕飾りが、歩行者天国になった商店街に展示され、町全体が七夕飾りで彩られる。
		加世田ゆめびか本町通り	
	金峰ふるさと夏まつり	令和5年8月15日(火)	ステージプログラム、ステージ外アトラクション、露天、商工会青年部特産品等販売
		金峰文化センター駐車場	
	南さつまフェスタふるさと総踊り	令和5年9月23日(土)	神輿パレード、音楽隊パレード、総踊りのほか、ステージイベントや特産品販売も開催。
		加世田ゆめびか本町通り	
	金峰ふるさつ産業まつり	令和5年11月19日(日)	式典、ステージプログラム、ステージ外での出店関係、野菜品評会即売・勾、竹とんぼ作り、祝い餅まき
道の駅きんぼう木花館・歴史交流館金峰			
健幸・福祉ふれ愛フェスタ	令和5年11月中旬(予定)	県立薩南病院の「市民講座」と併せて、保健・医療・福祉が一体となった市民ぐるみをつどいを開催し、「健康元気都市南さつま」の実現を目指す。	
	南さつま市総合保健福祉センターふれあいかせだ、南さつま市民会館		
歴史交流館金峰 常設展	令和5年4月1日(土)～12月28日(木)	金峰町で見つかった遺跡から出土した土器・石器などや、金峰町の民俗について展示。	
	歴史交流館金峰		
坊津歴史資料センター輝津館 常設展	令和5年4月1日(土)～12月28日(木)	国の重要文化財「絹本著色八相涅槃図」をはじめ、坊津が日本三津の一つとして海外貿易で繁栄を誇った時代からの貴重な文化財が展示されている。	
	坊津歴史資料センター輝津館		
くじらの眠る丘	通年	骨格標本展示 等(常設展)	
	くじらの眠る丘(大浦ふれあいパーク内)		
万世特攻平和祈念館	通年(12月31日・1月1日を除く)	万世飛行場跡に建つ祈念館。重要航空遺産に認定された現存する唯一の零式三座水上偵察機や特攻隊員の“至純の心”を綴った『血書』、遺品等を展示。	
	万世特攻平和祈念館		
志布志市	★太陽国体をふりかえる企画展	令和5年8月～10月頃実施(予定)	昭和47年開催の太陽国体をふりかえる展示を行う。
		志布志市埋蔵文化財センター	
★志布志市総合芸術祭	志布志市文化会館	令和5年10月中旬～下旬(予定)	文化団体に加入している会員が、市民総参加で創る文化をめざして日頃の芸術文化活動の成果を広く発表し、芸術文化の振興を図る。
奄美市	あまみっ子フェスタ	令和5年5月7日(日)	ゴールデンウィーク最終日に、奄美群島内の子どもたちによる郷土芸能やダンスなどを発表する。子どもを対象にしたイベント
		奄美パーク 屋内イベント広場	
	奄美パークわらべシマ唄大会	令和5年5月	奄美の伝統文化「シマ唄」を日頃から学び練習している奄美群島内在住の小中学生に練習成果を披露する場としてシマ唄大会を実施。
生涯学習講座 あまみならでは学舎(7回開催)	令和5年5月～(予定)	鹿児島県立奄美図書館	県民の学習意欲やニーズに応じたテーマで構成する「生涯学習講座」(高校生・一般向け)

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
奄美市	奄美の郷ライブステージ	令和5年5月	日頃から島唄や伝統芸能、ダンスなどの練習に励んでいる奄美大島内のパフォーマーの発表の場として開催するイベント
		奄美パーク 屋内イベント広場	
	田中一村記念美術館 夏の常設展	令和5年6月～9月	50歳で単身奄美大島に移り住み、奄美の自然や日本画による新たな美の世界を描き出した田中一村の幼少から晩年までの作品から夏をテーマに約80点を選び展示。
		田中一村記念美術館	
	田中一村記念美術館 創作体験教室（日本画講座）	令和5年6月	当美術館初代学芸専門員を講師として招き、日本画の特徴などをレクチャーし、墨や日本画水彩絵具を使って表現することを学ぶ体験教室
		奄美パーク 奄美の郷 レクチャールーム	
	県美展 -奄美関連作家展-	令和5年6月	県美展において、入賞・入選した作品のうち、奄美群島在住の作家による作品を一同に集めて展示を行う。
		田中一村記念美術館 企画展示室	
	ネリヤカナヤフェスタ	令和5年7・8月	来場者へ奄美の海の魅力を発信することを目的とし、写真展を実施。オープニングイベントとして奄美群島各地のフラダンスグループによるステージイベントを実施。
		奄美パーク 屋内イベント広場	
	WPAウォーターパーティーin奄美パーク	令和5年8月	奄美パークの屋外多目的広場を活用し、暑い夏の野外遊びの定番・水鉄砲を使ったチーム対抗バトルゲームを実施
		奄美パーク 屋内イベント広場	
	奄美パーク夏祭り～シマジマだより～	令和5年8月	奄美群島の島々から一つの島に焦点を当て、島唄や踊りなど、伝統芸能を披露するイベント
		奄美パーク 屋内イベント広場	
	奄美パークサマーコンサート	令和5年8月	奄美大島在住の子どもたちを中心に、島唄や伝統芸能、ダンスなどさまざまなパフォーマンスを披露するコンサートイベント
		奄美パーク 屋内イベント広場	
	田中一村記念美術館 夏休みワークショップ	令和5年8月	子どもの美術に対する興味・関心を高めるため、スケッチ会や万華鏡、風鈴づくりなどのワークショップを開催
		奄美パーク 奄美の郷 屋外管理棟（予定）	
	田中一村鑑賞会	令和5年9月3日前後	田中一村の生き方や作品の基礎知識（題材や構図、技法などの特徴等）について理解を深めることを目的に学芸員の解説による鑑賞会を実施。
		奄美パーク 奄美の郷 レクチャールーム/田中一村記念美術館 常設展示室、特別展示室	
田中一村記念美術館 秋の常設展	令和5年9月～12月	50歳で単身奄美大島に移り住み、奄美の自然や日本画による新たな美の世界を描き出した田中一村の幼少から晩年までの作品から秋をテーマに約80点を選び展示する。	
	田中一村記念美術館		
第22回 奄美を描く美術展	令和5年10月中旬～11月上旬	奄美のみならず、全国の美術愛好家から奄美をテーマに広く作品を募集し、優れた作品の美術展を開催。	
	田中一村記念美術館 企画展示室		
奄美パークハロウィンイベント	令和5年10月下旬	「トリックオアトリート」を合い言葉に来園者へお菓子をプレゼント。フォトブースの設置やワークショップなど、毎年内容を変えてイベントを実施。	
	奄美パーク 屋内イベント広場		
島尾敏雄記念室企画展	令和5年11月4日（土）～11月19日（日）	初代分館長の島尾敏雄に関する企画展及び研究成果の発表（一般向け）	
	鹿児島県立奄美図書館		
奄美パーク文化講演会	令和5年11月	地元の方々を対象に、環境や社会情勢などをテーマに著名人の講師を招き、講演会を実施。	
	奄美パーク 屋内イベント広場		
第13回田中一村記念スケッチコンクール	令和5年11月～12月	奄美の自然や生活などを題材に描いた作品を奄美群島内の小中学生を対象に募集し、優秀作品を展示。	
	田中一村記念美術館 企画展示室		
フユウンメコンサート	令和5年12月	フユウンメとは冬の折目という意味で、作物の収穫に感謝する祭り。来園者に奄美の季節の移り変わりを感じてもらうためのイベントを実施。	
	奄美パーク 屋内イベント広場		

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
奄美市	奄美パーク子どもクリスマス会	令和5年12月下旬 奄美パーク 屋内イベント広場	地域の子どもたちを対象にレクリエーションや大道芸のパフォーマンスを行い、地元企業から提供を受けた協賛品をプレゼントする。
	龍郷町立小・中学校図画工作・美術学習発表会	令和5年12月下旬～令和6月1月初旬 田中一村記念美術館 企画展示室	保護者や地域住民、観光客の方々に対して、学校教育における図画工作・美術科の学習内容や児童・生徒の学校での頑張りを感じていただく機会とする企画展。
南九州市	新茶・大野岳マラソンinえい	令和5年4月29日(土) 穎娃運動公園	陽春の南薩路(穎娃)を新茶の香りただよぶなか、お茶のPRと、参加者の健康と体力増進、ふれあいによる友情の広がりをねらい開催する大会。
	第25回知覧ねぶた祭	令和5年7月15日(土)(予定) 知覧まち商店街	勇壮な武者絵が描かれた扇方のねぶた大小8基がちらんまち商店街を練り歩く。威勢のいいかけ声に合わせ、観客も引き手の子どもたちも一体となってねぶたを運行する。
	川辺祇園祭・花火大会	令和5年7月23日(日) 川辺町商店街、諏訪運動公園	大正14年に始まった歴史ある伝統行事で、地域住民の無病息災・商売繁盛を目的とし、地域が一体となって取り組む。
	南九州市ふれあい球技大会	令和5年8月6日(日) 知覧平和公園 他	スポーツを通して市民の健康と明るく豊かな生活をおくことと、異世代間の交流を図ることを目的として開催する大会。(競技種目:グラウンド・ゴルフ)
	平和へのメッセージfrom知覧第34回スピーチコンテスト	令和5年8月15日(火)(本選) コミュニティセンター知覧文化会館	全国から選ばれた中学生・高校生各部門4人と一般の部上位1名が「いのち・平和」をテーマにしたスピーチを発表する。
	えいのゴッソイまつり	令和5年8月20日(日)(予定) 穎娃運動公園	ゴッソイ焼き(牛肉・バナメイエビ)や園児ゆうぎなど盛りだくさんの催しが計画され、穎娃(えい)の町がゴッソイ(全部の意味)ひとつになって開催。
	南九州市文化祭	令和5年11月2日(木)～11月3日(金) コミュニティセンター川辺文化会館・知覧文化会館・穎娃文化会館	例年11月2日、11月3日の2日にかけて各文化会館で行っており、見ごたえのある展示や芸能発表などがある。
	第28回小京都ふるさと祭	令和5年11月3日(金)(予定) 知覧平和公園自由広場・知覧体育館	市の基幹産業である「農業」と「観光」を合わせたイベントとして、歌謡ショーやふるさと自慢市、武者行列、農産物の即売会を開催する。
	ちらん灯彩路	令和5年11月11日(土) 知覧武家屋敷庭園	夜間なかなか入ることが出来ない庭園内の幻想的な和灯りを心から楽しんでいただきたいということから、ライトアップなどを実施し観光客の誘致と地域活性化を図る。
	かわなべ磨崖仏まつり	令和5年11月12日(日) 清水岩屋公園	清水磨崖仏を望む清水岩屋公園をメイン会場として、玉入れ合戦や大抽選会、地元とのグルメ・フリーマーケット、相撲大会、警察や自衛隊などの体験コーナー等がある。
	南九州市駅伝競走大会	令和5年12月3日(日) 粟ヶ窪小学校から川辺文化会館	南九州市各地区対抗。市民の融和と体力の向上を図りながらスポーツ文化の高揚と強じんな精神力を養い、健全で明るい街づくりに資するために開催。
	知覧特攻平和会館	通年(年中無休) 知覧特攻平和会館	第二次世界大戦末期の沖縄戦において戦死された陸軍特別攻撃隊員の遺影、遺品、記録等貴重な資料を収集・保存・展示。
	ミュージアム知覧	通年(毎週水曜日は休館) ミュージアム知覧	歴史民俗資料等の展示
	伊佐市	★伊佐市文化祭	令和5年11月3日(金) 伊佐市文化会館
★伊佐ふるさとまつり		令和5年11月11日(土)～11月12日(日) 伊佐市菱刈環境改善センター	生産者、消費者、関係機関が一体となってイベントを実施。郷土芸能や吹奏楽等ステージ発表と特産品・地元グルメ販売を行う。

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
始良市	みどりの感謝祭	令和5年4月29日(土)(予定)	県民に森林・林業に対する理解を深めてもらうため、県民の森において、一般参加者・緑の少年団等が参加する式典、森の散策、緑の教室などを実施する。
		鹿児島県県民の森	
	加音オーケストラ 第44回定期演奏会	令和5年4月30日(日)	ホールに直属するオーケストラとして「地域に根ざした音楽活動を行い地域文化に寄与する」という趣旨のもとに創立されました。年に2回、春と秋に定期演奏会を開催。
		始良市文化会館 加音ホール	
	森の散策とヨガで森林浴を楽しみましょう	令和5年8月27日(日)	県民の森(始良市北山地区)の溪流沿いの散策と緑陰でのヨガの体験
		鹿児島県県民の森	
	あいら市花火大会	令和5年9月中旬(予定)	始良市商工会青年部主催による花火大会を開催。
		加治木港	
	始良市文化協会蒲生支部蒲生文化祭	令和5年9月下旬	始良市文化協会蒲生支部の会員が日頃の練習の成果を披露することで、市民が芸術に触れる機会を提供。(舞台発表・作品展示)
		始良市蒲生公民館	
	始良市文化協会加治木支部加治木文化祭	令和5年10月下旬	始良市文化協会加治木支部の会員が日頃の練習の成果を披露することで、市民が芸術に触れる機会を提供。(舞台発表・作品展示)
		始良市文化会館 加音ホール	
	始良市文化協会始良支部始良文化祭	令和5年10月下旬	始良市文化協会始良支部の会員が日頃の練習の成果を披露することで、市民が芸術に触れる機会を提供。(舞台発表・作品展示)
		始良市始良公民館	
九州森林(もり)の日植樹祭	令和5年11月18日(土)(予定)	県民が森林・林業の社会的役割や意義について理解を深め、森林づくり活動への参加の促進や森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成を図るため開催。	
	鹿児島県県民の森		
始良市文化芸術祭	令和5年12月上旬	始良市文化協会の会員等が日頃の練習の成果を披露することで、市民が芸術に触れる機会を提供(舞台発表・作品展示)	
	始良市文化会館 加音ホール		
始良市ウォーキングイベント 歩こうよあいら	通年(年に20回程度)	四季を通して始良市内でのウォークイベントを開催。	
	始良市内		
スターランドAIRA	通年	プラネタリウムや大型望遠鏡による天体観測が体験でき、星に関することを学び、親しむことができる。	
	スターランドAIRA		
椋鳩十文学記念館	通年	椋鳩十に関する作品や資料の展示、執筆に取り組んでいた書斎の復元などを観覧できる。	
	椋鳩十文学記念館		
学びのカモコレ	未定(7月から月に数回開催予定)	特定非営利活動法人Lab蒲生郷が、これまで実績を重ねてきたカモコレの経験と人材を活かし、子どもから大人まで広く対象にした地域の学校。	
	蒲生ふるさと交流館		
三島村	黒島の盆踊り	令和5年8月15日(火)	黒島にある片泊と大里地区の両地区で踊られる盆踊り
		黒島片泊・大里	
	硫黄島八朔太鼓踊り	令和5年9月15日(金)～9月16日(土)	旧暦8月1日、2日に行われる。太鼓踊りの最中に2018年にユネスコ無形遺産に登録された「薩摩硫黄島のメンドン」が現れ、島の悪霊を祓う伝統行事。
硫黄島			
硫黄島の九月踊り	令和5年10月24日(火)～10月25日(水)	旧暦9月10日、11日に行われる。1日目の踊りはお伊勢参りの途中の様子を表し、2日目の踊りは宮ガラス(先導の女性)の案内で参宮の様子を表す。	
	硫黄島		
十島村	悪石島盆踊り	令和5年9月21日(木)～9月27日(水)	旧暦7月7日の夜から踊り始め、7月16日の最終日には、ボゼが出現して地域と人々の邪気を祓う。
悪石島地内			

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
十島村	口之島盆踊り	未定	代々、口承だけで受け継がれてきた戦国の世を語る狂言ややり唄とともに、十島村独特の先祖観を醸し出して踊られる一連の勇壮な盆踊り。
		口之島地内	
さつま町	(中止) 第22回奥薩摩のホタル舟運航	中止 さつま町健康ふれあいセンター「あび〜る館」	ホタルが無数に乱舞する川内川の上流を、棹差し舟でゆっくりと下りながら幻想的なホタルの乱舞を鑑賞する。
	宮之城伝統工芸センター祭り	令和5年5月5日(金)	子どもたちが竹細工指導員と一緒に竹とんぼや風車などを製作。竹とんぼを飛ばしてのかが入れゲームにも挑戦。
		宮之城伝統工芸センター	
	二渡ホタル舟	令和5年5月中旬～令和5年6月上旬	九州第2位の流域面積を誇る川内川で両岸に乱舞するホタルを間近で観賞できるホタル舟。乗船してホタルを観賞できるイベントは珍しく九州内ではさつま町だけの運航。
		二渡水辺公園 川内川河川敷内	
	2023さつま町夏まつり	前夜祭 令和5年8月5日 本祭 令和5年8月6日	夏の一大イベントである「さつま町夏まつり」。前夜祭が八坂神社境内で開催。
		さつま町夏まつり会場	
	さつま町文化祭	令和5年11月4日～令和5年11月5日(予定)	舞台発表(日本舞踊、五ツ太鼓、ダンス、歌謡、コーラス他) 作品展示(絵画、薩摩狂句、写真、ハンドクラフト他)
		さつま町宮之城文化センター、宮之城武道館	
	さつま町美術展	令和5年12月4日～令和5年12月25日(予定)	作品展示(町内の保育園、小中高生、一般)
さつま町役場			
ミニ門松作り体験会(予定)	令和5年12月(予定)	園内の竹を材料にしたミニ門松作りを行う。	
	北薩広域公園		
宮之城歴史資料センター常設展示	通年	さつま町の歴史や文化にまつわる資料や町内の埋蔵文化財発掘調査の成果、虎居城周辺の模型、宮之城島津家に関する資料が展示されている。	
	宮之城歴史資料センター		
長島町	第18回 長島トライジョギング大会	令和5年10月29日(日)～令和5年10月29日(日)(予定)	東シナ海の壮大な景観を眺め、風車やフラワーロード等、長島の自然を楽しみながら、健康づくりや仲間づくりなど自分の体力に応じてマイペースにジョギングが楽しめる。
		長島町文化ホール周辺	
湧水町	新緑あふれる栗野岳登山	令和5年5月上旬	登山ガイドと一緒に新緑あふれる栗野岳の登山
		栗野岳	
	霧島アートの森特別企画展 飯川雄大展	令和5年7月14日(金)～9月10日(日)	人の認識の不確かさや社会の中で見過ごされがちな事象に注目した飯川雄大の個展を開催。
		霧島アートの森	
	名水丸池感謝のタベ	令和5年9月2日(土)(予定)	竹灯籠を丸池の水面及び周辺に約1,000本設置して幻想的は空間を演出します。他にも、水辺コンサートや創作神楽などの催しがある。
		丸池公園	
	湧水町豊祭相撲	令和5年10月8日(日)	豊祭相撲をとおして、青少年の健全育成と文化の灯を守っていくことを目的とし、相撲大会を行う。
		湧水町相撲道場	
霧島アートの日	令和5年11月3日(金)	11月3日(文化の日)に合わせ、入場料を無料とし、マルシェ等のイベントを開催	
	霧島アートの森		
(中止) 湧水町秋まつり	中止	町民等が日頃の文化活動の成果やふるさとに受け継がれている郷土芸能の発表、秋の豊作祭・感謝祭として地域の農林水産物の販売などを行う。	
	吉松体育館、栗野中央公民館		
湧水町高原フェスタ・彫刻造形展	令和5年11月上旬	町内の自治体、小中学生などが自然の物を使い制作した迫力ある造形作品が見もの。また、高原コンサートや各種体験コーナーも充実している。	
	栗野岳レクリエーション村		

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
湧水町	湧水町秋まつり文化祭	令和5年11月13日(日)	町内の文化協会会員・各学校教育関係団体による舞台披露や作品展示, 郷土芸能保存団体による郷土芸能の披露。
		吉松体育館	
	湧水町舞台芸能祭	令和5年11月13日(日)	町内の文化協会会員による舞台披露や作品展示。
		吉松体育館	
	湧水町秋まつり	令和5年11月23日(木)	秋の豊作祭・感謝祭として地域の農林水産物の販売などを行う
		栗野中央公民館	
「日本棚田百選」ウォークin幸田	令和5年11月頃(予定)	棚田百選にも選ばれている幸田の棚田など幸田地区の田園風景を鑑賞しながら, 約10キロの道のりをウォーキングする。	
	湧水町幸田地区		
霧島アートの森(アートラボ)企画展①	未定	現代美術作家のアート作品を展示し, 特別企画展を開催	
	霧島アートの森		
霧島アートの森(アートラボ)企画展②	未定	現代美術作家のアート作品を展示し, 特別企画展を開催	
	霧島アートの森		
★くにの松原ビーチスポーツフェスタ	令和5年8月頃	ビーチスポーツ(ビーチバレー, ビーチフットサル, ビーチRUN)	
	ビーチスポーツ専用競技場		
★大崎町文化祭	令和5年11月頃	展示・舞台発表	
	大崎町中央公民館		
東串良町	★柏原大相撲	令和5年4月下旬～5月上旬(予定)	江戸時代中頃から続く年中行事の1つ。小・中・高校生による相撲の他, 乳幼児健康祈願の土俵入りなどが奉納される。
		東串良町相撲場	
	★祇園祭	令和5年8月中旬(予定)	商売繁盛を祈る祭り。神輿の後に市内の小中学生による子ども神輿も一緒に回り, 地域の方々がバケツ等で水をかけ, 身を清め健康と幸福を祈る。
東串良町コミュニティ広場			
★第45回東串良町文化祭	令和5年10月下旬(予定)	東串良町内の文化協力加盟団体による, 舞台発表や作品の展示の他, 町内保育園・幼稚園・小中学校の児童生徒等の作品の展示を行う。	
	東串良町総合センター		
錦江町	花瀬公園まつり	令和5年4月2日(日)	歌謡ショーやキャラクターショーなどの数多くのイベント実施。広い川床の石畳一角が会場になり, 露店が立ち並び, 地元特産のお茶や数々の特産品が販売される。
		花瀬川石畳	
	やまんなか音楽会	令和5年8月予定	会場に, 約5000個もの竹灯籠やペットボトルキャンドルが並び, 周囲の木々はライトアップされ, 幻想的な世界が広がる。
		花瀬自然公園	
	錦江レゲエ浜まつり	令和5年8月予定	都市と農村の交流を促進するため, 地域の発展と自立の実現を図ることを目的とする。神川海岸で開かれる海辺音楽祭。
		神川海岸	
錦江町いきいき秋まつり	令和5年11月12日(日)	錦江町の秋のイベントとして, 町民の融和と親睦を図り, 産業を興し活力あるまちづくりに資するため開催。	
	錦江町総合運動公園		
大根やぐらライトアップイベント	令和5年12月15日(金)～12月16日(土)	開聞岳と桜島を一望できる高台に11月から2月の間しか見ることのできない大根やぐら。そのやぐらが40基ほど立ち並び, 普段の景観とはひと味違った景色を楽しめる。	
	錦江町宿利原地区		
神川ビーチ影絵の祭典	通年	錦江町神川海岸に年間を通じて設置される影絵の祭典。季節ごとに様々な影絵が登場し, SNS映えするため多くの若者が訪れ, また開聞岳に沈む夕日に癒される。	
	神川海岸		

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
南大隅町	2023南大隅ふるさと祭り	令和5年11月23日(木)	・農林水産商工関係の特産品展示, 販売
		ふれあいドーム周辺	・健康まつり アトラクション, その他
	佐多岬マラソン&佐多岬31度線ウォーク	令和5年12月3日(日)(予定) 佐多岬ロードパークコース	マラソン3kmコース・5kmコース・10マイル(16km)コース, ウォーク5kmコース・8kmコース
	2023南大隅町ふれあい地産地消フェア	令和5年12月3日(日)(予定) 大泊海浜公園多目的交流施設(みさきドーム)	町特産品販売, 農林水産物加工品の紹介
肝付町	こども記念日withおおすみハナマルシェ(予定)	令和5年5月5日(金) 大隅広域公園内 大隅アリーナ21	「こども記念日」をテーマに, 大隅アリーナ21をメイン会場として, 各種展示や体験会・ステージショー・縁日遊び・マルシェ(雑貨, 飲食)等を開催する。
中種子町	★中種子町立歴史民俗資料館	通年	種子島最後の丸木舟の展示をはじめ, 農業, 漁業, 林業に使われた道具や, 明治から昭和までの民家の様子, 世界最古の落とし穴が出土した立切遺跡等の展示を行っている。
		中種子町立歴史民俗資料館	
南種子町	★ロケット祭	令和5年8月お盆前の日曜日もしくは祝日 南種子町総合グラウンド「前之峯陸上競技場」	町民のみならず, 島外からも多くの方が参加する夏祭りイベント。フィナーレの大火火はどの花火大会にも劣らない迫力と美しさがある。
屋久島町	屋久島町ふるさと産業祭り	令和5年4月下旬	地元の農林水産物等の展示販売によるPR, 郷土芸能や各種ステージショーを開催。町民の親睦と融和を図るとともに, 地域の活性化を図る。
		屋久島町すこやかふれあいセンター	
	第12回屋久島町芸能祭	令和5年6月25日(日)(予定)	屋久島町内において活動する文化団体並びに同好会, 個人等の活動発表の機会とし, 地域住民の文化の向上に努め, 郷土文化の振興に寄与する。
		屋久島町離島開発総合センター(予定)	
	屋久島ご神山祭り	令和5年8月5日(土), 6日(日)	屋久島における山岳信仰を踏まえた伝統・文化の継承を目的として毎年開かれる屋久島最大規模の夏祭り。
		屋久島町火之上山埠頭	
	屋久島夢祭り	令和5年11月4日(土)	屋久島の人々, 子ども達の夢や願いを込めて1万4千もの灯笼に明かりを灯す。祭りの最後には, 音楽に合わせて打ち上げられる「音響花火」が秋の夜空を彩る。
		安房如竹通り	
屋久島町文化祭	令和5年11月(予定)	屋久島町内において活動する文化団体並びに同好会, 個人等の活動発表の機会とし, 地域住民の文化の向上に努め, 郷土文化の振興に寄与する。	
	屋久島町離島開発総合センター(予定)		
屋久島町屋久杉自然館	通年(休館日あり)	世界的に極めて貴重な資源である屋久杉と, それを取りまく自然環境, 歴史, 島民とのかかわり等に関する資料を整理, 展示し, 文化活動及び学術研究に寄与する。	
	屋久島町屋久杉自然館		
屋久島町歴史民俗資料館	通年(休館日あり)	屋久島を中心とした地域の歴史, 芸術民俗産業, 自然科学等に関する資料を収集・整理・展示・活用。教育的配慮のもと町民一般の利用に供し, 教養調査, 研究等に資する。	
	屋久島町歴史民俗資料館		
屋久島環境文化村センター	通年(休館日あり)	登山情報や観光情報など各種情報を提供。また, 写真パネルなどにより屋久島の自然, 気象, 文化, 動植物などの情報提供や案内を行っている。	
	屋久島環境文化村センター		
大和村	★第7回大和村ジョギング大会	令和5年5月28日(日) 大和ダム周辺	大自然の中で, 参加者の健康維持と県内での国体開催を身近に感じ, スポーツの祭典に関心を持っていただけるよう開催する。
宇検村	★うけん市場祭り	令和5年12月(予定)	イベントを通じて, 宇検村の農産物・水産物・特産品や, 交流のある宮城県七ヶ宿の特産品等を紹介
		ケンムンの館前広場(予定)	
	★歴史民俗資料展示室	通年 宇検村生涯学習センター「元気の出る館」	宇検村に保存されている倉木崎海底遺跡の遺物とノロの遺品の展示

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
瀬戸内町	★2022加計呂麻島ハーフマラソン大会	令和5年11月	『走ろう「ロマンと神秘の島」感じて加計呂麻の風』をキャッチフレーズに、美しい大島海峡の爽やかな海風を感じながら走ることができる。
		瀬戸内町 瀬相港（スタート・ゴール）	
龍郷町	龍郷町ふるさと祭り	令和5年7月23日（日） 龍郷町役場周辺	奄美群島で1番早く行われる祭りであり、舟漕ぎ競争やステージでのイベント、花火大会を行う。
	秋名アラセツ行事	令和5年9月25日（月）（予定） 龍郷町秋名集落内	明け方に行われる「ショチョガマ」と夕方の「平瀬マンカイ」の二つの祭事。五穀豊穰に感謝し、来年の豊作を祈願する。
喜界町	生涯学習フェスタ	令和5年12月 喜界町体育館	公民館講座などの成果を舞台発表や作品展示により披露。地域でのふれあいや生涯学習意欲の啓発を図るイベント。
徳之島町	島口・島唄・民舞の祭典	令和5年7月上旬（予定） 徳之島町生涯学習センター 2階ホール	地元の島口・島唄自慢が、日頃の成果を披露。
	井之川夏目踊り	令和5年8月19日（土）～20日（日） 井之川集落	1日目の夕方は、親族縁者が海岸に集まり酒肴を交わした後、護岸の広場に集まり、午後11時ごろから一軒一軒を一晚中かかって踊り歩く。鹿児島県指定無形民俗文化財。
	ネンケ	令和5年8月中旬（予定） 亀徳集落	徳之島町亀徳地区で行われる毎年恒例行事。ネンケは、方言で「水掛け」を意味し、無病息災を願って水を掛け合う祭り。
	徳之島町文化祭	令和5年11月上旬（予定） 徳之島町文化会館	町文化協会主催で町最大の文化イベント。舞台発表（日舞、三味線、伝統芸能、ダンス、歌唱）と展示（短歌、書道、絵画、盆栽）を実施。
天城町	★奄美群島日本復帰70周年記念 全島闘牛大会	令和5年5月・10月 徳之島三町各闘牛場	5月場所・・・全島一・中量級・軽量級・ミニ軽量級 10月場所・・・全島一・中量級・軽量級・ミニ軽量級
	★奄美群島日本復帰70周年記念 第36回2023トライアスロンIN徳之島大会	令和5年6月23日（金）～6月25日（日） スイム（ヨナマビーチ）・バイク（徳之島一円）・ラン（天城町北部）	スイム（2km）・バイク（75km）・ラン（20km）合計97km。同一選手が連続して行う総合クラスと3種目を2～3選手が行うリレークラスがある。
	★奄美群島日本復帰70周年記念 第10回2023チャレンジKIDS徳之島大会	令和5年6月24日（土） 天城町B&G海洋センター・天城町総合運動公園内特設コース	カテゴリーを4部門に分けてスイム・バイク・ランを競う。
	★図書館まつり	令和5年7月上旬 天城町立図書館	読み聞かせ（パネルシアター・大型絵本・紙芝居）七夕飾り作成・飾り付け
	★水生生物観察会	令和5年7月下旬 三京川	三京川（秋利神川水系）の水生生物の観察を通して、観察会に参加する児童・生徒たちが三京川の生態系や生息する水生生物について学ぶ
	★奄美群島日本復帰70周年記念 第48回あまぎ祭	令和5年8月6日（日） 天城町平土野商店街周辺・あまぎ祭特設舞台	ボートレース大会・ちびっ子相撲大会・グランドゴルフ大会・パレード・歌謡ショー・お楽しみ抽選会・花火大会
	★奄美群島日本復帰70周年記念 徳之島民謡大会	令和5年8月中旬 三町持ち回り	徳之島町・伊仙町・天城町の民謡舞台発表部門・島口部門・伝統芸能部門
	★奄美群島日本復帰70周年記念 全島武道大会	令和5年10月中旬 三町持ち回り	日本古来の武道を通してスポーツ少年団・一般社会人の競技力の向上と親睦を図る。（柔道・剣道・空手・弓道）
	★ジュニアフェスタ・ふれあい読書フェスタ	令和5年11月下旬 天城町防災センター	多読賞校表彰・読書感想文発表・読み聞かせ

会場地	事業名	期 日	事業内容
		会 場	
天城町	★奄美群島日本復帰70周年記念 第52回天城町農業祭	令和5年11月中旬 天城町防災センター	各部門優秀農家表彰・事例発表・農業祭記念講演・優秀納税集落表彰 舞台イベント
	★奄美群島日本復帰70周年記念 第43回町民文化祭	令和5年12月中旬 天城町防災センター	舞台発表・伝統芸能発表・展示部門
伊仙町	★伊仙町歴史民俗資料館	通年 伊仙町歴史民俗資料館	国指定史跡カムイヤキ陶器窯跡や面縄貝塚群から出土した遺物を中心として、伊仙町の自然や歴史・文化を総合的に紹介している。
和泊町	和泊町 第63回港まつり	令和5年7月29日(土)～7月30日(日) 和泊町商店街及び長浜海岸	港まつりパレード、港まつり船こぎ大会、港まつり花火大会を開催。
	西郷南洲記念館	通年(定休日:月曜日・年末年始) 西郷南洲記念館	記念館には、西郷隆盛が過した格子牢が当時の場所に再現されており、書物や掛け軸、写真等が展示されている。
	和泊町歴史民俗資料館	通年(定休日:水曜日・祝祭日・年末年始) 和泊町歴史民俗資料館	和泊町の文化財などが展示されており、観光客や学校の授業等で利用されている。
知名町	★知名町生涯学習フェスティバル	令和5年11月4日(土)～11月5日(日) おきえらぶ文化ホール あしびの郷・ちな	・文化協会・公民館口座・福祉事業所等の作品展示 ・社会福祉関係表彰・公民館口座舞台発表
与論町	★生涯学習フェア・文化祭	令和5年11月頃(予定) 与論町砂美地来館	社会教育に関する講話を行うほか、文化協会に加盟している団体等による舞台・展示発表を行う。
全域	いきいきシルバースポーツ大会	令和5年9月～11月(予定) 県下7地区(鹿児島、南薩、北薩、始良・伊佐、大隅、熊毛、大島)	高齢者がスポーツ活動を通して心身の健康と生きがいの助長を図るとともに、高齢者に対する地域住民の理解と関心を高めることを目的とする。
	『シン・かごしま現代アート展』(仮題)	令和5年10月3日(土)～10月13日(火)を含む前後2週間程度 鹿児島空港、西郷銅像前広場、センターラス天文館など(予定)	本県出身のアーティストが国体期間中に作品展示を行い、来訪する選手やサポーターに、鹿児島県のアートの多様な魅力を癒やしとともに印象づけたい。
未定	★第51回鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業	令和5年7月下旬(予定) 鹿児島県内	鹿児島・岐阜で締結している姉妹県盟約に基づく青少年交流事業において、薩摩義士関連史跡の見学や鹿児島県内の散策などを行う。

※ 令和5年度の事業については、各自治体の予算議決を経て確定することから、現時点での予定を記載しているものがある。

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会運営ボランティア募集要項

1 目的

令和5年に開催される特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」及び特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」（以下「両大会」という。）において、全国から訪れる選手・監督などの来場者を県民総参加のもと、おもてなしの心でお迎えするため、両大会の開・閉会式等の運営を支える運営ボランティアを募集する。

2 募集主体

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会（以下「県実行委員会」という。）とする。

3 募集人数

特別国民体育大会 「燃ゆる感動かごしま国体」 1,900人
特別全国障害者スポーツ大会 「燃ゆる感動かごしま大会」 4,100人

4 募集期間

令和4年4月1日(金)から令和5年3月31日(金)まで
ただし、燃ゆる感動かごしま大会については令和5年4月30日(日)まで（定員に達し次第終了）

5 応募要件

平成23年4月1日以前に生まれた方（令和5年4月1日時点で12歳以上）で、活動日での参加が可能な方。ただし、応募時点で18歳未満の方の申込みについては、保護者の同意を得るものとする。

6 申込方法

登録申込書に必要事項を記入の上、県実行委員会事務局に持参・郵送・FAX・メール又は県実行委員会ホームページの応募フォームから申し込む。

7 申込区分

- (1) 個人
- (2) チーム（2人以上／チーム）

8 登録・取消

県実行委員会は、応募要件を満たした応募者を運営ボランティアとして登録し、「運営ボランティア登録証」を交付する。

なお、両大会のイメージを損なう行為等があった場合は、県実行委員会の判断で登録を取り消すことがある。

9 活動内容及び活動日

両大会の開・閉会式及び燃ゆる感動かごしま大会の各競技会場における来場者の受付・案内等の業務を補助する活動を行う。

(1) 活動種別・内容

種別	内容
受付・案内	来場者受付，会場案内，誘導，介助等
会場整理	観客改札，観客誘導，座席案内等
会場美化	装花管理，ゴミ箱管理，会場内清掃等
会場サービス	弁当・飲物の配布，車椅子貸出し等
式典運営	開・閉会式の式典補助等
医療救護	救護所での救護活動の補助等

(2) 活動日

区 分		活 動 日(令和5年)	場 所(予定)
燃ゆる感動 かごしま国体	総合リハーサル	9月30日(土)	鹿児島市
	総合開会式	10月7日(土)	
	総合閉会式	10月17日(火)	
	総合案内等	9月14日(木)～24日(日) 10月5日(木)～17日(火)	鹿児島市, 霧島市
燃ゆる感動 かごしま大会	リハーサル大会	5月20日(土)～21日(日)	鹿児島市
		6月3日(土)～4日(日)	いちき串木野市
	総合リハーサル	10月21日(土)	指宿市, 南九州市
	公式練習日	10月27日(金)～28日(土)	霧島市, 始良市
	各競技会	10月28日(土)～30日(月)	鹿屋市
	開会式	10月28日(土)	鹿児島市
	閉会式	10月30日(月)	
総合案内等	10月26日(木)～30日(月)	鹿児島市, 霧島市	

※上記以外にも、必要に応じて活動予定

10 活動日及び配置箇所の決定

運営ボランティアとして登録した者（以下「登録者」という。）の活動日・配置箇所については、研修後に実施する「活動希望調査」を参考に県実行委員会が決定する。

11 研修会等

(1) 県実行委員会は、両大会に関する認識を深め、開・閉会式等の円滑な運営を行えるよう、登録者を対象とした研修会等を実施する。

(2) チームの取扱い

ア 県実行委員会が実施する研修会にチームから少なくとも1人以上は参加すること。なお、代表して参加した者は、県実行委員会に代わって他のメンバーを対象とした研修会を行うこととし、これを受講した者は、県実行委員会の研修会に参加したものとみなす。

イ 次のいずれの条件も満たし、チームの要請があれば、県実行委員会は出前研修を開催する。

開催日等の調整は、県実行委員会と代表者との間で行う。

① チームが会場を準備すること。

② 出前研修の参加者が20人以上であること。

12 待遇

(1) 活動及び研修会等への参加に係る報酬は無償とし、交通費は自己負担とする。

(2) 識別用品（帽子・ベスト等）及び昼食については、必要に応じて県実行委員会が支給する。

(3) 活動及び研修会における事故に備え、県実行委員会の負担により、「傷害保険」及び「賠償責任保険」に加入する。

(4) ボランティアに参加した者へは、県実行委員会から記念章（かごしま大会は参加章）を交付する。

13 関係機関との連携

運営ボランティアの募集に当たっては、各会場地市町村実行委員会等と連携を図るとともに、学校、企業、社会福祉協議会及びNPO等の各種団体の協力を得るものとする。

14 個人情報の取扱い

(1) 応募者の個人情報については鹿児島県個人情報保護条例、その他関係法令の

規定に基づき、その保護を図るものとする。

- (2) 登録者の個人情報については、県実行委員会が主催する両大会の運営のために使用し、その他の目的には使用しない。ただし、ボランティア登録作業等に当たり、業務委託先に個人情報を提供できるものとする。また、申込時に各会場市町への個人情報提供に同意している登録者の情報に限り、各会場市町からの要請に応じて提供することができるものとする。
- (3) 研修会や活動の際に撮影した登録者の写真・動画については、両大会を広報する目的の限りにおいて、県実行委員会のホームページその他広報媒体に掲載できるものとする。

15 両大会延期前（令和2年度開催時）の登録者の取扱い

- (1) 両大会延期前から継続して登録している個人・グループへは、募集開始の時期に併せて登録継続についての意向確認を行い、継続意向のあった者については、登録を継続するものとし、改めて登録証を交付する。
※ グループについては、名称を「チーム」と読み替え、前項14の取扱いによるものとする。
- (2) 両大会延期前に研修会を受講済の者については、希望者を除いて、今後実施する研修会の受講を免除し、テキストの送付等により対応する。

16 その他

運営ボランティア活動にあたっての新型コロナウイルス感染症対策については、別途、県実行委員会が定める「新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」によるものとする。

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附則

この要項は、平成30年1月29日から施行する。

この要項は、令和4年3月1日から施行する。

この要項は、令和5年3月13日から施行する。

余 白

報告事項ウ（ア）

第21回競技専門委員会
令和5年2月15日 決定

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」競技別リハーサル大会 自衛隊協力要請計画

競技名	会場地	支援部隊	協力要請期間 【競技会会期】 大会名	競技会場	協力項目	協力要請規模		
						隊員数	主な装備品	用途
ローイング	鹿屋市	陸上自衛隊 (国分駐屯地)	令和5年6月15日～6月18日 【令和5年6月17日～6月18日】 令和5年度全九州高等学校体育大会 第58回全九州高等学校ボート競技大会	鹿屋市輝北ダム特設 ローイングコース	1 水路委員(ボートホルダー)(20人)	ライフジャケット (ボートホルダー20)	20	隊員着用
					2 水路委員(救助係)(6人)	救助艇(船外機付)	3	救助用
					3 現場統制(1人)			
馬術	霧島市	陸上自衛隊 (国分駐屯地)	令和5年4月29日(土)～6月11日(日) 【令和5年6月10日(土)～6月11日(日)】 燃ゆる感動かごしま国体馬術競技リハーサル大会	霧島市牧園特設馬術競技場	1 障害物設置、点検、保守及び撤去(1,2,3の合計で60人)	大型車両	1	隊員の移動、楽器の運搬用
					2 選手の救助及び救護補助(1,2,3の合計で60人)	中型車両	5	
					3 障害物設置等の事前訓練(1,2,3の合計で60人)	小型車両	2	
					4 式典ブラスバンド演奏(開始式「ファンファレー」)(10人)	楽器	一式	式典ブラスバンド演奏用
銃剣道	霧島市	陸上自衛隊 (国分駐屯地)	令和5年6月26日(月)～7月4日(火) 【令和5年7月2日(日)】 燃ゆる感動かごしま国体銃剣道競技リハーサル大会	霧島市立国分中央高等学校 精華アリーナ	1 競技運営支援(34人) 総務(3人)、放送・送受信(4人)、進行(3人) 会場・用具点検(5人)、提示・時計・標示・記録(12人) 協力隊長(1人)、戦評・速報報道・成績計算(6人)	大型車両	2	隊員の移動、競技用具(持回 品)運搬
					2 競技会場設置準備・撤去(11人)	中型車両	4	
						小型車両	2	

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」 自衛隊協力要請計画

競技名	会場地	支援部隊	協力要請期間 【競技会会期】	競技会場	協力項目	協力要請規模		
						隊員数	主な装備品	用途
ローイング	鹿屋市	陸上自衛隊 (国分駐屯地)	令和5年9月17日(木)～9月24日(日) 【令和5年9月21日(木)～9月24日(日)】	鹿屋市輝北ダム 特設ローイングコース	1 水路委員(ボートホルダー)(20人)	ライフジャケット (ボートホルダー20)	20	自衛隊員着用
					2 水路委員(救助係)(10人)	救助艇(船外機付)	5	救助用
					3 現場統制(1人)	ライフジャケット (救助係、要救助者)	20	自衛隊員着用(10人)、要救助者用(10人)
レスリング	日置市	陸上自衛隊 (川内駐屯地)	令和5年9月18日(月)～9月24日(日) 【令和5年9月21日(木)～9月24日(日)】	日置市吹上浜公園体育館	1 競技運営支援業競技会場設置(39人) 統括(1)、マットビデオ委員(20)、連絡・印刷・時計(18)	移動用マイクロバス 荷物運搬用トラック	2 2	自衛隊員の移動用 荷物運搬用
セーリング	鹿児島市	海上自衛隊 (佐世保警備隊)	令和5年10月6日(金)～10月11日(水) 【令和5年10月8日(日)～10月11日(水)】	鹿児島市平川 特設セーリング会場	1 救助艇の配置、水難者の救助及び海上輸送(18人) 2 救助母船の配置、緊急避難者の救助、海上安全全部隊員の配置、救助艇の指揮(61人) 3 無線通信網の構成、保守及び運用 4 ゴムボート等の競技用具貸与	自衛艦(1)、水中処分母船(1) 無線機 ゴムボート 双眼鏡	2 10 8 10	緊急避難態勢の構築用 救助船・本部船・陸上本部の通信 監視艇または救助艇 海上監視
馬術	霧島市	陸上自衛隊 (国分駐屯地)	令和5年9月23日(水)～10月15日(日) (本大会前の事前の訓練回を含む) 【令和5年10月11日(水)～10月15日(日)】	霧島市牧園 特設馬術競技場	1 障害物の設置、点検、保守及び撤去 2 選手の救助及び救護補助 3 障害物設置等の事前訓練 4 式典ブラスバンド演奏(開始式:ファンファーレ)(10人)	大型車両 中型車両 小型車両 楽器	1 5 2	自衛隊員の移動、楽器一式の運搬用
カヌー (スプリント)	伊佐市	陸上自衛隊 (川内駐屯地)	令和5年10月10日(火)～10月16日(月) 【令和5年10月13日(金)～10月16日(月)】	伊佐市菱刈カヌー競技場	1 救助艇の配置、選手救護及び操縦(12人) 2 審判艇の操縦(9人)	大型トラック 小型艇 大型トラック	1 3 1	小型艇搬送用のトラック 競技者の救護及び競技艇の移送 審判艇を操縦する自衛隊員移動用
カヌー (スラローム・ ワイルドウォーター)	湧水町	陸上自衛隊 (川内駐屯地)	令和5年10月12日(木)～10月18日(月) 【令和5年10月13日(金)～10月18日(月)】	湧水町轟の湖 特設カヌー競技場	1 自衛隊競技役員(総括)(1人) 2 傷病者の移送(8人) 3 競技艇搬込み運搬(6人) 4 競技艇引上げ(4人) 5 競技艇積み降ろし(2人)	無線機 双眼鏡 人員移送車 担架 運送用トラック	1 2 2 3	自衛隊員間の連絡(総括用(1)、傷病者の移送用(2)、競技艇搬込み運搬用(3)) 会場内監視 総括移送車両(1)、傷病者移送車両(1) 救助者用 競技艇運送用
銃剣道	霧島市	陸上自衛隊 (国分駐屯地)	令和5年10月9日(月)～10月18日(水) 【令和5年10月14日(土)～10月18日(月)】	霧島市立国分中央 高等学校精華アリーナ	1 競技運営支援(57人) 総務(11人)、放送・送受信(6人)、進行(6人) 会場・用具点検(7人)、提示・時計・標示・記録(17人) 協力隊長(1人)、戦評・速報報道・成績計算(9人) 2 競技会場設置準備・撤去(13人) 3 競技会運営補助(式典における演奏)(25人)	大型車両 中型車両 小型車両 楽器	4 6 1 一式	自衛隊員の移動、楽器及び競技用具(持回り品)運搬 自衛隊員演奏用
トライアスロン	天城町	陸上自衛隊 (国分駐屯地)	令和5年10月7日(土)～10月8日(日) 【令和5年10月8日(日)】	天城町 特設トライアスロン会場	1 傷病者の搬送に関すること(4人)	車両	2	自衛隊員の移動、傷病者の搬送用

特別国民体育大会 自転車競技（ロード・レース）コース変更

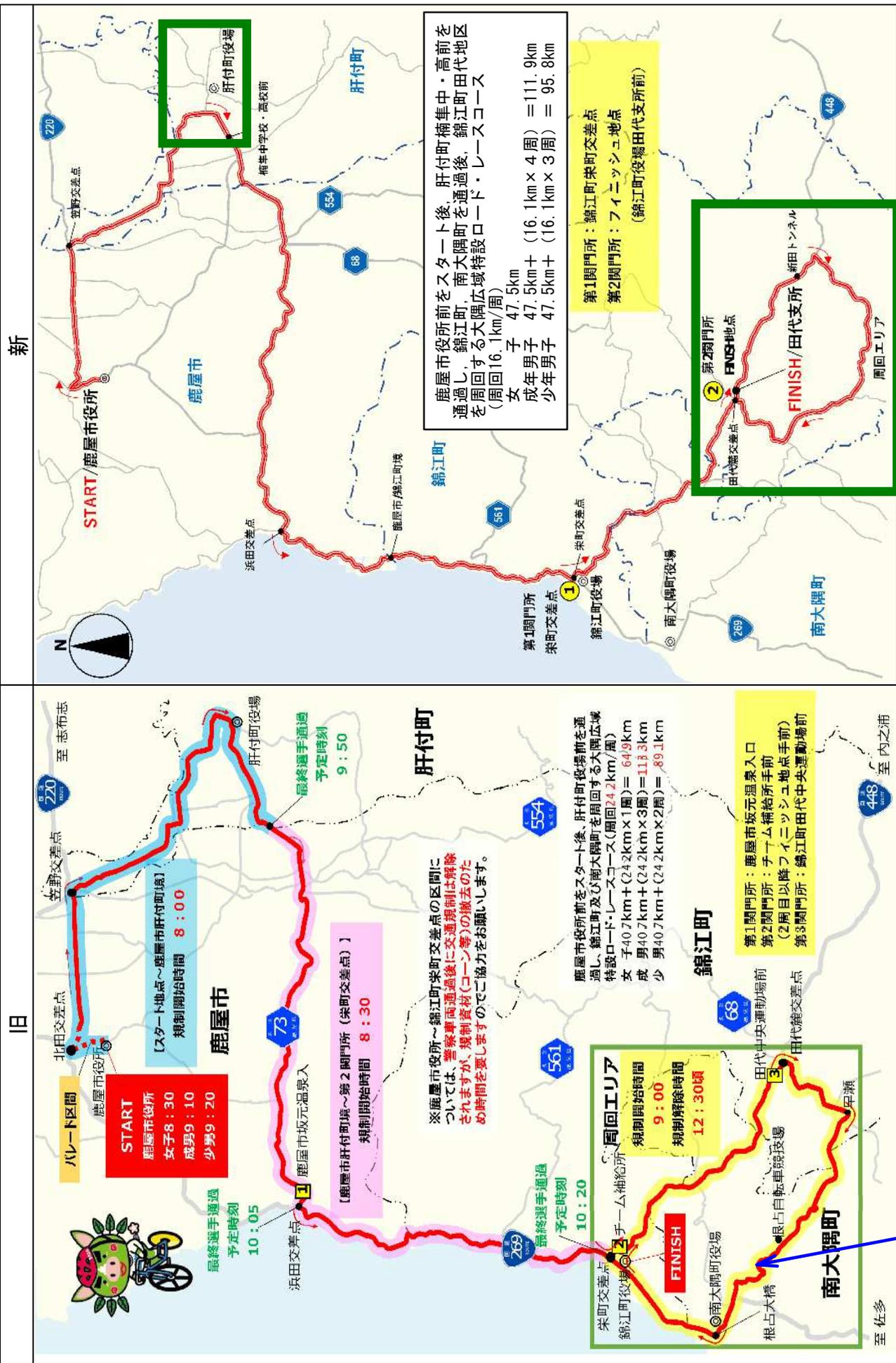
1 自転車競技（ロード・レース）コース変更の経緯

競技名（種目）	会場地市町村	競技会場名
自転車競技 （ロード・レース）	錦江町，鹿屋市， 肝付町，南大隅町	大隅広域特設ロード・レースコース
<p>自転車競技（ロード・レース）会場は、『大隅広域特設ロード・レースコース』として、鹿屋市役所前をスタート後、肝付町役場前を通過、錦江町及び南大隅町を周回し、錦江町役場前ゴールを予定し、2023年への延期決定後も同コースでの開催に向けて運営準備を進めていた。</p> <p>令和4年9月4日（日）に、国体の周回コース（錦江町～南大隅町）と同じコースで実施した第77回全日本大学対抗選手権（インカレ）男子ロード・レースにおいて、南大隅町根占の県道を走行中、出場選手十数人が絡む転倒により死亡事故が発生したことから、日本学生自転車競技連盟（インカレ主催者）等による事故原因調査結果に基づき、<u>かごしま国体のコースについて日本自転車競技連盟等の各関係機関と協議した結果、安全面をより重視したコースの再検討が必要との結論に至る。</u></p> <p>鹿児島県自転車連盟、会場地市町村等と新コースについて検討を重ね、鹿屋市～錦江町までのコースはこれまでと同様（肝付町コースについて一部変更あり）とし、周回コースについては、下の「2 主な変更理由」から錦江町田代地区を周回するコースへ変更するもの。</p>		

2 主な変更理由

- ① 旧周回コースに比べ、起伏が緩やかで、スピードが出にくい安全なコースである。
- ② 旧周回コースに比べ、道路の幅員が広い箇所が多い。また、見通しのよい箇所が多く、路面状況も問題ない。
- ③ 新周回コースは、平成24年のインカレ、平成30年の九州地域大会を始め、大規模大会を実施した実績がある。
- ④ 過去開催の実績があるため、競技運営準備に関して0（「ゼロ」）からのスタートではなく、過去大会の改善点等を積み上げた上で、国体を開催できる。
- ⑤ 緊急車両の拠点となる消防署（大隅肝属地区消防組合南部消防署）が旧周回コース上にあったため、緊急時の車両出動体制の課題が大きかった。新コースでは、消防署がコース上から外れるため、緊急時対応をより計画的に行うことができる。

＜参考＞ 自転車競技（ロード・レース）コース図（新旧対比）



インカレ事故現場

特別国民体育大会 競技会場名変更，競技会会期変更

1 競技会場名変更

競技名	会場地 市町村	競技会場名	
		(旧)	(新)
ターゲットバード・ゴルフ	出水市	出水市陸上競技場	マルマエスタジアム出水
<p>ネーミングライツスポンサー契約締結（令和5年4月1日から令和12年3月31日まで）により「出水市陸上競技場」の愛称が『マルマエスタジアム出水』とされたことに伴い，特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」デモンストラーションスポーツ「ターゲットバード・ゴルフ」の競技会場である同競技場について，『マルマエスタジアム出水』と競技会場名を変更するもの。</p>			

2 競技会会期変更

競技名	会場地 市町村	競技日程	
		(旧日程)	(新日程)
ミニバレーボール	伊仙町	2023年6月25日（日）	2023年6月11日（日）
<p>伊仙町において2023年6月25日（日）に予定していた，燃ゆる感動かごしま国体デモンストラーションスポーツ「ミニバレーボール」について，徳之島島内全域で行われる「トライアスロンIN徳之島大会」が同日に開催されることとなり，会場である伊仙町総合体育館周辺をはじめ，島内全域が交通規制の対象となるため，競技実施が困難な状況となった。</p> <p>競技日程を2023年6月11日（日）とし，選手をはじめ，より多くの関係者が安心して競技に参加できるよう競技運営準備を行うこととし，競技日程を変更するもの。</p>			

特別国民体育大会(鹿児島県) 実施競技一覧【デモンストレーションスポーツ】

競技名	会場地	会場	競技日程	備考
ウォーキング	中種子町	西之表港～種子島中央体育館～宇宙センター	5月27日(土)	
エアロビック	出水市	マルマエスポーツセンター出水	5月5日(金・祝)	
遠泳	阿久根市	阿久根大島	7月17日(月・祝)	
お手玉	鹿児島市	かごしま県民交流センター(大ホール)	5月28日(日)	
サーフィン	南種子町	竹崎海岸	7月9日(日)	
サイクリング	南さつま市	南さつま市内全域	5月21日(日)	
3B体操	いちき串木野市	いちき串木野市総合体育館	5月14日(日)	
史跡巡りウォーキング	東串良町	唐仁古墳群周辺	5月20日(土)	
	与論町	与論町町内一円	8月27日(日)	
ジャズ体操	霧島市	国分海浜公園体育館	6月4日(日)	
少年サッカー	宇検村	宇検村野球場	8月5日(土)	
少年相撲	瀬戸内町	瀬戸内町大湊緑地公園相撲場	8月19日(土)	
少林寺拳法	いちき串木野市	いちき串木野市総合体育館	6月25日(日)	
スポーツウエルネス吹矢	鹿屋市	鹿屋市体育館	5月28日(日)	
スポーツチャンバラ	垂水市	垂水中央運動公園体育館	5月5日(金・祝)	
ソフトバレーボール	西之表市	西之表市民体育館	6月25日(日)	
	日置市	日置市吹上浜公園体育館	5月21日(日)	
ターゲット・バードゴルフ	出水市	マルマエスタジアム出水	9月10日(日)	会場名変更
ダンススポーツ	始良市	ビーラインスポーツパーク始良体育館	4月23日(日)	
ディスクゴルフ	南九州市	知覧平和公園	5月14日(日)	
ドッジボール	大崎町	大崎町総合体育館	7月2日(日)	
ドライビングコンテスト(ゴルフ)	南九州市	地域間交流施設(三豊ゴルフクラブ)	5月28日(日)	
パークゴルフ	霧島市	霧島市まきのほら運動公園内 福山パークゴルフ場	7月30日(日)	
バウンドテニス	薩摩川内市	薩摩川内市総合運動公園総合体育館(サンアリーナせんだい)	6月18日(日)	
ビーチフラッグス	阿久根市	脇本海水浴場	6月11日(日)	
ビリヤード	出水市	ビリヤード&ダーツ 撞球亭	5月21日(日)	
フライングディスク	鹿児島市	県立吉野公園内 ディスクゴルフコース、運動芝生広場	5月28日(日)	
ふれあいグラウンド・ゴルフ	龍郷町	龍郷町中央グラウンド	9月3日(日)	
	徳之島町	徳之島町健康の森総合運動公園	6月18日(日)	
ベタンク	始良市	ビーラインスポーツパーク始良多目的広場	4月16日(日)	
ボート(フネインカー競漕)	喜界町	喜界町湾港(喜界町漁業協同組合前)	8月6日(日)	
真向法体操	錦江町	錦江町総合交流センター	6月11日(日)	
ママさんバレー	長島町	長島町総合町民体育館	6月11日(日)	
マラソン	十島村	十島村各7島	9月30日(土)	
ミニバレー	知名町	知名町民体育館、知名中学校体育館	5月28日(日)	
ミニバレーボール	伊仙町	伊仙町総合体育館	6月11日(日)	競技日程変更
	和泊町	和泊中学校体育館	7月2日(日)	
ラジオ体操	三島村	三島開発総合センター	9月9日(土)	
ランニングバイク	大和村	奄美フォレストポリス	8月13日(日)	
歴史探訪ウォーキング	志布志市	志布志市内一円	5月28日(日)	

報告事項工 (ア)

第18回式典専門委員 令和5年2月13日 決定

式典実施要項 (かがしま国体) <概要版>

2023 燃ゆる感動 かがしま国体の概要

- 大会名 特別国民体育大会
- 大会要項 燃ゆる感動 かがしま国体
- スローガン 燃ゆる感動 風は南から
- スコット <レゾナンス>
- キャロル



- 開催期間 令和5年(2023年)10月7日(土)～10月17日(火)
- 総合開会式 令和5年(2023年)10月 7日(土) 【会場: 白波アスタム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)】
- 総合閉会式 令和5年(2023年)10月17日(火) 【会場: 白波アスタム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)】
- 実施競技 (7) 実施競技 37競技、特別競技 1競技、公開競技 5競技、デモンストラトーションスポーツ 36競技

2023 式典の概要

- 式典テーマ 燃ゆる感動 風は南から
- 基本的な考え方
 - 簡素な中にも創意工夫を凝らし、県民参加のもと、鹿児島らしさを生かすとともに、コロナ禍からの再生と飛躍を象徴し、国内最大の入米への祭典にふさわしい式典
 - 鹿児島への誇りが感じられる心こもったおもてなしで、訪れる方々を温かく迎え、参加する方々の絆が深まる
 - 鹿児島県の美しく雄大な自然や豊かな食文化、先人より受け継いできた文化や伝統など、鹿児島の誇りを全国に発信する式典

2023 次 第

<総合開会式>

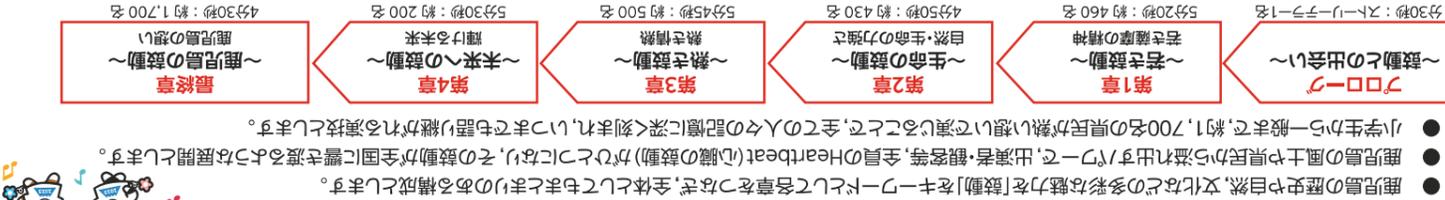
順	時刻	次 第
1	6:00	実施態度決定
	(12:00)	開場
	10:30	(役員・選手団受付開始)
2	12:30	オープニングプログラム開始
3	13:40	入場締切
		(役員・選手団受付終了)
4	14:20	オープニングプログラム終了
5	14:31	式典前演技開始
6	15:01	式典前演技終了
		(役員・選手団集合完了・整列開始)
7	15:23	開式通告
8	15:25	役員・選手団入場開始
9	15:50	役員・選手団整列完了
10	15:51	開会宣言
11	15:54	国旗掲揚
12	15:56	大会旗・日本入米へつ協会旗掲揚
13	15:57	鹿児島県旗・鹿児島市旗掲揚
14	15:59	天皇杯・皇后杯返還
15	16:02	大会会長あいさつ
16	16:05	文部科学大臣あいさつ
17	16:11	炬火入場・点火
18	16:16	選手代表宣誓
19	16:18	開式通告
20	16:20	選手団激励メッセージ開始
21	16:35	選手団激励メッセージ終了
22	16:35	役員・選手団退場開始
23	16:45	役員・選手団退場完了
24	16:46	オープニング開始
25	16:58	オープニング終了
26	16:59	終了

※次第・時刻については、現時点の案であり、公益財団法人日本入米へつ協会と協議のうえ、正式決定する。

●オープニングプログラム

<総合開会式>	主催者プログラム	映像	映像	映像
<ul style="list-style-type: none"> 本県の魅力を伝える歴史・文化・産業等のプログラム 【プログラム】鹿児島県の伝統(鉄砲)、鹿児島県の伝統(砂門寺語り)、鹿児島県の伝統(海武)、鹿児島県文化振興財団 企画事業課長 日高 雷太 鹿児島県警察音楽隊 隊長 河野 貴一郎 出水中央高等学校 吹奏楽隊 鹿児島大学教育学部附属中学校、鹿児島市立鹿児島玉穂中学校、高等学校、鹿児島市立鹿児島女子高等学校、鹿児島県立松陽高等学校、鹿児島県立総合運動センター、女子声楽団Prunus、出水中央高等学校 	<ul style="list-style-type: none"> 本県の魅力や応援メッセージ等を紹介する映像 県民・観客の参加による、会場全体が一体となったパフォーマンス 【プログラム】かがしま方言ダンス、ダンスパフォーマンス 	<ul style="list-style-type: none"> 感動の11日間を振り返る国体×メディア映像 国体出場選手から大会出場選手へ、熱い思いを伝える映像 77年の国体の歴史を振り返る映像 	<ul style="list-style-type: none"> 県民・観客参加型プログラム 小学生から一般まで、約1,700名の県民が熱い想いで演じることで、全ての人の記憶に深く刻まれ、いつまでも語り継がれる演技とします。 鹿児島県の歴史や自然、文化などの多彩な魅力を「感動」をキーワードとして各章をつなぎ、全体としてまとまりのある構成とします。 鹿児島島の風土や県民から溢れ出すパワーで、出演者・観客等、全員がHeartbeat(心臓の鼓動)がひとつになり、その鼓動が全国に響き渡るような展開とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体構成 タイムル

Heartbeat Kagoshima ～鹿児島島の鼓動～



●「エンディング」(総合開会式のみ)

主催者プログラム ○ 会場の観客と交流を行うとともに、これから始まる競技会に対する応援メッセージを高めるプログラム

●式典音楽

- <式典音楽使用曲>
 - 「アソビノアスタム」・行進曲「かがしま」・行進曲「わかれは海の子」
 - 「かがしまピクニック」・行進曲「風は南から」・「太陽のマーチ」
 - 「トラムマーチ」
- <式典音楽編成>
 - 鹿児島県吹奏楽連盟 理事長、鹿児島県立加太高等学校 教員
 - 鹿山 香樹 鹿児島県合唱連盟 理事長、鹿児島県文化振興財団 企画事業課長
 - 日高 雷太 鹿児島県警察音楽隊 隊長
 - 河野 貴一郎 出水中央高等学校 教員

●炬火イベント計画

炬火

17月20日(木) 四面鏡による太陽光集光方式(鹿児島県庁2階 県民ホール前広場)

炬火

17月21日(金)～8月26日(土) 薩摩・大隅・豊島の3コースで、全43市町村を巡回

国体

<総合開会式> 炬火集火・点火
 <総合開会式> 炬火分火・納火
 <開会式> 炬火点火
 <開会式> 炬火納火

大分

<開会式> 炬火納火
 <開会式> 炬火納火

2023 燃ゆる感動かがしま大会の概要

- (1) 大会名 特別全国障害者スポーツ大会
- (2) 大会愛称 燃ゆる感動 かがしま大会
- (3) スローガン 熱い鼓動 風は南から
- (4) マスコットキャラクター ぐりぶーファミリー 
- (5) 開催期間 令和5年(2023年)10月28日(土)～10月30日(月)
- (6) 開・閉会式の期日及び会場
 - 開会式 令和5年(2023年)10月28日(土) 【会場: 白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)】
 - 閉会式 令和5年(2023年)10月30日(月) 【会場: 白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)】
- (7) 実施競技 正式競技 14競技, オープン競技 3競技

2023 式典の概要

- (1) 式典テーマ 熱い鼓動 風は南から
- (2) 基本的な考え方
 1. 簡素な中にも創意工夫を凝らし、県民総参加のもと、鹿児島らしさを生かすとともに、コロナ禍からの再生と飛躍を象徴し、国内最大のスポーツの祭典にふさわしい式典
 2. 鹿児島のすばらしさが感じられる心のこもったおもてなしで、訪れる方々を温かく迎え、参加する方々の絆が深まる式典
 3. 鹿児島の美しく雄大な自然や豊かな食文化、先人より受け継いできた文化や伝統など、鹿児島の誇れる魅力を全国に発信する式典

2023 次第

<開会式>

順	次第	時刻
	実施態度決定	5:00
1	開場 (役員・選手団受付開始)	7:30
2	オープニングプログラム開始	8:50
3	入場締切 (役員・選手団受付終了) (役員・選手団集合整列開始)	9:10
4	オープニングプログラム終了 (役員・選手団整列完了)	9:50
5	開式通告	10:00
6	役員・選手団入場開始	10:01
7	役員・選手団整列完了	10:36
8	開会宣言・大会会長あいさつ	10:37
9	国旗掲揚	10:40
10	大会旗・鹿児島県旗・鹿児島市旗掲揚	10:42
11	文部科学大臣あいさつ	10:46
12	炬火入場・点火	10:52
13	選手代表宣誓	10:57
14	歓迎演技開始	11:01
15	歓迎演技終了	11:16
16	閉式通告	11:17
17	役員・選手団退場開始	11:19
18	役員・選手団退場完了	11:37
19	エンディングプログラム開始	11:38
20	エンディングプログラム終了	11:58
21	終了	11:59

<閉会式>

順	次第	時刻
	実施態度決定	5:00
	(競技終了)	(13:00)
1	開場 (役員・選手団受付開始)	14:00
	(役員・選手団受付終了)	
2	オープニングプログラム開始 (役員・選手団集合開始)	15:00
3	オープニングプログラム終了 (役員・選手団集合完了)	15:30
4	開式通告	15:40
5	大会会長あいさつ	15:41
6	スポーツ庁長官あいさつ	15:44
7	大会旗・鹿児島県旗・鹿児島市旗降納	15:50
8	国旗降納	15:54
9	大会旗引継	15:56
10	炬火納火	15:58
11	閉会宣言	16:03
12	閉式通告 (ファイナルステージ準備)	16:04
13	ファイナルステージ開始	16:10
14	ファイナルステージ終了	16:40
15	役員・選手団退場開始	16:42
16	役員・選手団退場完了	17:00
17	終了	17:01

●オープニングプログラム

項目	<開会式>	<閉会式>
主催者プログラム	○ 本県の魅力を伝える歴史・文化・産業のパフォーマンス 【プログラム】国体で披露した歴史・文化・産業等を映像で紹介、団体パフォーマンス	○ 熱戦を繰り広げた選手やそれを支えた方へのインタビュー等 【プログラム】選手インタビュー等、音パフォーマンス
映像プログラム	○ 「燃ゆる感動かがしま国体」の感動を伝える映像 ○ 本県の魅力や応援メッセージ等を紹介する映像	○ 感動の3日間を振り返る大会メモリアル映像
県民・観客参加型プログラム	○ 県民・観客の参加による、会場全体が一体となったパフォーマンス 【プログラム】かがしま方言クイズ、イメージソングダンス	

●歓迎演技(開会式のみ)

- <タイトル> **Heartbeat Kagoshima ～鹿児島島の鼓動～**
- <全体構成>
- 鹿児島島の歴史や自然、文化などの多彩な魅力を「鼓動」をキーワードとして各章をつなぎ、全体としてもまとまりのある構成とします。
 - 鹿児島島の風土や県民から溢れ出すパワーで、出演者・観客等、全員のHeartbeat(心臓の鼓動)がひとつになり、その鼓動が全国に響き渡るような展開とします。
 - 小学生から一般まで、約1,300名の県民が熱い想いで演じることで、全ての人々の記憶に深く刻まれ、いつまでも語り継がれる演技とします。



●エンディングプログラム(開会式のみ)

主催者プログラム	○ 本県ゆかりのアーティストによる、これから始まる競技会開催の期待を高めるコンサート
----------	--

●ファイナルステージ(閉会式のみ)

主催者プログラム	○ 両大会のフィナーレとして、本県ゆかりのアーティストによる、会場を感動で包むコンサート
----------	--

●式典音楽

- <式典音楽使用曲>
- ・ 「ファンファーレⅠ～Ⅴ」
 - ・ 行進曲「かがしま」
 - ・ 行進曲「われは海の子」
 - ・ 「かがしまヒットメドレー」
 - ・ 行進曲「風は南から」
 - ・ 「太陽のマーチ」
 - ・ 「ドラムマーチ」
 - ・ 「炬火関連曲Ⅰ・Ⅱ」

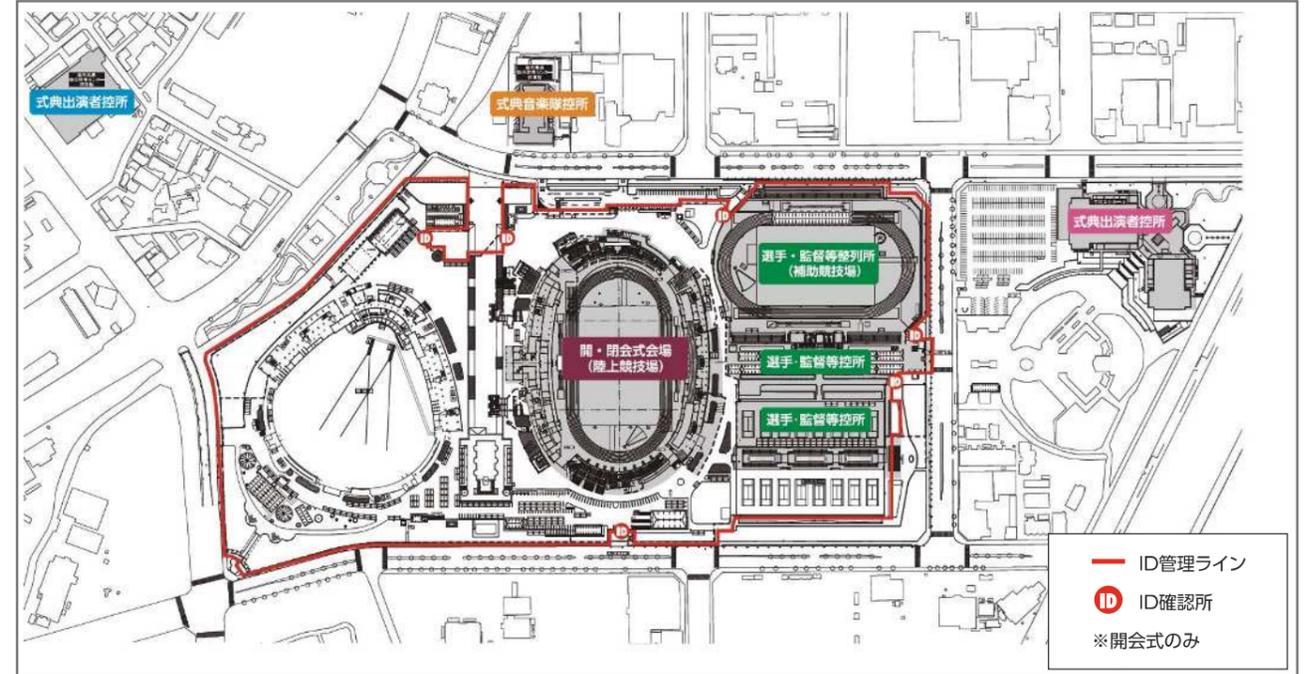
<式典音楽隊編成>

指揮者	永井 哲 鹿児島県吹奏楽連盟 理事長、鹿児島県立加治木高等学校 教諭 盛山 春樹 鹿児島県合唱連盟 理事長、鹿児島県文化振興財団 企画事業課長 日高 雷太 鹿児島県警察音楽隊 楽長 河野 恵一郎 出水中央高等学校 教諭	4名
吹奏楽隊	鹿児島県立加治木高等学校、出水中央高等学校、鹿児島高等学校、鹿児島情報高等学校、鹿児島県警察音楽隊	約 120名
合唱隊	鹿児島大学教育学部附属中学校、鹿児島市立鹿児島玉龍中学校・高等学校、鹿児島市立鹿児島女子高等学校、鹿児島県立松陽高等学校、コール鴨池、混声合唱団グリーンエコー、女声合唱団Prunus、かがしま国体特別合唱団	約 130名
ファンファーレ隊	出水中央高等学校	約 20名

●炬火イベント計画

- 採火 【7月20日(木)】
凹面鏡による太陽光集光方式(鹿児島県庁2階 県民ホール前広場)
- 炬火リレー 【7月21日(金)～8月26日(土)】
薩摩・大隅・離島の3コースで、全43市町村を巡回
- 国体 <総合開会式> 炬火集火・点火
<総合閉会式> 炬火分火・納火
- 大会 <開会式> 炬火点火
<閉会式> 炬火納火
- 

2023 会場配置図(全体)



報告事項オ（ア）

第4回宿泊・衛生専門委員会	平成30年1月19日決定
第5回宿泊・衛生専門委員会	平成31年3月15日改正
第6回宿泊・衛生専門委員会	令和2年2月4日改正
第7回宿泊・衛生専門委員会	令和2年6月9日改正
第8回宿泊・衛生専門委員会	令和4年3月2日改正
第9回宿泊・衛生専門委員会	令和5年3月10日改正

燃ゆる感動かごしま国体馬事衛生対策要項

1 趣旨

この要項は、特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」医事・衛生基本計画に基づき、馬術競技参加馬（以下「参加馬」という。）の防疫、健康管理及び輸送等馬事衛生対策及び馬のウェルフェアに関し必要な事項を定める。

2 馬事衛生本部の設置

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会（以下「県委員会」という。）及び燃ゆる感動かごしま国体・燃ゆる感動かごしま大会霧島市実行委員会（以下「市委員会」という。）は、馬術競技会場（以下「会場」という。）に馬事衛生本部を設置し、関係機関・団体等の協力を得て、馬事衛生対策を実施する。

3 防疫対策

(1) 家畜防疫員の配置

県委員会は、参加馬の防疫のため、馬事衛生本部に家畜防疫員（家畜伝染病予防法第53条第3項に定める家畜防疫員をいう。）を配置する。

(2) 防疫検査

馬事衛生本部は、参加馬が会場に到着したとき、家畜伝染病予防法施行規則による「馬の検査、注射、薬浴、投薬証明手帳」及び「日本馬術連盟乗馬登録証」の提示を求め、次に掲げる基準を満たしていることを確認する。

なお、基準を満たしていない馬は入厩させないものとする。

ア 馬インフルエンザ予防接種

(ア) 基礎接種として、初回ワクチン接種を実施してから21日以上・2か月以内に2回目の予防接種を行うこと。補強接種については、基礎接種（2回目）から7か月以内に最初の補強接種を行い、それ以降は1年以内に継続的に補強接種を受けていること。以上が満たされていない場合は、再度基礎接種から実施していること。

(経過措置) 平成20年3月31日以前に基礎接種を完了している馬は、基礎接種の後の最初の補強接種は1年以内であれば可とする。また、2回の基礎接種の間隔は、2週間以上2か月以内であれば可とする。

(イ) 入厩する6か月+21日以内に補強接種又は基礎接種（2回目）を受けていること。

(ウ) 入厩前1週間以内のワクチン接種は接種歴として認めない。

(エ) 輸入馬は、輸入後にワクチン接種を基礎接種から始めることが望ましい。ただし、輸入前の接種歴の写しが添付され、獣医師がその接種歴を証明している場合は、接種歴として認める。

(3) 厩舎エリア

馬事衛生本部は、会場内に厩舎エリア（厩舎等が設置され、柵等により他から区分された区域をいう。）を設け、衛生的に管理する。

厩舎エリアには、厩舎のほか汚物堆積場その他参加馬の健康管理等に必要な施設等を設置する。

(4) 消毒及び衛生害虫駆除

馬事衛生本部は、馬降所（馬運車を停車させ、参加馬の積み降ろしを行う場所をいう。）への入場口付近並びに厩舎エリア及び厩舎の出入口に入場する車両及び立ち入る者の消毒を行うため、消毒施設を設置するとともに、厩舎エリアの害虫駆除を行う。

ア 厩舎の消毒

馬事衛生本部は、参加馬の到着5日以内及び退厩後直ちに厩舎の消毒を行う。

イ 馬降所に入場する車両の消毒

馬事衛生本部は、馬運車等馬降所に入場する車両が会場に到着したとき、車両の消毒を行う。

ウ 厩舎に立ち入る者の消毒

馬事衛生本部は、厩舎に立ち入る者に、厩舎に出入りする際に手指の洗浄又は消毒及び靴の消毒を行わせる。

エ 衛生害虫等の駆除

馬事衛生本部は、厩舎及び汚物堆積場に殺虫剤を散布し、衛生害虫の発生予防及び駆除に努める。

(5) 立入りの制限

厩舎エリア及び馬降所を家畜伝染病予防法施行規則に定める衛生管理区域とし、立入りは定められた出入口からのみとするとともに、立ち入る者は、あらかじめ市委員会が配付する「入厩許可証」を身につけるものとする。

(6) 伝染性疾病発生時の対応

救護獣医師（参加馬の傷病の発生に対し、応急処置及び救急の治療に当たる県委員会が指定する獣医師（次に掲げる外来獣医師を除く。）をいう。以下「救護獣医師」という。）、外来獣医師（必要に応じて参加都道府県が帯同する獣医師をいう。）及びホースマネージャー（参加馬の管理に係る参加都道府県の責任者をいう。）は、参加馬に伝染性疾病を疑う事例が発生した場合は、直ちに馬事衛生本部に通報するとともに、その指示に従う。

馬事衛生本部は、家畜伝染病予防法に基づき、鹿児島県知事に速やかに届け出るとともに、まん延の防止のために必要な措置を講じる。

(7) 隔離厩舎の設置

伝染性疾病を発症（疑う事例も含む。）した参加馬を隔離するため、厩舎エリア外に隔離厩舎を設置する。

4 参加馬の健康管理

(1) 健康検査

馬事衛生本部は、参加馬が入厩する前及び退厩する前に、馬降所等で健康検査を実施する。

検査は、視診、聴診、打診及び触診等による臨床検査とする。ただし、家畜防疫員が必要と認める時は、血液、尿等の精密検査を行う。

(2) 健康観察

ホースマネージャーは、入厩期間（参加馬が厩舎に入厩している期間をいう。）中、毎日、管理する参加馬の健康観察及び体温測定を行い、異常の早期発見に努める。

異常が認められる場合には、救護獣医師又は外来獣医師に通報するとともに、家畜防疫員の指示に従う。

(3) 馬診療

馬事衛生本部は、参加馬の傷病発生等に対処するため、令和5年10月8日（日）から令和5年10月15日（日）までの間、厩舎エリアに馬診療所を設置し、救護獣医師を配置する。

ア 診療時間

馬診療所の診療時間は、昼間及び夜間とする。

イ 診療費用

診療に要した費用は、参加都道府県の負担とする。費用の支払い方法は、別に定める。

ウ 移送

救護獣医師は、必要に応じて参加馬を獣医療機関へ移送する等適切な措置を講じるものとする。

なお、移送に要した費用は、参加都道府県の負担とする。

エ 実績の報告

救護獣医師は、診療業務の実績等を「診療簿」（様式1）、「診療日報」（様式2）及び「診療実績書」（様式3）により管理する。実績等について「診療日報」を診療日翌朝までに、「診療簿」、「診療実績書」を最終日業務終了後に馬事衛生本部長に提出する。

オ 外来獣医師による診療活動

外来獣医師は、入厩期間中に診療活動を行う場合には、診療前に「外来獣医師診療届」（様式4）を、診療後に「外来獣医師診療報告書」（様式5）を、馬事衛生本部長を経由して日本馬術連盟競技会規程に基づく獣医師団長（以下「獣医師団長」という。）に提出する。

(4) 装蹄

馬事衛生本部は、参加馬の落鉄等に対処するため、令和5年10月8日（日）から令和5年10月15日（日）までの間、厩舎エリアに装蹄所を設置し、公設装蹄師を配置する。

ア 開所時間

装蹄所の開所時間は、昼間とする。

イ 装蹄費用

装蹄に要した費用は、参加都道府県の負担とし、装蹄所において支払うものとする。

る。

ウ 実績の報告

公設装蹄師は、装蹄業務の実績等を「装蹄簿」（様式6）、「装蹄日報」（様式7）及び「装蹄実績書」（様式8）により管理する。実績等について、「装蹄日報」を従事日の業務終了後に、「装蹄簿」、「装蹄実績書」を最終日業務終了後に、馬事衛生本部長に提出する。

エ 外来装蹄師による装蹄活動

外来装蹄師（必要に応じて参加都道府県が帯同する装蹄師をいう。）は、入厩期間中に装蹄活動をする場合には、装蹄前に「外来装蹄師装蹄届」（様式9）を、装蹄後に「外来装蹄師装蹄報告書」（様式10）を、馬事衛生本部長を經由して獣医師団長に提出する。

5 厩舎の管理

(1) 厩舎の使用期間等

ア 使用期間

厩舎の使用期間は、原則として令和5年10月8日（日）の午前8時から令和5年10月15日（日）の午後5時までとする。

イ 入厩及び退厩の日時

(ア) 入厩日時

入厩日は、令和5年10月8日（日）から令和5年10月10日（火）までとする。

なお、令和5年10月8日（日）及び令和5年10月9日（月）は午前8時から午後5時までの間、令和5年10月10日（火）は午前8時から正午までの間に入厩する。

(イ) 退厩日時

退厩日は、令和5年10月11日（水）から令和5年10月15日（日）とし、午前8時から午後5時までの間に退厩する。

(2) 入厩等の手続き

ア 手続

馬運送責任者（参加馬の輸送に係る参加都道府県の責任者をいう。以下同じ。）は、「入・退厩（変更）申込書」（様式11）を馬運車ごとに、「予防接種確認票」（様式12）を馬匹ごとに、電子メールにより市委員会を經由して馬事衛生本部長に提出する。

なお、提出期日は、馬術競技参加申込書の提出期日とする。

また、入厩後に退厩日時を変更する場合は、馬事衛生本部に退厩の2日前までに申し込むものとする。

イ 入厩予定日時等の連絡

馬輸送責任者は、参加馬の輸送の出発に関し、入厩予定日時、輸送頭数及び車両番号等を、電話により馬事衛生本部に連絡する。

なお、連絡後に変更が生じた場合も同様とする。

(3) 衛生管理

馬事衛生本部は、厩舎等の施設を常に清潔に保つよう衛生上必要な措置を講じる。特に、汚物堆積場は衛生的に管理し、汚物を適正に処理する。

また、ホースマネージャーは、厩舎内外を清潔に保持し、衛生害虫の発生防止等に努める。

6 参加馬の輸送

参加馬の輸送は、馬運車を使用するものとし、別に定める事項を遵守し、参加都道府県の責任で行う。

なお、参加馬の輸送に要する費用は、参加都道府県の負担とする。

7 飼料及び敷料

(1) 飼料

参加馬の飼料は、参加都道府県が入厩時に持参し、退厩時にすべて持ち帰るものとする。

なお、持参できない場合等は、事前に購入業者の斡旋を申し込むものとする。

(2) 敷料

敷料はオガ粉等とし、参加馬の入厩前に各馬房に配布し、不足が生じた場合は適宜支給する。

8 参加都道府県の責務

参加都道府県は、参加馬の輸送の出発に際し、参加馬の健康状態及び装蹄に十分配慮し、良好な状態で参加させるよう努める。

また、入厩期間中は、参加馬の健康管理、飼料、馬具等の保管及び厩舎内外の清潔の保持等について責任を持って行う。

9 県委員会と市委員会の業務分担等

県委員会及び市委員会は、馬事衛生に係る業務の分担及び経費の負担について、別途協議の上、定める。

10 その他

この要項に定めるもののほか、馬事衛生に必要な事項については、県委員会及び市委員会又は馬事衛生本部が、関係機関・団体等と協議の上、定める。

診 療 簿

燃ゆる感動かごしま国体 馬診療所

馬名	馬番号	性別	生年月日	稟告
特徴（毛色）	馬管理責任者氏名	馬管理責任者連絡先	都道府県	

診療内容

診療日 受付時刻	診療内容	病名・症状	処置内容(使用薬剤)	薬物の規制	救護獣医師氏名	料 金	清 算
／ () : ／ () :	<input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> その他 ()			禁止物質リス上の薬物 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 不使用			清算日 ／ 未
／ () : ／ () :	<input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> その他 ()			禁止物質リス上の薬物 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 不使用			清算日 ／ 未
／ () : ／ () :	<input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> その他 ()			禁止物質リス上の薬物 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 不使用			清算日 ／ 未
／ () : ／ () :	<input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> その他 ()			禁止物質リス上の薬物 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 不使用			清算日 ／ 未
					診療料金		

様式2

診療日報

1 診療年月日 令和5年 月 日 ()

2 診療頭数 (頭)

内科診療	外科診療	その他診療	合計	
			実頭数	延べ頭数

3 診療内容

受付時刻	馬番号	都道府県名	馬名	症状・経過	救護獣医師名	備考
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医
						内科/外科 初診/再診 診療所/外来獣医

診療実績書

	内科診療	外科診療	その他診療	(頭) 合計	
				実頭数	延べ頭数
令和5年 月 日 ()					
令和5年 月 日 ()					
令和5年 月 日 ()					
令和5年 月 日 ()					
令和5年 月 日 ()					
令和5年 月 日 ()					
令和5年 月 日 ()					
令和5年 月 日 ()					
合計					

特別国民体育大会馬術競技
獣医師団長 殿
(馬事衛生本部長 経由)

獣医師名(署名) _____

携帯電話番号 _____

外来獣医師 診療届

特別国民体育大会馬術競技において、外来獣医師として診療を実施したく、下記のとおり届け出ます。

なお、診療の実施に当たっては、燃ゆる感動かごしま国体馬事衛生対策要項・実施要領及びFEI/JEF獣医規程・競技会規定等の関連規程の定めを遵守します。

また、所定の様式により診療報告書を提出します。

記

1 獣医師登録番号 _____

2 所属診療所 名称 _____

所在地 _____

電話番号 _____

FAX番号 _____

3 診療予定の都道府県 _____

4 入場予定期間 令和5年 月 日() ~ 月 日()

特別国民体育大会馬術競技
 獣医師団長 殿
 (馬事衛生本部長 経田)

獣医師名 (署名)

携帯電話番号

外来獣医師 診療報告書

特別国民体育大会馬術競技において、下記のとおり参加馬の診療を実施しましたので、報告します。

診療内容

受付時刻	馬番号	馬名	都道府県	性別・生年月日・特獣(毛色) 馬管理責任者氏名・連続	診療内容	症状	処置内容(使用薬剤)	薬物の規制
：					<input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> その他 ()			禁止物質リスト の薬物 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 不使用
：					<input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> その他 ()			禁止物質リスト の薬物 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 不使用
：					<input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> その他 ()			禁止物質リスト の薬物 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 不使用
：					<input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> その他 ()			禁止物質リスト の薬物 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 不使用
：					<input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> その他 ()			禁止物質リスト の薬物 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 不使用

様式6

装 蹄 簿

燃ゆる感動かごしま国体 装蹄所

馬名	馬番号	性別	生年月日	memo
特徴（毛色）	馬管理責任者氏名	馬管理責任者連絡先	都道府県	

装蹄内容

装蹄日 受付時刻	装蹄場所	装蹄内容	装蹄師氏名	料 金	清 算
/	<input type="checkbox"/> 装蹄所 <input type="checkbox"/> 緊急詰所	<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄（ <input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無） <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊（内容： ） <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後			清算日
（ ） :					/
/	<input type="checkbox"/> 装蹄所 <input type="checkbox"/> 緊急詰所	<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄（ <input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無） <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊（内容： ） <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後			清算日
（ ） :					/
/	<input type="checkbox"/> 装蹄所 <input type="checkbox"/> 緊急詰所	<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄（ <input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無） <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊（内容： ） <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後			清算日
（ ） :					/
					未

様式7

装蹄日報

1 装蹄年月日 令和5年 月 日 ()

2 装蹄頭数 (頭)

新装	落鉄	釘調整	特殊	合計	
				実頭数	延べ頭数

3 診療内容

受付時刻	馬番号	都道府県名	馬名	装蹄内容	装蹄師名	備考
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		
				<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後		

装蹄実績書

	新装	落鉄	釘調整	特殊	(頭) 合計	
					実頭数	延べ頭数
令和5年 月 日 ()						
令和5年 月 日 ()						
令和5年 月 日 ()						
令和5年 月 日 ()						
令和5年 月 日 ()						
令和5年 月 日 ()						
令和5年 月 日 ()						
令和5年 月 日 ()						
合計						

特別国民体育大会馬術競技
獣医師団長 殿
(馬事衛生本部長 経由)

装蹄師名(署名) _____

携帯電話番号 _____

外来装蹄師 装蹄届

特別国民体育大会馬術競技において、外来装蹄師として装蹄を実施したく、下記のとおり届け出ます。

なお、装蹄の実施に当たっては、燃ゆる感動かごしま国体馬事衛生対策要項・実施要領及びFEI/JEF獣医規程・競技会規定等の関連規程の定めを遵守します。

また、所定の様式により装蹄報告書を提出します。

記

1 公認装蹄師番号 _____

2 所属装蹄所 名称 _____

所在地 _____

電話番号 _____

FAX番号 _____

3 装蹄予定の都道府県 _____

4 入場予定期間 令和5年 月 日() ~ 月 日()

様式10

令和 年 月 日

特別国民体育大会馬術競技
獣医師団長
殿
 (馬事衛生本部長 経由)

獣医師名 (署名) _____
 携帯電話番号 _____

外来装蹄師 装蹄報告書

特別国民体育大会馬術競技において、下記のとおり参加馬の装蹄を実施しましたので、報告します。

装蹄内容

受付時刻	馬番号	馬名	都道府県	性別・生年月日・特徴(毛色) 馬管理責任者氏名・連絡先	装蹄内容	備考
:					<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後	
:					<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後	
:					<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後	
:					<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後	
:					<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後	
:					<input type="checkbox"/> 新装 <input type="checkbox"/> 落鉄 (<input type="checkbox"/> 持参有 <input type="checkbox"/> 持参無) <input type="checkbox"/> 釘調整 <input type="checkbox"/> 特殊 (内容:) <input type="checkbox"/> 右前 <input type="checkbox"/> 左前 <input type="checkbox"/> 右後 <input type="checkbox"/> 左後	

入・退厩（変更）申込書

令和5年 月 日

特別国民体育大会馬事衛生本部長 殿

（燃ゆる感動かごしま国体・燃ゆる感動かごしま大会霧島市実行委員会会長 経由）

都 道 府 県 名

フリガナ

参加都道府県監督氏名

フリガナ

馬 輸 送 責 任 者 氏 名

次のとおり、入・退厩（変更）申込みをいたします。

記

- 1 出発地： (都・道・府・県) (市・町・村)
- 2 出発予定日時： 令和5年 月 日 () 時 分
- 3 入厩予定日時： 令和5年 月 日 () 時 分
- 4 退厩予定日時： 令和5年 月 日 () 時 分
- 5 馬運車の情報： t車, 全長 m, 幅 m, ナバ-
- 6 馬運車の滞在： (1) 入厩期間中, 馬運車が滞在 する・しない
 滞在しない場合 (2) 令和5年 月 日 () 時 分頃再来場する
 再来場馬運車 (3) t車, 全長 m, 幅 m, ナバ-
- 7 帯同車両： 有 ・ 無 車種 台数： 台
- 8 馬取扱い総責任者： 氏名 携帯電話
- 9 馬輸送責任者連絡先： 住所 〒
- 電 話
- 携帯電話
- ※馬運車持込携帯電話
- ※馬輸送責任者が馬運車に乗車しない場合、記入すること。

10 入・退厩馬：

	馬 名	登録番号		馬 名	登録番号
1			5		
2			6		
3			7		
4			8		

- ※ 様式11は、馬運車ごと別葉で作成すること。
- ※ 日本馬術連盟乗馬登録証の裏表の写し、馬の検査・予防接種・薬浴・投薬証明手帳の写し（①表紙、②馬インフルエンザ予防接種の基礎・補強接種から最新接種に至る全ての予防接種証明）を併せて提出のこと。
- ※ 他県参加馬が同乗する場合、馬名欄に、馬名(他県名)で記入すること。
- ※ 変更申込の場合、変更箇所の項目番号を○で囲むこと。

様式12

予防接種確認票

太線囲み内を
ご記入ください

次の書類をメールに添付してください

(1) 「健康手帳」の以下のページの写し

① 表紙

② 馬インフルエンザ：基礎接種～最新まで全ての接種証明

(2) 「日本馬術連盟乗馬登録証」の表裏の写し

馬データ

県名		所有者住所	〒
馬名		所有者氏名	
登録番号		連絡先 (TEL)	
国体参加歴		所属馬連	

↑ 直近の参加国体名を記入 (例：〇〇国体)

馬インフルエンザ

接種状況	実施年月日			免疫種別
	(年)	(月)	(日)	
1回目				基礎接種
2回目				
令和5年 1月1日 以降の 補強接種を 記入して ください				補強接種

	基礎接種	補強接種 (初回)	補強接種 (2回目～)
H20. 3. 31 以前	2週間以上 2か月以内 の間に2回	1年 以内	年1回
H20. 4. 1 以降	21日以上 2か月以内 の間に2回	7か月 以内	1年 以内

最終の 接種日	補強接種 の場合	入厩する6か月+21日 以内に補強接種又は基礎接 種(2回目)を受けてい ること。 ※入厩する前1週間 以内のワクチン接種は認 めない。
	基礎接種 (2回目) の場合	

余 白

特別国民体育大会 報道員及びその他大会関係者宿泊規程

1 趣旨

この規程は、「特別国民体育大会（鹿児島県）宿泊要項」（以下「宿泊要項」という。）に基づき、報道員及びその他大会関係者の宿泊等に関して必要な事項を定める。

2 宿泊料金等

(1) 宿泊

宿泊とは、入宿日の15時から出発日の10時までの客室の使用をいうものとし、原則として1泊朝食付きとするが、宿舎事情により、朝食の提供が困難な場合は素泊まりとする。

(2) 宿泊料金

宿泊料金は、次のとおりとする。

ただし、2人部屋を1人で使用するなど、定員未滿で宿泊する場合は、下記金額を超える通常料金とする。

区分	消費税	宿泊料金		備考
		1泊朝食	素泊まり	
営業 施設	税抜	12,000円以内	10,500円以内	通常のサービス・奉仕料及び冷暖房料を含む
	10%	13,200円以内	11,550円以内	

(3) 入湯税

入湯税については外税とし、宿泊料金とは別に支払う。

(4) 欠食控除

朝食が必要ない場合は、前々日の12時までに宿舎に申し出るものとし、控除額は宿泊要項に定める素泊まり料金の額とする。

ただし、宿泊料金が通常料金の場合は、各宿舎の規定に基づくものとする。

(5) 休憩料金

入宿日の15時以前および出発日の10時以降に客室を使用する場合の休憩料金は、各宿舎の規定に基づくものとする。

(6) 宿泊料金等の精算

宿泊料金等は、宿泊責任者（宿泊申込代表者が宿泊者の中から定めた者。）が、各宿舎の指定する方法により現地で精算する。

(7) 宿泊取消料

ア 宿泊を取り消した場合の取消料は次のとおりとし、宿泊責任者または本人が当該宿舎に直接支払うものとする。

宿泊取消しの申出区分	宿泊取消料	備考
宿泊予定日の9日前まで	不 要	素泊まりまたは欠食で申し込んだ場合は、その料金(税抜)を宿泊料金とする。
宿泊予定日の8日前から 宿泊予定日の4日前まで	宿泊料金(税抜)の20%	
宿泊予定日の3日前から 宿泊予定日の前日まで	宿泊料金(税抜)の50%	
宿泊予定日当日	宿泊料金(税抜)の100%	

(注)・取消した泊数にかかわらず、一人につき1泊分の取消料のみとする。

- ・荒天等により、交通機関が不通となり宿舎への到着が困難な状況が生じた場合は、宿舎と協議して取消料を決定する。

イ 宿泊申し込み後、変更・取消の申し出がないまま宿泊をしなかった場合の取消料は、上記アの定めに関わらず、宿泊料金(税抜)の全額とする。

ウ 宿泊責任者または、本人が宿泊取消料を支払うことができない場合は、宿泊申込代表者が最終責任を負うものとする。

(8) 宿泊料金等の適用期間

宿泊料金等の適用期間は、令和5年9月12日(火)15時から令和5年9月25日(火)10時までおよび令和5年10月2日(月)15時から令和5年10月18日(水)10時までとする。

3 宿泊の申込み

宿泊の申込みは、別に定める特別国民体育大会宿泊事務実施要領(以下「実施要領」という。)により、宿泊申込代表者がインターネットを利用して、合同配宿本部に行うものとする。

4 宿泊の変更及び取消し

合同配宿本部が指定する宿舎の変更・取消は原則として認めない。

5 昼食

昼食については、希望により、県実行委員会または会場地実行委員会が別に定める方法によりあっせんするものとする。

なお、金額については、次のとおりとする。

区分	消費税	料金
昼食弁当(お茶を含む)	税抜	900円以内

※ 消費税については、開催時の税率を適用するものとする。

6 その他

この規程に定めるもののほか、宿泊業務の実施に関して必要な事項は、実施要領に定める。

特別国民体育大会 宿泊事務実施要領

1 趣旨

この要領は、「特別国民体育大会（鹿児島県）宿泊要項」（以下「宿泊要項」という。）及び「特別国民体育大会報道員及びその他大会関係者宿泊規程」（以下「宿泊規程」という。）に基づき、宿泊要項及び宿泊規程適用者に係る宿泊業務の実施に関して必要な事項を定める。

2 宿泊申込手続き

(1) 宿泊申込代表者

特別国民体育大会合同配宿本部（以下「合同配宿本部」という。）は、特別国民体育大会に参加し、または派遣される者の宿泊申込に関して以下の区分ごとに、それぞれ宿泊の申込みに関する責任を負う者（以下「宿泊申込代表者」という。）を指定する。

宿泊申込代表者は、宿舎の責による場合を除き、当該区分に定める者の宿泊の申込みについて最終的な責任を負う。

区 分		宿泊申込代表者
都道府県選手団	選手・監督	各都道府県体育・スポーツ協会会長
	本部役員	
視察員		
競技会役員		鹿児島県内の各競技団体の長
競技役員	県 内	
	県 外	
報道員		宿泊希望のあった各社の代表者
その他大会関係者		宿泊希望のあった各団体等の代表者

(2) 宿泊の申込み

ア 宿泊申込システム

特別国民体育大会の宿泊申込みは、宿泊申込システム（合同配宿本部が運営し、インターネットを介して、宿泊の申込みを受け付け処理するシステムをいう。以下「システム」という。）により申し込まなければならない。

ただし、システムに異常等があり、システムによる申込みが困難な場合は、ファクシミリ、郵便またはメールにより申込みをできるものとする。

イ 宿泊申込みに必要なID・パスワード等の通知

合同配宿本部は、システムを利用した宿泊申込みに必要なID・パスワード等を宿泊申込代表者に通知する。

ウ 申込方法

宿泊申込代表者はシステムにアクセスし、合同配宿本部から通知されたID・パスワードを入力してログインし、宿泊申込入力画面に必要事項を入力のうえ申し込む。

なお、合同配宿本部は、認証を受けた者が行った宿泊申込みについて、宿泊申込代表者本人により行われたものとして取り扱う。

エ 申込先

合同配宿センター

※ 連絡先 〒890-0847 鹿児島県鹿児島市西千石町 17-27

第2 NADESHIKO BLD 2階

電話：099-219-5500 FAX：099-225-2270

※ システムのインターネットアドレス：別に定める

オ 申込期限

【事前登録】

区分	申込期限
都道府県選手団本部役員，視察員，競技会役員， 競技役員（県内，県外），報道員，その他大会関係者	令和5年6月15日（木）まで

（注）事前登録のない場合は，宿泊本申込を認められない。

【宿泊本申込】

区分	競技	申込期限
都道府県選手団 （本部役員）	水泳， <u>ローイング</u> ，バレーボール（ビーチバレーボール），体操， <u>レスリング</u> ， <u>ゴルフ</u>	令和5年8月7日（月）まで
	上記以外の競技	令和5年8月18日（金）まで
都道府県選手団 （選手・監督），競技会役員，競技役員（県内，県外）	水泳， <u>ローイング</u> ，バレーボール（ビーチバレーボール），体操， <u>レスリング</u> ， <u>セーリング</u> ，自転車，相撲，カヌー，ボウリング，ゴルフ，トライアスロン	令和5年8月22日（火）まで
	上記以外の競技	令和5年9月7日（木）まで
視察員，報道員， その他大会関係者	水泳， <u>ローイング</u> ，バレーボール（ビーチバレーボール），体操， <u>レスリング</u> ， <u>ゴルフ</u>	令和5年8月7日（月）まで
	上記以外の競技	令和5年8月18日（金）まで

（注）宿泊申込期限以降は，宿泊申込みを受け付けない。

(3) 宿舎の決定

ア 合同配宿本部は，宿泊申込みを受理した後に宿舎の決定を行う。

イ 合同配宿本部は，宿舎を決定した場合には，宿泊申込代表者が宿舎決定通知書をシステムの画面上から確認できるようにする。

ウ 合同配宿本部は，宿舎を決定した場合には，当該宿泊施設（以下「指定宿舎」という。）に対し，配宿決定通知書兼宿舎確認回答書を送付する。

エ 合同配宿本部は，宿舎を決定した場合には，会場地市町村実行委員会（以下「会場地実行委員会」という。）に対し，配宿結果のデータをシステムにより確認ができるようにする。

(4) 宿泊の変更及び取消し

ア 宿舎決定後の宿泊の変更及び取消し（以下「宿泊変更等」という。）については，大

会への参加取消し等、特別な事情がない限り認めない。

また、都道府県選手団の宿泊に関し、不適切な対応が発生した場合は、「第 68 回国民体育大会における宿泊について」(平成 25 年 9 月 11 日付け第 25 回体協国体発第 85 号)の趣旨に基づき、日本スポーツ協会国民体育大会委員会に報告する。

イ 前号に掲げる事情による宿泊変更等の受付開始時期は、宿泊決定通知書が宿泊申込み代表者に到達した時または合同配宿本部がシステムにより画面上で確認できるようにしたとき以降とする。

ウ 宿泊申込代表者が宿泊変更等を行う場合は、システムを利用し、宿泊変更・取消画面に変更内容を入力のうち、合同配宿本部に申し込む。

ただし、システムに異常等があり、システムによる宿泊変更等が困難な場合は、ファクシミリ、郵便またはメールにより行うことができるものとする。

エ 合同配宿本部は、受理した宿泊変更等の内容を速やかに指定宿舎に連絡し、調整を行う。

なお、調整結果については、宿泊申込代表者が宿舎決定通知書をシステムで確認が行えるようにし、その処理経過を記録する。

オ 選手・監督が競技敗退後または荒天等による競技会期短縮の決定後において宿泊を取消す場合は、宿泊要項により特例として取り扱う。

ただし、宿泊責任者が取消しを申し出る権利は取消しの理由となる事実が決定した後、申し出の効力の発生は宿舎に申し出があった日時とする。

なお、この特例は選手・監督以外には適用しない。

3 宿泊責任者

(1) 宿泊申込代表者は、宿泊者の中から、宿泊日が同じグループまたは行動を共にするグループごとに宿泊責任者を定める。

(2) 宿泊責任者は、宿泊者を代表し、宿泊者と指定宿舎との間で必要な事務の処理にあたる。

4 宿泊料金等の精算

(1) 宿泊料金、休憩料金、入湯税及び宿泊取消料（以下「宿泊料金等」という。）の精算は、宿泊要項及び宿泊規程の定めるところにより現地にて精算を行う。その精算方法は原則として現金払いとするが、各宿舎においてその他の精算方法が可能な場合は、この限りではない。

(2) 指定宿舎と宿泊責任者は、宿泊日ごとに宿泊人数、欠食の有無等の宿泊内容について宿泊連絡票（様式 1）等により互いに確認する。

(3) 指定宿舎と宿泊責任者は、互いに確認した宿泊内容に基づき、宿泊精算確認書（様式 2）により、宿泊責任者の退宿時にその支払額を確定する。

(4) 指定宿舎は、宿泊精算確認書 3 片のうち 1 片を退宿時に宿泊責任者に交付し、1 片を速やかに合同配宿本部へ送付する。

また、残りの1片は指定宿舎が保管する。

- (5) 指定宿舎は、宿泊精算確認書に基づき、宿泊責任者を債務者として宿泊料金等を請求する。

5 宿舎における紛議

宿舎において紛議が生じたときは、次により解決する。

- (1) 指定宿舎は、速やかに宿泊責任者との間でその処理にあたる。
- (2) 宿泊に係る紛議について、当事者の間において解決することが困難な場合には、合同配宿本部がその処理にあたる。

6 個人情報の取り扱い

宿泊申込みに記載された個人情報は、適切な管理に努めるとともに、合同配宿本部において宿泊業務に限り利用し、本来の目的以外に利用しない。

また、収集した個人情報は、国民体育大会終了後、統計資料作成に利用した後、削除する。

7 その他

この要領に定めのない事項については、合同配宿本部が別に定める。

(様式1)

特別国民体育大会 宿泊連絡票

提出日時 月 日

この用紙は、変更、確認不足等によるトラブルを避けるためのものであり、宿泊日数に応じた枚数をチェックイン時にお渡ししております。お手数ではございますが、毎朝ご出発前にフロントへご提出ください。

1. 宿泊施設名

2. 宿泊団体

参加区分		都道府県	競技種目	競技種別
<input type="checkbox"/> 選手・監督	<input type="checkbox"/> 競技会役員	※報道員は、会社名を記入	※選手、監督、競技会役員、 競技役員のみ記入	※選手・監督のみ記入
<input type="checkbox"/> 都道府県本部役員	<input type="checkbox"/> 競技役員			<input type="checkbox"/> 成年 <input type="checkbox"/> 男子 <input type="checkbox"/> 女子
<input type="checkbox"/> 視察員	<input type="checkbox"/> 報道員			
<input type="checkbox"/> その他大会関係者	<input type="checkbox"/> その他 ()			<input type="checkbox"/> 成年 <input type="checkbox"/> 男子 <input type="checkbox"/> 女子

※参加区分、競技種別については、該当する箇所に☑をお願いします。

3. 前日 (月 日) の宿泊実績は下記になります。

宿泊内訳	1泊2食	1泊朝食	1泊夕食	素泊まり	計
	名	名	名	名	名

4. 宿泊人数の確認

本日の宿泊計	名
--------	---

※宿泊予定日の8日前の宿泊取消しの申出から、宿泊取消料の対象となります。

5. 食事人数の確認 (入宿前の食事連絡からの変更)

本日の夕食	有 名	欠食 名	欠食申出日時	月 日 時
翌日の朝食	有 名	欠食 名	欠食申出日時	月 日 時

※食事人数の有、欠食は、4.宿泊人数の内訳となるようご記入ください。

※入宿後に食事の変更連絡を行った場合は、申し出日時が欠食控除の適用内か宿泊施設とご確認のうえご記入ください。

※欠食控除の適用は前々日の正午12時までに申し出た場合に限ります。(特別国民体育大会(鹿児島県)宿泊要項)

6. その他連絡事項があればご記入ください。

連絡事項	
------	--

令和5年 月 日

宿泊責任者 署名

宿泊施設担当者 署名

① 宿泊者用/②宿泊施設用

(様式2)

特別国民体育大会 宿泊精算確認書

1. 指定宿舎

宿泊施設名			
所在地			
電話番号	-	-	FAX番号
			-

2. 宿泊団体

参加区分	都道府県	競技種目	競技種別
<input type="checkbox"/> 選手・監督 <input type="checkbox"/> 都道府県本部役員 <input type="checkbox"/> 視察員 <input type="checkbox"/> その他大会関係者	<input type="checkbox"/> 競技会役員 <input type="checkbox"/> 競技役員 <input type="checkbox"/> 報道員 <input type="checkbox"/> その他 ()	※報道員は、会社名を記入 <input type="checkbox"/> 選手、監督、競技会役員、 競技役員のみ記入	※選手・監督のみ記入 <input type="checkbox"/> 成年 <input type="checkbox"/> 男子 <input type="checkbox"/> 女子 <input type="checkbox"/> 少年 <input type="checkbox"/> 男子 <input type="checkbox"/> 女子

※ 参加区分、競技種別については、該当する箇所を記入をお願いします。

3. 宿泊責任者氏名	様
------------	---

4. 宿泊実績

宿泊料金単価(税込) 10%	1泊2食 (円)	1泊朝食 (円)	1泊夕食 (円)	素泊まり (円)	入湯税 (円)
	円	円	円	円	円

宿泊日 (月/日/曜日)	1泊2食 (人数)	1泊朝食 (人数)	1泊夕食 (人数)	素泊まり (人数)	小計
月 日 ()	人	人		人	人
月 日 ()	人	人		人	人
月 日 ()	人	人		人	人
月 日 ()	人	人		人	人
月 日 ()	人	人		人	人
月 日 ()	人	人		人	人
月 日 ()	人	人		人	人
月 日 ()	人	人		人	人
月 日 ()	人	人		人	人
月 日 ()	人	人		人	人
月 日 ()	人	人		人	人
月 日 ()	人	人		人	人
延べ宿泊人数	人	人	人	人	人
宿泊料金小計	円	円	円	円	円
入湯税小計	円	円	円	円	円
宿泊料金合計	円	円	円	円	円①

入宿後 金額別宿泊取消料	宿泊取消料単価	件数	宿泊取消料単価	件数	宿泊取消料単価	件数	宿泊取消料単価	件数	宿泊取消料小計
8日～4日前 20 %	円	件	円	件	円	件	円	件	円
3日～前日 50 %	円	件	円	件	円	件	円	件	円
宿泊予定日当日 100 %	円	件	円	件	円	件	円	件	円
入宿後 宿泊取消料合計	※ 運泊の取消の場合は、取消した泊数にかかわらず、一人につき初泊の1泊分のみ宿泊取消料の対象となります。								円②
入宿前 宿泊取消料合計	※ 「配宿決定通知書」(変更通知)の取消料欄の「累計」額を記入してください。								円③

請求合計額 ①+②+③	円
----------------	---

上記内容に相違ありません。

令和5年 月 日

宿泊責任者

宿泊施設担当者

注1) 宿泊責任者と宿泊施設担当者の署名をもって請求額の確定となりますので必ずご署名ください。

注2) 宿泊実績記入欄が不足する場合は別票で記入してください。

燃ゆる感動かごしま大会 宿泊事務実施要領

1 趣旨

この要領は「燃ゆる感動かごしま大会 宿泊要項」（以下「宿泊要項」という。）に基づき、宿泊要項が適用される大会参加者等に係る宿泊業務の実施に関して必要な事項を定める。

2 宿泊申込手続き

(1) 宿泊申込代表者

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会（以下「実行委員会」という。）は、燃ゆる感動かごしま大会（特別全国障害者スポーツ大会）に参加し、又は派遣される者の宿泊の申込みに関して下記区分ごとに、それぞれの宿泊申込みに関する責任を負う者（以下「宿泊申込代表者」という。）を指定する。宿泊申込代表者は、宿舍の責による場合を除き、当該区分に定める者の宿泊の申込みについて最終的な責任を負う。

区分		宿泊申込代表者
選手団	選手・監督	都道府県・指定都市が定める者
	役員	
	介助員	
競技役員	県内	鹿児島県内の各競技団体の長
	県外	全国を統括する各競技団体の長
競技補助員		鹿児島県内の各競技団体の長
実施本部員		宿泊希望のあった実施本部の班長
ボランティア		各ボランティア団体等の代表者
視察員		宿泊希望のあった各団体の代表者
報道員		宿泊希望のあった各社の代表者
その他大会関係者		宿泊希望のあった各団体の代表者

※その他大会関係者とは実務研修員及び大会運営に参加する者で、実行委員会が宿泊を必要と認めた者をいう。

(2) 宿泊の申込み

ア 宿泊申込システム

燃ゆる感動かごしま大会の宿泊申込みは、宿泊申込システム（実行委員会が運営し、インターネットを介して、宿泊の申込みを受付処理するシステムをいう。以下「システム」という。）により申し込まなければならない。

ただし、システムに異常等があり、システムによる申込みが困難な場合

は、ファクシミリ、郵送又はメールによる申込みができるものとする。

イ 宿泊申込みに必要な ID・パスワード等の通知

実行委員会は、システムを利用した宿泊申込みに必要な ID・パスワード等を宿泊申込代表者に通知する。

ウ 申込方法

宿泊申込代表者は、システムにアクセスし、実行委員会から通知された ID・パスワードを入力してログインし、宿泊申込入力画面に必要事項を入力の上、申し込む。

なお、実行委員会は、上記 ID・パスワードによりログインした者が行った宿泊申込みについて、宿泊申込代表者本人により行われたものとして取り扱う。

エ 申込先

燃ゆる感動かごしま大会宿泊・輸送センター（以下「宿泊・輸送センター」という。）

※連絡先 〒892-0847 鹿児島県鹿児島市西千石町 17-27

第 2NADESHIKO BLD5-A

電話：099-219-3300 FAX：099-219-3305

※システムのインターネットアドレス：別に定める

オ 申込期限

以下のとおりとする。

区分	申込期限
選手団	<u>令和 5 年 6 月 30 日（金）まで</u>
選手団以外	<u>令和 5 年 8 月 21 日（月）まで</u>

(3) 宿舍の決定

ア 実行委員会は、宿泊申込みを受理した後に、宿舍の決定を行う。

イ 実行委員会は、宿舍を決定した場合には、宿泊申込代表者が宿舍決定通知書をシステムの画面上から確認できるようにする。

ウ 実行委員会は、宿舍を決定した場合には、当該宿舍（以下「指定宿舍」という。）に対し、配宿決定通知書をシステムの画面上から確認できるようにする。

(4) 宿泊の変更及び取消し

ア 宿舍決定後の宿泊の変更及び取消し（以下「宿泊変更等」という。）については、原則認めない。ただし、実行委員会が必要と認めた場合には、その限りではない。

イ 前号に掲げる事情による宿泊変更等の受付開始時期は、宿舎決定通知が宿泊申込代表者に到達した時、又は実行委員会がシステムにより画面上で確認した時以降とする。

ウ 宿泊申込代表者が宿泊変更等を行う場合は、システムを利用し、宿泊変更・取消の内容を入力の上、実行委員会に申し込む。

ただし、システムに異常等があった場合には、宿泊申込代表者が実行委員会に連絡し、実行委員会がシステムによる変更や取消しが困難であると認めた場合は、ファクシミリ、郵送又はメールにより申込みを行えることとする。

エ 実行委員会は、受理した宿泊変更等の内容を、速やかに指定宿舎へ連絡して調整を行う。

なお、調整結果については、宿泊申込代表者が宿泊申込システムで確認が行えるようにする。

また、その処理経過は記録する。

3 宿泊責任者

(1) 宿泊申込代表者は宿泊者の中から、宿泊日が同じグループ又は行動を共にするグループごとに宿泊責任者を定める。

なお、宿泊者以外に行動を共にする者がいない場合は、宿泊者本人を宿泊責任者とする。

(2) 宿泊責任者は、指定宿舎において宿泊者を代表し、宿泊者と指定宿舎との間で必要な事務の処理に当たる。

4 宿泊料金等の精算

(1) 宿泊料金、休憩料金、入湯税及び宿泊取消料（以下「宿泊料金等」という。）の精算は、宿泊要項の定めるところにより、選手団は、宿泊・輸送センターを介した請求書払いとする。

選手団以外の精算方法は、原則として現地にて現金払いとするが、各宿舎において、その他の精算方法が可能な場合はこの限りではない。

なお、これら以外の料金については、各宿舎が定める方法により宿泊責任者が直接宿舎に支払う。

(2) 指定宿舎と宿泊責任者は、宿泊日ごとに宿泊人数、欠食の有無等の宿泊内容について、宿泊連絡票（様式1）等により互いに確認する。

(3) 指定宿舎と宿泊責任者は、互いに確認した宿泊内容に基づき、宿泊精算確認書（様式2）により、宿泊責任者の退宿時にその支払額を確定する。

- (4) 指定宿舎は、宿泊精算確認書(様式2)を退宿時に宿泊責任者に交付するとともに、速やかに宿泊・輸送センターに送付する。
- (5) 指定宿舎は、宿泊精算確認書(様式2)に基づき、選手団にあっては、宿泊・輸送センター代表者を、選手団以外にあっては、宿泊責任者を債務者として、宿泊料金等を請求する。

5 宿舎における紛議

宿舎において紛議が生じた場合は、次により解決する。

- (1) 指定宿舎の代表者は、速やかに宿泊責任者との間でその処理に当たる。
- (2) 宿舎に係る紛議について、当事者の間において解決することが困難な場合は、実行委員会がその処理にあたる。

6 個人情報の取扱い

宿舎申込みに記載された個人情報は適切な管理に努めるとともに、実行委員会及び宿泊・輸送センターにおいて宿泊の業務に限り利用し、その他の目的に利用しない。

また、収集した個人情報は、燃ゆる感動かごしま大会終了後、統計資料作成に利用した後、削除する。

7 その他

この要領に定めのない事項については、実行委員会が別に定める。

(様式1)

燃ゆる感動かごしま大会 宿泊連絡票

提出日 月 日

この用紙は、変更、確認不足等によるトラブルを避けるためのものであり、宿泊日数に応じた枚数をチェックイン時にお渡ししております。お手数ではございますが、毎朝ご出発前にフロントへご提出ください。

1 宿泊施設名

--

2 宿泊団体

参加区分	都道府県	競技種目	障害区分
<input type="checkbox"/> 選手団 <input type="checkbox"/> 大会役員・特別招待者 <input type="checkbox"/> 競技役員・技術指導員 <input type="checkbox"/> 競技補助員 <input type="checkbox"/> 実施本部長 <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> 視察員 <input type="checkbox"/> 報道員 <input type="checkbox"/> その他大会関係者	※報道員は、会社名を記入	※選手団、競技役員のみ記入	※選手団のみ記入 <input type="checkbox"/> 身体 <input type="checkbox"/> 知的 <input type="checkbox"/> 精神

※参加区分、障害区分については、該当する箇所に☑をお願いします。

なお、該当する参加区分がない場合は、御手数ですが、最下部に☑し空欄に御記入

3 前日 (月 日) の宿泊実績は以下のとおりです。

宿泊内訳	1泊2食	1泊朝食	1泊夕食	素泊まり	計
	名	名	名	名	名

4 宿泊人数の確認

本日の宿泊計	名
--------	---

※宿泊予定日の8日前の宿泊取消しの申出から、宿泊取消料の対象となります。

5 食事人数の確認

本日の夕食	有	欠食	欠食申出日時	月	日	時
	名	名				
翌日の朝食	有	欠食	欠食申出日時	月	日	時
	名	名				

※食事人数の有、欠食は、「4 宿泊人数」の内訳となるようご記入ください。

※入宿後に食事の変更連絡を行った場合は、申出日時が欠食控除の適用内か宿泊施設と確認のうえ、ご記入ください。

※欠食控除の適用は、朝食、夕食ともに前々日の12時までに申し出た場合に限る。(燃ゆる感動かごしま大会宿泊要項)

6 その他連絡事項があればご記入ください。

連絡事項	
------	--

令和5年 月 日

宿泊責任者 署名

--

宿泊施設担当者 署名

--

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」実施要綱

1 目的

全国障害者スポーツ大会は、障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とした障害者スポーツの全国的な祭典である。

鹿児島県で開催する特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」は、「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴する大会として、「深めよう！ふれ愛の絆」「見つけよう！未来に輝く夢と希望」「届けよう！熱い思い」の3つを基本方針とし、障害のある人もない人も、大会に参加する全ての人がスポーツを通じて心を通わせ、共に支え合うことでふれ愛の絆を深めるとともに、新たな可能性にチャレンジしながら、未来に輝く夢と希望を見つめることができる大会とする。

また、世界有数の活火山である桜島や、明治維新を成し遂げた偉人に象徴される熱く情熱的な鹿児島の、まごころのこもったおもてなしで来県者の方々を温かくお迎えするとともに、熱戦を繰り広げる選手たちの熱い鼓動や歓声を、鹿児島から南の風に乗せて全国に届けることのできる大会を目指す。

2 名称

特別全国障害者スポーツ大会
(愛称「燃ゆる感動かごしま大会」)

3 大会スローガン

「熱い鼓動 風は南から」

4 主催

公益財団法人日本パラスポーツ協会、文部科学省、
鹿児島県、鹿児島市、鹿屋市、指宿市、霧島市、いちき串木野市、南九州市、始良市、
社会福祉法人鹿児島県身体障害者福祉協会、
一般社団法人鹿児島県視覚障害者団体連合会、一般社団法人鹿児島県聴覚障害者協会、
社会福祉法人鹿児島県手をつなぐ育成会、鹿児島県知的障害者福祉協会、
特定非営利活動法人鹿児島県精神保健福祉会連合会、
社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会、鹿児島県障害者スポーツ協会、
鹿児島県障害者スポーツ指導者協議会、鹿児島県特別支援学校長会、
公益財団法人鹿児島県スポーツ協会

5 競技運営主管団体

一般財団法人鹿児島陸上競技協会、一般社団法人鹿児島県水泳連盟、
鹿児島県アーチェリー協会、鹿児島県卓球連盟、
鹿児島県障害者フライングディスク協会、鹿児島県ボッチャ協会、
鹿児島県ボウリング連盟、一般社団法人鹿児島県バスケットボール協会、
鹿児島県ソフトボール協会、鹿児島県バレーボール協会、
一般社団法人鹿児島県サッカー協会

6 後援 <以下は、後援依頼予定団体の名称>

厚生労働省、公益財団法人日本スポーツ協会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会、公益財団法人日本知的障害者福祉協会、公益社団法人日本精神保健福祉連盟、公益財団法人JKA、公益社団法人日本医師会

7 特別協賛

大同生命保険株式会社

8 協賛

(1) オフィシャルスポンサー

大和証券株式会社、一般社団法人鹿児島県建設業協会、鹿児島相互信用金庫、鹿児島空港ビルディング株式会社、鹿児島信用金庫、株式会社鹿児島銀行、鹿児島県農業協同組合中央会、西日本電信電話株式会社、株式会社セイカスポーツセンター、南国殖産株式会社、株式会社新日本科学、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社、日本瓦斯株式会社、株式会社西原商会
(令和4年12月28日現在)

(2) オフィシャルサポーター

株式会社ダスキン九州地域本部、株式会社イシワタ、株式会社ヨコブリシ、株式会社山形屋、鹿児島県信用保証協会、公益社団法人鹿児島県トラック協会、株式会社サナス、三岳酒造株式会社、大福コンサルタント株式会社、フューチャー株式会社、京セラ株式会社、株式会社新生社印刷、鹿児島興業信用組合、エス・パックス株式会社、コーアツ工業株式会社、洗車工房株式会社、株式会社アリマコーポレーション、株式会社九州経済研究所、鹿児島保証サービス株式会社、株式会社鹿児島カード、鹿児島リース株式会社、株式会社南日本銀行、本坊酒造株式会社、株式会社本坊商店、薩摩酒造株式会社、ソフトマックス株式会社、県職員生活協同組合、セイカ食品株式会社、株式会社フェニックス、株式会社トヨタレンタリース鹿児島、住友金属鉱山株式会社菱刈鉱山、株式会社 Misumi、イオン九州株式会社、城山観光株式会社、南国交通株式会社、ユーミーコーポレーション株式会社、株式会社IHI、鹿児島総合警備保障株式会社、鹿児島県運動具小売商協同組合、大口電子株式会社、日本風力エネルギー株式会社、株式会社丸和工業、日本郵便株式会社
(令和4年12月28日現在)

(3) オフィシャルサプライヤー

株式会社グリップ、株式会社アクティオ、株式会社エフエム鹿児島、株式会社南日本新聞社、株式会社ホンダさつま、株式会社南九州マツダ、ネットトヨタ鹿児島株式会社、鹿児島日産自動車株式会社、鹿児島トヨペット株式会社、トヨタカローラ鹿児島株式会社、株式会社ホンダ四輪販売南九州、ネットトヨタ南九州株式会社、鹿児島トヨタ自動車株式会社、公益社団法人鹿児島県歯科医師会、株式会社サニクリーン九州、南国交通株式会社、株式会社南日本放送、南日本出版株式会社、全国マツダ労働組合連合会、株式会社山形屋

公益社団法人日本フラワーデザイナー協会，株式会社鹿児島レブナイズ，
株式会社城山，株式会社鹿児島放送，株式会社ナンチク，
日本たばこ産業株式会社南九州支社，株式会社フタバ，日本航空株式会社，
ウィンワークス株式会社 (令和4年12月28日現在)

(4) 大会協力企業

株式会社ルイ高，株式会社ダスキン九州地域本部，株式会社九州経済研究所，
本場大島紬織物協同組合，本場奄美大島紬協同組合，株式会社南日本リビング新聞社，
株式会社フェリーさんふらわあ，有限会社小瀬塗装店，株式会社鹿児島建設新聞，
西文社印刷株式会社，株式会社新福衣料店，南九州トンボ株式会社，
九州電力株式会社，鹿児島管公学生服株式会社，株式会社JTB全国特定大会事業部，
株式会社NIPPO南九州統括事業所 (令和4年12月28日現在)

9 協力企業・団体

鹿児島大学，鹿屋体育大学，鹿児島国際大学，第一工科大学，志学館大学，
鹿児島純心女子大学，鹿児島県立短期大学，鹿児島女子短期大学，仁心看護専門学校，
鹿児島中央看護専門学校，川内市医師会立川内看護専門学校，
鹿児島キャリアデザイン専門学校，鹿児島医療技術専門学校，神村学園専修学校，
鹿児島第一医療リハビリ専門学校，
公益社団法人鹿児島県理学療法士協会，一般社団法人鹿児島県作業療法士協会，
一般社団法人鹿児島県鍼灸師会，公益社団法人鹿児島県鍼灸マッサージ師会，
公益社団法人鹿児島県柔道整復師会，
日進医療器株式会社，株式会社オーエックスエンジニアリング，
一般社団法人日本義肢協会

(令和4年12月28日現在)

10 大会期日

令和5年10月28日(土)～30日(月)

11 開・閉会式, 実施競技の開催期日及び会場

実施競技等		開催期日 (令和5年)	会場名
開会式		10月28日(土)	白波スタジアム (県立鴨池陸上競技場)
閉会式		10月30日(月)	白波スタジアム (県立鴨池陸上競技場)
個人競技	陸上競技(身・知)	10月28日(土) ~30日(月)	白波スタジアム (県立鴨池陸上競技場)
	水泳(身・知)		鴨池公園水泳プール
	アーチェリー(身)	10月29日(日)	鹿児島ふれあいスポーツランド
	卓球(身・知・精) [サウンドテーブルテニス(身)を含む。]	10月28日(土) ~29日(日)	西原商会アリーナ (鹿児島アリーナ)
	フライングディスク(身・知)	10月28日(土) ~30日(月)	県立サッカー・ラグビー場
	ボッチャ(身)	10月28日(土) ~29日(日)	指宿総合体育館
	ボウリング(知)	10月28日(土) ~29日(日)	サンライトゾーン
団体競技	バスケットボール(知)	10月28日(土) ~29日(日)	ビーラインスポーツパーク 始良体育館(始良市総合運動公園体育館)
	車いすバスケットボール(身)		いちき串木野市総合体育館
	ソフトボール(知)		知覧平和公園多目的球場
	フットソフトボール(知)		知覧平和公園陸上競技場
	グランドソフトボール(身)		開聞総合グラウンド
	バレーボール(身・知)		南栄リース桜島アリーナ (桜島総合体育館)
	バレーボール(精)		平和公園串良平和アリーナ
	サッカー(知)	10月28日(土) ~30日(月)	国分運動公園陸上競技場, 多目的広場

(注) 身=身体障害者が出場できる競技, 知=知的障害者が出場できる競技
精=精神障害者が出場できる競技

12 参加者及び出場資格

- (1) 大会の参加者は、都道府県・指定都市選手団、大会役員及び競技役員とする。
- (2) 出場選手は、次の全ての条件を満たす者とする。
 - ① 年齢は令和5年4月1日現在で13歳以上とする。
 - ② 資格要件は次のとおりとする。
 - (ア) 身体障害者は、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者。
 - (イ) 知的障害者は、厚生事務次官通知（昭和48年9月27日厚生省発児第156号）による療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。
 - (ウ) 精神障害者は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条により、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。
 - ③ 申込み時に参加する都道府県・指定都市内に現住所（住民票のある地）を有する者。ただし、学校に通学している者及び施設に入所、通所している者は、その学校及び施設の所在地の都道府県・指定都市でも参加できるものとする。
- (3) 団体競技に出場するチームは次のとおりとする。
 - ① 鹿児島県の代表チーム
 - ② 公益財団法人日本パラスポーツ協会がブロック予選実施団体（一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟、社会福祉法人日本視覚障害者団体連合スポーツ協議会、一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会、一般社団法人全日本知的障がい者スポーツ協会及び公益社団法人日本精神保健福祉連盟精神障害者スポーツ推進委員会）と協議の上実施するブロック予選会により決定した都道府県又は指定都市の代表チーム。

ブロック予選会の実施が困難な競技については、公益財団法人日本パラスポーツ協会が選考したチームとしてもよい。
 - ③ 指定都市及びその指定都市のある道府県において、単独で代表チームの編成が出来ない場合に限り、道府県と指定都市の合同チームとしての出場を認める。ただし、その場合はブロック予選会から合同チームとして出場しなければならない。

13 選手団規模

- (1) 選手 約3,640人
- (2) 役員 約2,000人

14 競技規則

適用する競技規則は、令和5年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定。以下「大会競技規則」という。）並びに別に定める競技実施要項及び競技別実施要領によるものとする。

15 競技・種目及び障害・年齢区分

- (1) 競技・種目及び障害区分は、大会競技規則〈別表1〉「全国障害者スポーツ大会競技・種目」のとおりとする。
- (2) 大会競技規則第2条3に定める年齢区分の基準日は、令和5年4月1日とする。

16 参加申込み

- (1) 個人競技の出場申込みは、大会競技規則<別表1>に示された競技の中から、1競技を選ぶものとし、実施種目が複数ある競技については次のとおり選択して申し込むことができる。
 - ① 陸上競技及び水泳は、リレー種目を除き第3希望までの種目を選択する。なお、リレー種目はこれとは別に選択する。
 - ② フライングディスクは、アキュラシーのディスリート5又はディスリート7のいずれか及びディスタンスの計2種目までを選択することができる。
 - ③ アーチェリーは、リカーブ部門又はコンパウンド部門のいずれかの1種目を選択する。
- (2) 開催地主催者は、申し込まれた種目の中から出場種目を決定し、都道府県・指定都市に通知する。

17 出場制限

- (1) 個人競技
出場種目は2種目以内（リレー種目に出場する場合は3種目以内）とする。
ただし、地理的条件等何らかの理由により、出場競技・種目に制限を加える等の必要がある場合には、主催者で協議の上、決定することができる。
- (2) 団体競技
団体競技に出場する選手は、他の団体競技及び個人競技には出場できないものとする。

18 選手選考への配慮

都道府県・指定都市における、出場選手の選考に当たっては、地域の障害者スポーツの振興を図る観点から、全国障害者スポーツ大会出場未経験者の出場に配慮する。

19 全国代表者会議及び監督会議

- (1) 期日
令和5年10月27日（金）
（ただし、アーチェリーの監督会議については令和5年10月28日（土）とする。）
- (2) 時間及び会場
別に定める。

20 選手団の派遣及び費用

- (1) 選手団は、都道府県・指定都市（以下「派遣者」という。）が派遣する。
- (2) 派遣者は、開催地主催者に対し、所定の手続きをもって選手団及び出場選手の競技・種目の申込みを行うものとする。
- (3) 選手団の派遣に要する費用は、派遣者が負担する。

21 健康・安全管理

選手団の健康・安全管理については、派遣者において十分配慮するものとし、主催者においては、応急の処置のみを行う。

22 宿泊

選手団の宿泊は、開催地主催者において確保し、宿泊料金等は別に定める。

23 オープン競技

オープン競技として、次のとおり実施する。なお、実施に関する必要な事項は別に定める。

実施競技	開催期日 (令和5年)	会場名
スポーツウエルネス吹矢	10月22日(日)	ハートピアかごしま(鹿児島市)
電動車椅子サッカー (パワーチェアフットボール)	10月21日(土) ~22日(日)	西原商会アリーナ (鹿児島アリーナ)(鹿児島市)
ふうせんバレーボール	10月29日(日)	鹿児島市勤労者交流センター (鹿児島市)

24 個人情報及び肖像権に関わる取扱い

- (1) 主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、参加申込みで得た情報を特別全国障害者スポーツ大会に関わる業務のために利用し、目的以外に利用しない。
- (2) 参加者は、参加申込書の提出をもって、大会中に撮影された写真及び映像の公開に関する取扱いについて承諾をしたものとする。
- (3) その他の取扱いについては、国民体育大会における個人情報及び肖像権に関わる取扱いに準じる。

25 その他

この要綱に定めるもののほか、大会の実施に関して必要な事項は別に定める。

<別表1>特別全国障害者スポーツ大会競技・種目

1. 陸上競技

◎男女別・年齢区分別 △男女混合・年齢区分なし ▲男女別・年齢区分なし

区分番号	障害区分	競走							跳躍			投てき				
		50m	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	※1 4×100mリレー	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ビーントック投
		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
1	上肢	1	手部切断 片前腕切断又は、片上肢不完全 片上腕切断又は、片上肢完全	◎	◎					◎						
		2	両前腕切断又は、片前腕及び片上腕切断 両上肢不完全	◎	◎				◎	▲	◎	◎				
		3	両上腕切断又は、両上肢完全	◎	◎						▲	◎	◎			
	下肢	4	片下腿切断又は、片下肢不完全	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	
		5	片大腿切断又は、片下肢完全	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	
		6	両下腿切断	◎	◎						◎		◎	◎	◎	
		7	片下腿及び片大腿切断 両下肢不完全	◎							◎		◎	◎	◎	
		8	両大腿切断又は、両下肢完全										◎	◎	◎	
	体幹	9	体幹 ※3	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	
2	車いす 脳性麻痺 以外 常用 使用	10	第6頸髄まで残存	◎	◎				◎							◎
		11	第7頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎							◎
		12	第8頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎
		13	下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎
		14	下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎
15	その他の車いす		◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎		
3	(脳性麻痺、 脳外傷等) 脳血管 疾患	16	四肢麻痺で車いす使用	◎					◎							◎
		17	けって移動	◎					◎							◎
		18	片上下肢または片上肢で車いす使用	◎					◎						◎	◎
		19	上肢で車いす使用	◎	◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎
		20	その他走不能											◎	◎	◎
		21	上肢に不随意運動を伴う走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎
22	その他走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎		
4	23	電動車いす常用						◎							◎	
視覚障害 ※5	24	視力0から0.01まで ※6	◎	◎	◎		◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	
	25	その他の視覚障害	◎	◎	◎		◎	◎		▲	◎	◎	◎	◎	◎	
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害	26	聴覚障害	◎	◎	◎		◎	◎		▲	◎	◎	◎	◎	◎	
知的障害	27	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	▲	◎	◎		◎	◎	
内部障害	28	ぼうこう又は直腸機能障害	◎					◎			◎	◎		◎	◎	

※1 4×100mリレーは男女混合とする。

※2 50m競走で使用する車いすは日常生活用とする。

※3 体幹とは頸部・胸部・腹部及び腰部（脊柱）のみに変形がある者（脊椎カリエス等による体幹の障害が該当する）。

ただし、四肢の機能障害を伴う場合は体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない。

※4 複数の障害区分にわたり1つの◎がついている場合は、1つの区分として競技をおこない、順位を決定する。

※5 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※6 障害区分24は光を通さないアイマスク又はアイシェードを装着する。

【注】競走競技は50mと100m、跳躍競技は立幅跳と走幅跳、投てき競技は障害区分8を除き、ソフトボール投とジャベリックスローの両方に申し込むことはできない。

2. 水泳

◎男女別・年齢区分別 ○男女別・1部 ●男女別・2部 △男女混合・年齢区分なし

			自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ		※1 4 × 5 リ レ m	※1 メ ド レ × 5 リ レ m	
区分番号	障害区分		2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m			
1	上肢	1	手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		2	片前腕切断又は、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		3	片上腕切断又は、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		4	両前腕切断又は、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		5	両上腕切断又は、両上肢完全 片前腕及び片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	下肢	6	片下腿切断又は、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		7	片大腿切断又は、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		8	両下腿切断又は、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		9	両大腿切断又は、両下肢完全 片下腿及び片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎			
	上下肢	10	片上肢切断及び片下肢切断 片上肢不完全及び片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎			
		11	多肢切断又は、片上肢完全及び片下肢完全 両上肢不完全及び両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎			
	体幹	12	体幹	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
2	で車いす 麻痺以外 す常用	13	第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎					
		14	第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		15	下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		16	下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
3	(脳性 麻痺、 脳外傷等) 脳性 麻痺	17	四肢麻痺(車いす常用)又は、 上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎					
		18	両下肢麻痺又は、 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		19	片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎			
		20	その他の片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		21	その他の走可能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
4	22	浮具使用	◎	◎	◎		◎						
視覚障害 ※2	23	視力0から0.01まで ※3	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
	24	その他の視覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
聴覚・平衡機能 障害、音声・言語・そ しゃく機能障害	25	聴覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
知的障害	26	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	

※1 リレー、メドレーリレーは男女混合とする。

※2 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※3 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

3. アーチェリー

●男女別

	区分番号	障害区分	リカーブ		コンパウンド		
			50m・30m	30m・30m	50m・30m	30m・30m	
肢体不自由	脳原性麻痺以外で車いす常用	1	第8頸髄まで残存	●	●	●	●
		2	その他の車いす	●	●		
	切断・機能障害	3	上肢障害	●	●		
		4	下肢障害（いす、車いす使用を含む）	●	●		
		5	体幹	●	●		
	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）	6	脳原性麻痺（いす、車いす使用を含む）	●	●	●	●
●				●			
●				●			
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害	7	聴覚障害	●	●			
内部障害	8	ぼうこう又は直腸機能障害	●	●			

※「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」及び「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

4. 卓球

◎男女別、年齢区分別 ●男女別

			区分番号	障害区分	卓球	STT
肢体不自由	1	上肢障害	1	片上肢障害	◎	
			2	両上肢障害	◎	
		下肢障害	3	片下腿切断又は、片下肢不完全	◎	
			4	片大腿切断又は、両下腿切断 片下肢完全又は、両下肢不完全	◎	
			5	片下腿及び片大腿切断 両大腿切断又は、両下肢完全	◎	
			6	体幹	◎	
	2	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	7	第8頸髄まで残存 ※1	◎	
			8	座位バランスなし	◎	
			9	その他の車いす	◎	
	3	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）	10	車いす使用	◎	
			11	杖又は、松葉杖使用	◎	
			12	上肢に不随意運動あり	◎	
			13	上肢に不随意運動なし	◎	
			14	片側障害	◎	
視覚障害 ※2			15	アイマスク・アイシェードあり ※3		◎
			16	アイマスク・アイシェードなし	◎	
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害			17	聴覚障害	◎	
知的障害			18	知的障害	◎	
精神障害			19	精神障害	●	

※1 「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」及び「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

※2 視力・視野の程度に関わらず、アイマスク・アイシェードの有無で出場競技を分ける。

※3 障害区分15は、各自で用意した光を通さないアイマスク又はアイシェードを装着する。

5. フライングディスク

◇区分なし ●男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
肢体不自由				
視覚障害				
聴覚障害	◇	◇	●	●
知的障害				
内部障害（ぼうこう又は直腸機能障害）				

6. ボッチャ

△男女混合、年齢区分なし

	区分 番号	障害区分	競技スタイル		
			立位	座位	
肢体不自由	1	切断・機能障害	△		
	2	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	第6頸髄まで残存		△
			第7頸髄まで残存		△
			第8頸髄まで残存		△
			多肢切断		△
			四肢麻痺で車いす常用または、使用		△
	3	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）	けって移動		△
			片上下肢で車いす常用または、使用		△
			その他走不能	△	
	4		電動車いす常用		△

※ 座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。

※ 座位で競技する選手（区分2～8および10）で、投球はできるが車いすの方向を変えたり、移動したりすることが機能的に困難な者に競技アシスタントを1名、投球することが困難でランプを使用して競技をする者にランプオペレーターを1名認める。

※ 立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

7. ボウリング

知的障害者で男女別、年齢区分別に実施する。

8. バスケットボール

知的障害者で、男女別に実施する。

9. 車いすバスケットボール

肢体不自由者の車いす使用者で、競技規則第9部第3条の規定に該当する者。

10. ソフトボール

知的障害者のみの競技とする。

11. グランドソフトボール

視覚障害者のみの競技とする。

12. バレーボール

聴覚障害者と知的障害者で、男女別に実施する。

精神障害者は、男女混合とする。

13. サッカー

知的障害者のみの競技とする。

14. フットソフトボール

知的障害者のみの競技とする。

余 白

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 競技実施要項

1 競技運営

(1) 個人競技

- ア 陸上競技，水泳及びフライングディスクは同一競技内で2種目まで出場できる。
また，陸上競技及び水泳は，これに加えてリレー1種目に出場できる。
なお，フライングディスクの2種目とは，アキュラシーのディスリート5又はディスリート7から1種目とディスタンスの計2種目である。
- イ 競技は，原則として男女別に行う。
ただし，陸上競技の4×100mリレー，水泳の4×50mフリーリレー及び4×50mメドレーリレー，フライングディスクのアキュラシー種目ならびにボッチャを除く。
- ウ 1組の競技者数は，8名以内とし，予選を行わず組単位に1回の決勝競技とする。
ただし，卓球は4名以内のブロック，ボッチャは3または4チームのプールに分かれて行うこととし，競技方法は別に定める。
- エ 出場選手が少ない競技・種目は，異なる障害区分の選手又は他の年齢区分の選手が同時に競技を行うことがある。
この場合，順位決定及び表彰は，障害区分及び年齢区分別に行う。なお，ボッチャは障害区分によらずプールを形成し，各プールにて順位決定及び表彰を行う。

(2) 団体競技

- ア チーム編成は，バスケットボール及びバレーボール（聴覚障害の部，知的障害の部）は男女別，バレーボール（精神障害の部）は男女混合とし，他の競技は男女混合を可とする。
- イ 試合は，都道府県・指定都市の代表チームによるトーナメント方式とし，原則として3位決定戦を実施する。
- ウ 競技日程に支障がない範囲で，交流戦を実施することができる。

(3) 実施態度

開催地主催者が競技運営主管団体と協議の上，決定する。

(4) 開始式・表彰式

- ア 開始式
実施する場合は，選手のコンディション等に配慮して簡素に行う。
- イ 表彰式
(ア) 陸上競技，水泳，フライングディスク，卓球，ボッチャ及びボウリングは，随時，表彰を行う。
(イ) (ア)以外の競技は，競技終了後に行う。

(5) 競技記録及び成績の発表等

- ア 競技記録及び成績は，燃ゆる感動かごしま大会のウェブページに掲載する。
- イ 各競技の記録及び成績は，当該競技会場内の記録速報板等に掲示する。

(6) 抗議

- ア 競技上の抗議については，令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）の定めるところによる。
- イ 選手の出場資格，組合せ及び障害区分の適用については，抗議することができない。

2 表彰

(1) 個人競技

各競技の組（卓球はブロック、ボッチャはプール）ごとに1位から3位までの選手にメダルを授与する。

ただし、ボッチャを除き組に異なった障害区分及び年齢区分がある場合は、その区分ごととする。

(2) 団体競技

優勝チームに賞状及び優勝杯を、2位及び3位のチームに賞状を、優勝から3位までのチーム選手にメダルを授与する。

3 参加申込み

(1) 申込方法

選手を派遣する都道府県・指定都市（以下「派遣者」という。）は、所定の参加申込書に必要事項を記入し、申し込むものとする。

(2) 申込期限

令和5（2023）年6月30日（金）必着とする。

(3) 提出先及び問合せ先

派遣者は、封筒に「二つ折り厳禁・参加申込書在中」と朱書きし、書留郵便で参加申込書を以下に送付すること。

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10番1号

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局

（鹿児島県国体・全国障害者スポーツ局 全国障害者スポーツ大会課）

T E L 099-286-2561（直通） F A X 099-286-5553

(4) 申込後の変更の取扱い

ア 個人競技

病気等でやむなく選手を変更する場合には、派遣者が令和5（2023）年7月20日（木）までに、開催地主催者に文書で申し出、併せて新しく出場する選手の個人競技参加申込書を提出すること。その後の変更は認めない。

また、参加を取り消す場合には、その都度、文書で開催地主催者に申し出ること。

イ 団体競技

病気等でやむなく選手を変更する場合には、派遣者が令和5（2023）年9月29日（金）までに、開催地主催者に文書で申し出、併せて必要な書類を提出すること。その後の変更は認めない。

また、参加を取り消す場合には、その都度、文書で開催地主催者に申し出ること。

4 番号布

(1) 個人競技に出場する選手は、競技用の服装に必ず番号布を付けるものとする。

ただし、水泳に出場する選手はIDカード（所属選手団、氏名、出場種目等を記載したもの）をもって番号布に代える。

(2) 番号布（IDカードを含む。）は主催者が準備し、派遣者に配布する。

(3) 番号布の布地の色は、障害別に次のとおり色分けし、数字は黒色とする。

なお、障害が重複している場合には、出場する障害部門の色の番号布を使用し、布の下端5センチメートルに他の重複する障害部門の色を表示する。

ア 肢体不自由者 白

イ 視覚障害者 薄緑

ウ 聴覚障害者 黄

エ	知的障害者	桃
オ	内部障害者	水色
カ	精神障害者	薄茶

5 競技場への入退場

- (1) 係員の指示に従うものとする。
- (2) 出場選手の介助等のため競技エリア内に入場する者は、あらかじめ開催地主催者の許可を受け、開催地主催者が用意するビブス等を着用した者に限る。

6 公式練習

- (1) 期日
令和5（2023）年10月27日（金）に行う。
※ただし、アーチェリーは令和5（2023）年10月28日（土）に行う。
- (2) 時間及び場所
別に定める。

7 その他

- (1) この要項に定めるもののほか、競技運営上必要な事項は、競技ごとに競技運営主管団体と協議の上、競技別実施要領に定める。
- (2) 参加者は、開催地主催者が定めた「燃ゆる感動かごしま大会における新型コロナウイルス感染症 感染防止対策ガイドライン」を遵守すること。

余 白

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 陸上競技実施要領

1 競技規則

令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 ウォームアップ

大会当日のウォームアップは、定められた場所・方法で安全に留意し、競技役員の指示に従って行うものとする。特にトラックの横断は決められた通路を使い、練習の妨害にならないよう、安全には十分留意する。練習を行うに当たっては、競技役員の指示に従い安全に留意して行う。

(1) 場所

白波スタジアム補助競技場及び平和リース球場

(2) 使用方法

ア 車いすを使用する練習は、第1・第2レーンを周回使用する。（第3レーンにカラーコーンを設置する。）

イ スタート及び短距離練習は、ホームストレート側の第7・第8レーンを使用する（視覚障害者が練習している場合は、視覚障害者の練習を優先する）。

リレーの練習は、第4・第5レーンを使用する。リレーの練習をする際は、他の練習の妨げにならないよう配慮する。（第6レーンにカラーコーンを設置する。）

ウ ランニングは、トラック外・フィールド内の芝生を使用する。

エ 走高跳の練習は、第1・第2コーナー側フィールド内の走高跳ピットを使用する。

オ 立幅跳及び走幅跳の練習は、指定されたピットを使用する。

カ スラロームの練習は、指定された専用コースを使用する。

キ 砲丸投の練習は、補助競技場内の砲丸投専用ピットを使用する。

ク ビーンバッグ投の練習は、補助競技場内の指定されたピットを使用する。

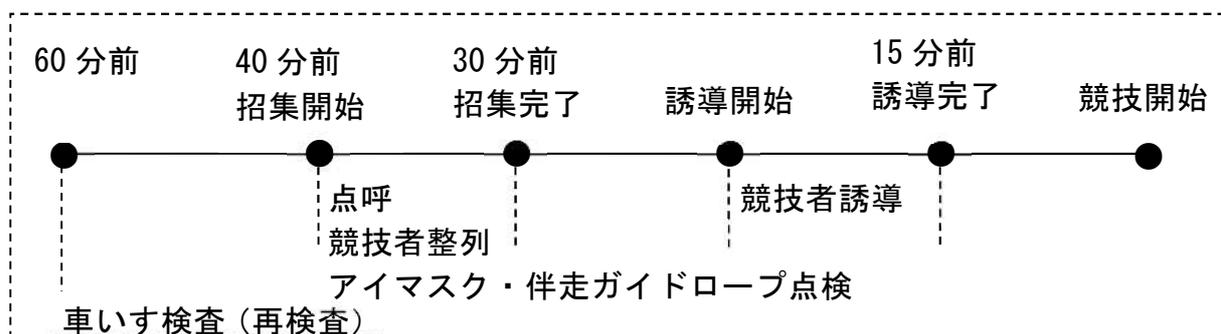
ケ ソフトボール投及びジャベリックスローの練習に関しては、平和リース球場内の練習場を使用する。

(3) その他

投てき練習場については、各チームの監督、コーチが必ず付き添い、事故のないよう責任を持って行う。

3 招集

- (1) 招集場所は、第4ゲート付近とする。
- (2) 招集の流れは競技開始予定時刻を基準として次のとおりとする。



(3) 招集の方法

- ア 競技者は、競技開始予定時刻の40分前から30分前までに点呼を受ける。代理は認めない。
- イ 点呼を受けた競技者は、競技役員の指示に従い、整列して誘導を待つ。
- ウ 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなし、競技に出場することができない。
- エ リレー種目に出場するチームは、招集完了時刻60分前までに、オーダー用紙2枚(同じ物)に記入し、テクニカルインフォメーションセンター(以下、「T I C」という。)に提出する(オーダー用紙は事前に配布する)。
- オ 伴走者のガイドロープは、招集所において長さを確認する。
- カ 障害区分24の競技者が装着するアイマスクやアイシェード(以下、「アイマスク等」という。)は、招集所において光がもれないか競技役員が確認するとともに、不正なアイマスク等を持ち込まないよう手荷物検査を行う場合がある。

4 車いすの検査

- (1) 車いすを使用する競技者は、競技に出場する際に車いすの検査を受け、「車いす検査済証」の交付を受けなければならない。
- (2) 車いす検査は、車いす検査所において競技開始予定時刻60分前から開始する。
- (3) 一度不合格であった場合でも、招集完了時刻までに修理・改善すれば再検査を受けることができる。(時間内に検査に合格しなければ競技に出場することができない。)

5 服装等

- (1) 競技を行う時は、競技用の服装(ランニングシャツ、トレーニングシャツ等)を着用しなければならない。リレーに出場するチームの競技者は、原則、同一のユニフォームを着用しなければならない。
- (2) 番号布(アスリートビブス)は、主催者が交付したものを競技用服装の上衣の胸部及び背部につける。ただし、走高跳の競技者は胸部又は背部のどちらかに付けばよい。また、車いす使用の競技者は競技役員の指示に従い、車いすの見やすい位置に取り付ける。
- (3) 腰ナンバー標識は、左右の腰(車いす競技者はヘルメットの両側、50m競走

に出場する車いす競技者は両腕等)によく見えるように貼り付け、競技役員の確認を受ける。

- (4) 競技の際に使用する靴は、日本陸上競技連盟競技規則の定めるところとし(競技用靴のスパイクピンの長さは、9mm以下、走高跳、ソフトボール投及びジャベリックスローは12mm以下とする。なお、競技場及び補助競技場でのニードルピンの使用は可能とする。)、靴底の厚さは、トラック競技では800m未満の種目(リレーを含む)は最大20mm、800m以上の種目は最大25mmとする。(フィールド競技に関しては靴底の厚さの規定は適用しない。)なお、障害により補装具等を使用している場合は、この限りではない。また、危険(けが)の予防上、裸足での競技参加は認めない。

6 介助者・伴走者

- (1) 「介助・伴走許可証(ビブス)」の交付を受けた者に限り競技場内に入場することができる。介助者・伴走者の入場を申請できる選手は、競技規則集に定める障害区分に拠る。その際は、競技開始前に理由を添えて申請し、主催者の許可を受けなければならない。
- (2) 介助者の服装は運動靴及び運動着とし、伴走者の服装は競技者の服装に準ずるものとする。
- (3) 伴走者は、使用時に両端の最大長が50cm以下となる非伸縮性のガイドロープを持つこととし、フィニッシュで競技者の斜め後ろに位置しなかった場合は、失格とする。
- (4) 介助者及び伴走者は、競技役員の指示に従うものとし、競技場内では競技者の競技上有利になるような助言等をしてはならない。助言等は助力とみなされ、競技役員から注意・警告を受け、聞き入れない場合は、当該競技者を失格とする。(介助者が競技の伴走をした場合も助力とみなす。)
- (5) 介助者及び伴走者は、カメラ・ビデオ・携帯電話、もしくは類似の機器等を競技区域内で所持又は使用することはできない。また、競技に関係のない物についても持ち込むことはできない。

7 競技場への入退場

- (1) 競技場への入退場については、全て競技役員の指示により行う。
- (2) 競技が終了した競技者は、競技役員または競技補助員により競技終了者待機所まで誘導された後、競技者解散所に誘導され解散する。ただし、1位から3位までの入賞者は、競技終了者待機所から誘導された後、表彰者待機所まで移動し、表彰を受けた後、競技者解散所で解散する。

8 競技方法

- (1) トラック競技の走路順又は競技順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。
- (2) 50m、100m、200m、400m競走及び4×100mリレーは、セパレートレーンで行う。ただし、視覚障害者(区分24)の50m競走は、オープンレーンで1名ずつ行う。
- (3) 800m競走は、第1曲走路のブレイクラインまでセパレートレーンで行う。
- (4) トラック競技で他の競技者を妨害した場合は、その競技者を失格とする。な

お、この場合も再レースは行わずレースは成立したものとする。

- (5) セパレートレーンで行う視覚障害者のトラック競技では、1競技者に2レーンを割り当てる。
- (6) 視覚障害者の50m競走に出場する競技者が使用する音源は、ハンドマイクに収納した音響(電子音)または選手団で用意したものを使用することができる。
- (7) 聴覚障害者の100m, 200m競走のスタートでは、光刺激スタート発信装置を使用することができる。なお、選手は発信装置の使用・不使用を選択することができる。不使用の場合は、発信装置をレーンナンバー後方へ移動する。
- (8) リレーの参加区分は、男女混合とする。
- (9) 走高跳を除くフィールド競技の試技は3回まで許される。
- (10) フィールド競技の場合、練習は試技順に1回を原則とする。競技運営の関係上、練習時間をとらずに直接試技に入ることがある。
- (11) 視覚障害者(障害区分24・25)の立幅跳及び投てき種目については、必要に応じて競技役員又は競技補助員が方向を指示する。ただし、立幅跳については声や音源による援助は行わない。
- (12) 視覚障害者(障害区分24)の競技者は、競技エリアでは光を通さないアイマスク等を装着しなければならない。アイマスク等を外すことができるのは、審判が認めたときだけであり、無断で外す(顔から離したりめくったりする行為を含む)ことは認められない。
- (13) 走高跳において表彰組の中で最後の1人となり、1位が決まった場合、バーを上げる高さ又はバーの上げ幅については、当該審判又は審判長が決定する。
- (14) 走高跳のバーの最初の高さは、下記の通りとする。バーの上げ方は一律2cmとする。
 - 区分2・区分3 : 男子140cm, 女子120cm
 - 区分25 : 男子115cm, 女子100cm
 - 区分26 : 男子130cm, 女子100cm
 - 区分27 : 男子100cm, 女子100cm
- (15) すべての視覚障害者の走幅跳の踏切板の長さは1mとする。
- (16) 投てきに使用する競技用具は、主催者が用意したものとする。
- (17) 砲丸投はローテーションで行い、ジャベリックスロー、ソフトボール投は3回連続して行うものとする。ただし、車いす使用者は、種目に関わらず3回連続して行う。
 - ※ 車いす使用者以外の競技者についても、競技運営の関係上、3回連続して投げる場合がある。
- (18) 車いすで100m以上の競走競技に出場する競技者は、ヘルメットを着用して競技をしなければならない。ヘルメットの貸し出しは行わない。
- (19) 車いすで800m以上の競走競技に出場する競技者は、競技用車いす(レーサー)を使用しなければならない。

9 表彰式

表彰式は、各組の競技終了後に順次行う。

10 その他

- (1) 監督会議は令和5(2023)年10月27日(金)に行う。なお、監督会議の時

間及び場所については別途通知する。

- (2) 競技場内へは、競技者、大会役員、競技役員、競技補助員、情報支援ボランティア、実施本部員及びあらかじめ許可された介助者・伴走者、報道関係者及び視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (3) トラック競技に出場する競技者の衣服は、スタート準備完了後担当者（競技補助員）が競技終了者待機所へ運ぶ。
- (4) 抗議については、大型スクリーンでの記録発表後、30分以内に競技者自身または代理人あるいはチームを公式に代表する者がT I Cまで申し出ること。その後の抗議は一切受け付けない。
- (5) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途定める。

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」

水泳競技実施要領

1 競技規則

令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 使用プールについて

- (1) プールの水深は160cmとし、入退水専用レーンには両隅に低床フローアを設置する。
- (2) 水温は28℃～30℃とする。

3 招集

- (1) 招集は、競技開始予定時刻の30分前から15分前までに終了する。
- (2) 招集時刻に遅れた選手は、棄権とみなす。
- (3) 競技時刻は、進行の都合により変更する場合があるので、放送・掲示板等に十分注意すること。
- (4) 選手は、招集時に主催者が用意したIDカードを必ず携帯すること。
- (5) 前レースの表彰終了時間から次レースの招集終了時間までが10分以内の選手については、当該選手の代理の者がその旨を招集所に申し出、代行することができる。
- (6) 障害区分23の者が装着する光を通さないゴーグルは、招集所において競技役員が、光の漏れがないかを確認する。確認後はそのゴーグルを競技終了まで装着すること。

4 リレーオーダーの提出

リレーオーダー用紙は、その種目が行われる60分前までにリゾリユーションデスクに提出すること。

5 選手紹介

ゲートから1人ずつ（1チームずつ）入場し、その際に選手紹介を行う。入場は、6レーンから順に行う。ゲート後方への選手誘導は競技役員が、レーンへの選手誘導は競技補助員が行う。

6 介助者等

- (1) 障害により介助者による補助や指示がどうしても必要な選手については、申込時に介助者の入場申請ができる。
- (2) 申請が必要となる競技者と障害区分
 - ア 競技規則上可能な介助
 - (ア) スタート介助（入退水介助）
安全にスタート台上等に立つまたは座ること、およびそれまでの移動が困難な競技者
 - (イ) タッピング
 - a 障害区分23
必ず介助が必要（50m種目ではスタート・ターンのサイド各1名、計2名が必要）
 - b 障害区分24
 - イ 競技規則以外で可能な介助
 - (ア) 入退水介助
安全に入退水することが困難な競技者
 - ウ 競技規則以外で可能な同伴
 - (ア) 情緒不安定
障害区分26及び同等の障害が重複する競技者（他選手に迷惑をかける場合に限

る。)

(1) 種目の指示

障害区分 26 及び同等の障害が重複する競技者（泳ぐ種目を理解できない場合に限る。)

(3) 申請

ア 介助及び同伴を必要とする選手は、参加申込時にその理由を添えて「介助許可証（ビブス）交付申請書」を主催者に申請しなければならない。

イ 本項(2)の「申請対象となる障害区分」以外で同等の障害を有し介助又は同伴を必要とする場合は、参加申込時にその理由を添えた申請が必要である。

ウ 参加申込以後、介助者を要する事情が発生した場合は、自選手団公式練習終了 60 分前までに「特記事項変更申請書」をリゾリユーションデスクへ提出し、審判長の許可を得なければならない。ただし、初参加のため「不安がっている」、「緊張している」等、障害の種類や程度によらない理由での申請は認めない。

(4) 禁止事項

ア 介助者及び同伴者は、競技エリア及び招集所においてのコーチング（声かけを含む。）をしてはならない。

(ア) 他の選手へ迷惑となる行為は招集所の外で対応すること。

(イ) 本項(2)ウ(イ)で、同伴者による距離及び種目の確認のための声かけは認める。

イ 介助者及び同伴者は、競技エリア及び招集所において許可されたこと以外をしてはならない。例えば、カメラ、ストップウォッチ、携帯電話等の使用は認めない。

7 誘導

(1) 競技エリアでの誘導は、競技役員及び競技補助員が行う。

なお、許可を受けた介助者がいる場合は、競技役員の指示に従う。

(2) 選手は競技終了後、競技役員及び競技補助員の誘導により選手解散所にて解散する。

なお、入賞者については、表彰式終了後、選手解散所にて選手出迎えの者に引き継ぐものとする。

8 出発合図

出発合図は、閃光・電子音装置を使用する。

聴覚障害者のスタートは、光刺激スタート合図システムを使用する。

9 計時

(1) 計時は、自動審判計時装置及び半自動審判計時装置を使用する。

(2) 有効面外のタッチ又はライトタッチで自動審判計時装置が作動しない場合は、半自動審判計時装置により計測した記録とする。

10 浮具の使用

障害区分 22 の選手で、参加申込時に申し出があり、かつ、審判長が認めた場合、両腕、首及び腰に浮具を使用することができる。ただし、浮具は選手が用意しなければならない。

11 貸出用車椅子

競技エリア内への入場の際に車いすが必要な選手は、原則として主催者の用意した車椅子を使用するものとする。この場合において、主催者に対して参加申込時に申請すること。

なお、自身の車いすを使用する場合は車輪の汚れを取り除くこと。

12 種目順

別表の種目順により競技を行うので、参加申込時に参考にすること。ただし、編成上、やむを得ず種目順を変更することがある。

13 開始式・表彰式

(1) 開始式

- ア 開始式は、競技開始前にプールサイドで行う。
- イ 開始式に参加する選手は、原則として選手団ユニフォームを身に着けること。

(2) 表彰式

- ア 表彰式は、原則、3レース終了ごとに行う。
- イ 表彰式に参加する選手は、原則として選手団ユニフォームを身に着けること。

14 撮影

- (1) 介助者又は同伴者による競技エリアでの撮影は禁止する。
- (2) フラッシュ撮影は禁止する。

15 更衣・服装

- (1) 国際水泳連盟の公認した水着を着用すること。ただし、身体的理由により国際水泳連盟の公認した水着の着用が不可能な場合、競技会前日の自選手団公式練習終了までに「国際水泳連盟規定外の水着使用申請書」をリゾリユーションデスクへ提出し、審判長の確認と許可を得ること。
- (2) 更衣は、更衣室を利用すること。
異性の介助を必要とする者は、参加申込時に申請のうえ、専用の更衣室を使用すること。
- (3) 更衣室及び競技エリア以外では、水着及び裸足の状態で歩きまわらないこと。

16 ウォームアップ

ウォームアップについては、主催者において別途定める。

17 その他

- (1) 監督会議は令和5年10月27日（金）に行う。なお、時間及び場所については別途通知する。
- (2) 競技エリアへは、選手その他、主催者や競技役員の許可を受けた関係者以外は立ち入ることができない。
- (3) 貴重品については、各自責任を持って管理すること。
- (4) 土足厳禁の区域制限を守ること。
- (5) 競技エリアでは、水分補給のみ認め、水分補給以外の飲食は禁止する。
- (6) 選手の控所は、指定された場所を利用すること。
- (7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。

別表

種目順

1	25m自由形	6	50m平泳ぎ
2	25m平泳ぎ	7	50m背泳ぎ
3	25m背泳ぎ	8	50mバタフライ
4	25mバタフライ	9	4×50mフリーリレー
5	50m自由形	10	4×50mメドレーリレー

**特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
アーチェリー競技実施要領**

1 競技規則

令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 1 標的2名（A・B）の1立制とし、3射ごとに採点・矢取りを行う。
- (2) 行射時間は3射2分とする。
- (3) 練習は、競技開始前に行い、「3射2分矢取り」を2回繰り返す。
- (4) 競技進行は、音響・視覚による時間管理装置（信号機）により行う。
- (5) 得点記録及び矢の回収の権利は、チームの監督、競技者の代行者（エージェント）もしくは競技運営主管団体に委託する。

3 的番・立番

的番及び立番は、主催者が決定する。

4 用具

競技に必要な用具は、競技者が各自用意し、用具検査を受けたものを使用する。大会期間中の用具管理は、各自の責任において行う。

5 服装等

- (1) 競技時の服装は、競技規則に準じたものとする。
- (2) 番号布（ゼッケン）は、主催者が交付したものを、競技者のクイーパー又は大腿部に表示し、競技中は常にシューティングライン後方から見えなければならない。
なお、指定の場所への表示が難しい場合は、状況に応じて別途指示をする。

6 用具検査

用具検査は、令和5（2023）年10月28日（土）及び29日（日）に競技会場で行う。用具検査には、弓具以外に、服装、番号布、車いす、補助具等を含む。

7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 アシスタント

- (1) 障害区分1又は特別な事情のある競技者は、アシスタントを1名つけることができる。競技者の介助を行う者は、あらかじめ主催者の許可を得て競技者と同じゼッケン

の交付を受け、表彰式終了時まで着用する。

- (2) アシスタントは、シューティングライン（SL）まで入場することができる。
- (3) 競技者に対する助言は認めない。ただし、用具に重大な異常が生じていることを告げる場合を除く。
- (4) アシスタントの違反行為は、すべて競技者の違反行為とみなす。
- (5) アシスタントは、射場内に競技上必要な物以外は持ち込んで서는ならない。
- (6) アシスタントは、競技役員の指示に従わなければならない。

9 その他

- (1) 監督会議は令和5（2023）年10月28日（土）に行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) 競技場内へは、競技者、監督、コーチ、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員、情報支援ボランティア及びあらかじめ許可されたアシスタント、報道関係者、視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (3) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取り扱いは、主催者において別途決定する。

**特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
卓球競技実施要領**

1 競技規則

令和5年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 競技種目は、一般卓球とサウンドテーブルテニス(以下「STT」という。)とし、5ゲームズマッチ(1ゲームは11点)で行う。
- (2) 試合は、各ブロックのリーグ戦方式で行う。
- (3) 各ブロックは4名以内とし、原則として同一の障害区分及び年齢区分の選手で構成する。
- (4) 出場選手の少ない障害区分及び年齢区分では、別の障害区分及び年齢区分の選手と併せて同一ブロックを構成することがある。ただし、順位の設定、記録の認定及び表彰は、それぞれの障害区分及び年齢区分別に行う。

3 競技用具・競技条件等

- (1) 一般卓球の競技用具
 - ア テーブルの色は、ブルー又はレジュブルーとする。
 - イ 使用球は、公益財団法人日本卓球協会公認プラスチック球とし、主催者が用意する。
 - ウ 競技領域は、長さ8m、幅5m以上とする。
- (2) STTの競技用具・競技条件
 - ア テーブルの色は、グリーンとする。
 - イ 使用球は、公益財団法人日本パラスポーツ協会公認プラスチック球とし、主催者が用意する。
 - ウ アイマスク又はアイシェードは各自で用意することとする。
 - エ 競技領域は、長さ5m、幅4m以上とする。

4 服装等

- (1) 競技用服装は、公益財団法人日本卓球協会が公認したマークの付いたものでなければならない。身体の障害等により日本卓球ルールで定められた服装の着用が困難な者は、事前に「服装緩和措置申請書」を審判長に提出し、許可を得ること。
- (2) 主催者が交付した番号布(ゼッケン)を競技用服装の背部に付けること。
- (3) 義肢や松葉杖を使用する選手は、特に支障がない限り、接触面にあてがう布やカバー等を用意すること。

5 選手招集

- (1) 選手招集時刻は、試合開始15分前とする。

- (2) 選手招集時刻に遅れた選手は、原則として棄権とみなす。

6 サービス規定緩和

身体の障害等によりサービスの規定の緩和が明らかに必要な場合は、事前に「サービス緩和措置申請書」を審判長に提出し、許可を得ること。

7 介助者

- (1) 介助が必要な選手については、申込み時に介助者の入場申請ができる。ただし、介助者はベンチ（アドバイザー席）に入ることができない。
- (2) 「介助許可証（ビブス）」の交付を受けた者に限り競技場内に入場することができる。
- (3) 介助者は、競技者が競技場有利になるような助言等をしてはならない。
- (4) 競技場内に競技上必要な物以外を持ち込んで서는ならない。
- (5) 介助者は、競技会場内では、競技役員の指示に従うものとし、注意・警告を受け、聞き入れない場合は、当該競技者を失格とする。

8 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

9 その他

- (1) 監督会議は令和5年10月27日（金）に行う。なお、時間及び場所については別途通知する。
- (2) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (3) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 フライングディスク競技実施要領

1 競技規則

令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 競技は、全て競技役員の指示により進行する。
- (2) 競技は、主催者が用意した公式用具により行う。

3 服装等

- (1) 競技を行う時は、競技用の服装（運動しやすい服装等）とし、靴はスパイクが付いていない運動靴を着用する。
- (2) 番号布（ゼッケン）は、主催者が交付したものを競技用服装の上衣の胸部及び背部に付ける。

4 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、各組競技終了後に順次行い、各競技の組ごとに1位から3位までの選手にメダルを授与する。

5 受付・招集

- (1) 選手は競技会場到着後、選手受付所において選手団ごとに受付を行う。
- (2) 選手招集所は、競技会場内に設ける。
- (3) 招集は、その組の競技開始予定時刻20分前に開始し、10分前に完了する。
- (4) 選手は招集完了時刻までに選手招集所に集合し、競技役員の点呼を受ける。招集時刻に遅れた者は棄権とみなす。

6 介助者

- (1) 介助者として競技エリア内への入場を希望する者は、あらかじめ主催者の許可を得なければならない。許可を受けた者に限りビブスを着用し、指定された場所まで入場することができる。
- (2) 介助者申請をする者は、以下の項目を理解した上で申請するものとする。
 - ア 介助者は、スパイクが付いていない運動靴を着用する。
 - イ 介助者は、競技役員の指示に従うものとし、競技エリア内では競技者の競技上有利になるような助言、応援、声かけ、合図の仕合をしてはならない。また、競技エリア内での撮影、通信機器の使用及び記録の書き取りは禁止する。これらに度重なって違反した場合、当該介助者を退場とする。

(3) ビブスは選手解散所で返却すること。

7 その他

- (1) 監督会議は令和5（2023）年10月27日（金）に行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) 大会当日のディスクを使用した練習は、練習会場に限る。練習会場では安全に留意し、係員の指示に従って行うものとする。
- (3) 練習用ディスクは、主催者が用意する。
- (4) 競技場内への入退場は、競技役員の指示により行う。
- (5) 競技及び表彰の終了した選手は、競技役員又は競技補助員が解散所まで誘導し、各選手団に引継ぎ解散する。
- (6) 競技場内へは、選手、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員、情報支援スタッフ及びあらかじめ許可された介助者、報道関係者及び視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (7) 原則として、雨天であっても競技実施とするため、雨具、防寒具等は各自で準備するものとする。
- (8) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 ボッチャ競技実施要領

1 競技規則

令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム編成

- (1) チームの構成は男女の区別なく2人1組とする。
- (2) チームの1人は、キャプテンとして腕章を装着して試合を行う。
- (3) ペアの構成は、「立位」と「座位」の選手とする。
- (4) 障害の程度に応じて競技アシスタント、またはランプオペレーターをつけることができる。
- (5) 試合に出場するチームには、コーチを1名配置することができる。

※選手1名が棄権した場合、参加可能な選手1名が2エンドともオープン扱いで競技することができる。なお、オープン扱いとなった試合、リーグ戦の成績には反映されない。

3 競技方法

- (1) 3チームまたは4チームのプールに分かれ、各プールにてリーグ戦を行う。
なお、プール分けに際して障害区分は考慮しない。
- (2) 試合は2対2のペア戦を2エンド行う。2エンドの総得点で勝敗を決定する。2エンド終了時に同点の場合は、タイブレイク（ファイナルショット制度）で勝敗を決定する。
- (3) ジャックボールを含めた各チームの投球時間の合計は、1エンドあたりそれぞれ5分とする。タイブレイク（ファイナルショット制度）では、各チームの投球時間は設定しない。

4 コート

- (1) コートの大きさは12.5m×6mとする。
- (2) コートのラインテープにはボックスサイドライン、ターゲットボックス、クロスには2.5cm幅、それ以外は5.0cm幅の白色ラインテープを使用する。
- (3) 競技にて使用するスローイングボックスは2番、3番、4番、5番とする。

5 ボール

- (1) 主催者にて以下のボールを用意する。
アポワテックBC-AP-001
- (2) 選手は(1)にて示すボールではなく、自身が用意するボールを使用してもよい。その場合、どちらのチームも自分たちが使用するボールを1セット持って、試合に臨むことが

できる。また、これより多いボールを試合に持ち込んではならない。

6 用具検査

- (1) 用具検査は公式練習日にランダムチェックにて実施する。
- (2) 検査の結果、基準を満たしていないと判断された競技用具は試合では使用できない。
なお、ボールが基準を満たしていないと判断された場合、試合では主催者が用意するボールを使用しなければならない。

7 ウォーミングアップ

ウォーミングアップは試合を行うコートにて各プールの第1試合開始前に30分程度行うことができる。また、各試合開始前に2分間ウォーミングアップの時間を設ける。

8 招集

- (1) 選手、競技アシスタント・ランプオペレーター及びコーチは、試合開始20分前から10分前の間に、オーダーシート及び使用する競技用具を持参のうえ招集所に入ること。
- (2) 招集時間に現れなかった選手は原則として棄権とみなし、試合に出場できない。
また、招集時間に現れなかった競技アシスタント・ランプオペレーター、コーチは原則として試合に参加できず、招集所に持参されなかった競技用具は試合では使用できないものとする。
- (3) 招集所には選手、競技アシスタント・ランプオペレーター及びコーチ以外は入ることができない。

9 ゼッケン

ゼッケンは選手に1枚、競技アシスタント・ランプオペレーターに1枚配付する。選手は胸か足（前面）競技アシスタント・ランプオペレーターは背中にゼッケンを取り付けることとする。ゼッケンを付けていない選手、競技アシスタント・ランプオペレーターは招集所での受付ができないので注意すること。

10 競技進行

競技時間は、原則、プログラムに記載の競技日程表にしたがって行われるが、試合の延長などにより遅延することがある。その場合は、会場内の記録速報所に掲示される競技日程表に時間の変更を記載するので、選手及びチーム関係者は都度確認を行うこと。

11 表彰式

- (1) 各プール3位までの選手にメダルを授与する。
- (2) 競技アシスタント・ランプオペレーター及びコーチはメダル授与の対象外とする。
- (3) 表彰式は、競技終了後、プール毎に競技会場で行う。

12 撮影

- (1) 競技アシスタント・ランプオペレーター、コーチによる競技中の撮影は禁止する。

(2) フラッシュ撮影は禁止する。

13 その他

- (1) 監督会議は令和5（2023）年10月27日（金）に行う。なお、時間及び場所については別途通知する。
- (2) 競技エリアへは、選手のほか、主催者や競技役員の許可を受けた関係者以外は立ち入ることができない。
- (3) 貴重品については、各自責任を持って管理すること。
- (4) 競技エリアは土足禁止であるため、各自体育館シューズに履き替えること。
なお、車いすの選手については、競技エリア入口に設置する粘着マットシートにタイヤの汚れを落とすこと。
- (5) 競技エリアでは水分補給のみ認め、水分補給以外の飲食は禁止する。
- (6) 選手の控所は、指定された場所を利用すること。
- (7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。

**特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
ボウリング競技実施要領**

1 競技規則

令和5年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 試合の方法は、デュアルレーン（アメリカン）方式で行う。
- (2) 競技はすべてスクラッチ4ゲームとし、その合計得点により順位を決定する。
※ 順位の決定の際、同点の成績の場合は、規定に基づきゲームローハイにて決定する。
- (3) 原則として、ゲームは1ボックス（2レーン）8名までとし、1フレームごとに交代で投球する。
- (4) 投球練習は、競技開始前に競技役員の指示により、各選手が競技を行う2つのレーンで10分間行う。
- (5) 隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。
- (6) ファウルについては、自動式ファウル判定機を使用する。
- (7) オートマチックスコアラーの操作、個人記録カードの記入は、全て競技役員が行う。
- (8) 競技は、競技日程に基づき実施し、全て競技役員の指示で行う。

3 服装等

- (1) 服装は、ボウリング競技をする上で支障のないものを着用する。
- (2) ソックスを必ず履くこと。
- (3) 番号布（ゼッケン）は、主催者が交付したものを胸部及び背部に付ける。

4 招集

- (1) 招集は、所定の場所で行う。
- (2) 招集は、原則として開始20分前から指定されたボックスで行い、開始10分前に完了する。
- (3) 招集完了時刻に遅れた選手は、棄権したものとみなし、競技に出場できない。

5 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、各シフトの競技終了後に競技会場で行う。

6 その他

- (1) 監督会議は、令和5年10月27日（金）に行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (3) 選手は、競技中ボウラーズベンチを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず競技役員に申し出ること。
- (4) 各選手団において選手以外にボウラーズエリアに入ることができる者は、選手、監督またはコーチ（各選手団、IDカードを付けた1名のみ）、競技役員、競技補助員とする。ただし、各選手団の監督またはコーチが立ち入ることができるエリアは、自チームが競技しているボックス内のみとする。
また、ボウラーズエリアに入る際は、必ず屋内シューズを着用すること。
- (5) 競技会場のハウスボール及びハウスシューズを使用する場合は、参加申込書に基づき、主催者が競技会場で用意する。
ア ハウスシューズは、主催者が所定の場所に用意し、選手はボウラーズエリア後方の通路で履き替える。
イ ハウスボールは、主催者が所定の場所に用意し、選手は競技終了後、速やかに元の場所に返却する。
- (6) ボールを拭くタオルは、選手自ら用意すること。
- (7) 競技上不明な点は、競技本部に問い合わせること。
- (8) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
バスケットボール競技実施要領

1 競技規則

令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、同年度の公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則及びこの要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、コーチ1名、アシスタント・コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。ここでいうコーチとは、ゲーム中、実際にチームを指揮する者を指す。
- (2) コーチ、アシスタント・コーチ又はマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手の数は、選手を兼ねるコーチ、アシスタント・コーチ、マネージャーを含めて12名以内とする。
- (3) 男女別にチームを編成する。

3 競技方法

- (1) 試合は、男女別トーナメント方式で行い、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。
- (2) 試合時間は、10分クォーターを4回行うものとし、第4クォーターが終わったときに得点が同点だった場合、1回5分間のオーバータイムを決着がつくまで必要な回数行う。第1クォーターと第2クォーターの間及び第3クォーターと第4クォーターの間、及び各オーバータイムの間にそれぞれ2分のインターバルをおく。第2クォーターと第3クォーターの間に10分のハーフ・タイムをおく。
- (3) 交流戦は、10分ハーフとし、第1クォーターと第2クォーターの間に2分のインターバルをおく。第2クォーターは、公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則の第4クォーターのルールを適用する。ただし、第2クォーター終了時に同点の場合は勝敗を決しない。

4 服装等

- (1) 出場選手は、濃色と淡色（白色が望ましい）の2種類のユニフォームを用意し、原則として組合せ番号の若いチームが淡色（白色が望ましい）のユニフォームを着用すること。ただし、2試合目以降については、両チームの協議により、ユニフォームの色の濃淡を変更することができる。
- (2) 背番号は、0、00及び1から99までの番号を使用し、審判とスコアラーにはっきりと分かるように付けること。

5 試合球

試合球は、公益財団法人日本バスケットボール協会主催大会公式試合球とし、男子は7号球（モルテンB 7 G5000）、女子は6号球（モルテンB 6 G5000）とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、令和5（2023）年7～8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選を行い、決定する。

7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 チーム・ベンチ

チーム・ベンチは、組合せ表の番号が若いチームをオフィシャル・テーブルに向かって右側とする。

9 その他

- (1) 監督会議は令和5（2023）年10月27日（金）に行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) 開始式、表彰式に参加する選手は、原則として、ユニフォーム又はジャージのいずれかをチームで統一し着用すること。
- (3) 競技場内には、チームベンチエリアに入る者のほか、主催者が認めた者以外は入ることができない。ただし、車いす使用者及びその介助者等は、指定された場所で観覧及び応援することができる。
- (4) チームスタッフ3名とは別にトレーナーを帯同しているチームは、決められた位置に、1名を待機させることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録したものに限り、このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (5) 会場内の秩序については、競技役員の指示に従うこと。
- (6) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において決定する。

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 車いすバスケットボール競技実施要領

1 競技規則

令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、同年度の公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則及びこの要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。ここでいうコーチとは、ゲーム中、実際にチームを指揮する者を指す。
- (2) コーチ、アシスタントコーチ又はマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手の数は、選手を兼ねるコーチ、アシスタントコーチ、マネージャーを含めて12名以内とする。
- (3) 男女混合のチーム構成も可とする。

なお、女子選手が大会に出場する場合には、コート内（5人）のプレーヤーの持ち点合計より女子選手1人につき1.5点を減算する。ただし、コート内でプレーする女子選手の減算は2人までに適用する。

3 競技方法

- (1) 試合は、トーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。
- (2) トーナメント戦は、10分クォーターを4回行うものとし、第4クォーターが終わったときに得点が同点だった場合、1回5分間のオーバータイムを決着がつくまで必要な回数行う。第1クォーターと第2クォーターの間、第3クォーターと第4クォーターの間、及び各オーバータイムの間にそれぞれ2分のインターバルをおく。第2クォーターと第3クォーターの間に10分のハーフタイムをおく。
- (3) 交流戦は、10分のクォーターを2回行うものとし、第1クォーターと第2クォーターの間に2分のインターバルをおく。第2クォーターには、一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟競技規則の第4クォーターのルールを適用する。ただし、第2クォーター終了時に同点の場合は勝敗を決しない。

4 服装等

- (1) 出場選手は、濃色と淡色（白色が望ましい）の2種類のユニフォームを用意し、原則として組合せ番号の若いチームが淡色（白色が望ましい）のユニフォームを着用すること。ただし、2試合目以降については、両チームの協議により、ユニフォームの色の濃淡を変更することができる。
- (2) 背番号は、0、00及び1から99までの番号を使用し、審判とスコアラーにはっきりと分かるように付けること。

5 試合球

試合球は、公益財団法人日本バスケットボール協会検定7号球（モルテンB7G5000）とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、令和5（2023）年7～8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選を行い、決定する。

7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 出場選手の持ち点の確認及び競技用車いすの検査

出場選手は、大会当日までに一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟発行の「選手登録証及び持ち点カード」又は「仮カード」により、補装具等の確認を受けるとともに、競技用車いすの検査を受けること。

9 チーム・ベンチ

チーム・ベンチは、組合せ表の番号が若いチームをオフィシャル・テーブルに向かって右側とする。

10 その他

- (1) 監督会議は令和5（2023）年10月27日（金）に行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) 開始式、表彰式に参加する選手は、原則として、ユニフォーム又はジャージのいずれかをチームで統一して着用の上、競技用車いすで参加すること。
- (3) 競技場内には、チーム・ベンチ・エリアに入る者のほか、主催者が認めた者以外は入ることができない。ただし、車いす使用者及びその介助者等は、指定された場所で観覧及び応援することができる。
- (4) チームスタッフ3名とは別にトレーナーを帯同しているチームは、決められた位置に1名待機させることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録したものに限り、このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (5) 会場内の秩序については、競技役員の指示に従うこと。
- (6) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」

ソフトボール競技実施要領

1 競技規則

令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ2名以内及び登録選手15名以内（男女は問わない）とする。
- (2) 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含め15名以内とする。

3 競技方法

- (1) 全ての試合は5回までとし、トーナメント方式で行い、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に交流戦を実施する。
- (2) 1回戦及び準決勝は、試合開始後60分を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (3) 同点の場合は、タイブレークにより試合を延長して行う。ただし、延長は2回を限度とし、それでも同点の場合は、最終出場選手（D P制を採用した場合はF P選手を除く。）9名の抽選によって勝敗を決する。ただし、決勝戦の延長は勝敗が決するまで行う。
- (4) 3回終了以降10点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断された場合は、3回以上の回の終了をもってコールドゲームとする。（決勝戦、3位決定戦を含む。）
- (5) ファーストピッチにより行う。
- (6) 投球距離は、13.11mとする。
- (7) パスボール、振り逃げ、スクイズバントは適用しない。
- (8) 盗塁が行われた時、該当する走者はアウトとする。

ア ピッチャーが投球したボールが、ホームベースを通過した時点でボールデッドとし、盗塁、キャッチャーからの牽制、暴投による進塁など、その後のプレーは成立しない。

イ ランナーが帰塁を故意に遅らせた場合は、審判団から厳重に注意をし、再度繰り返す場合は、審判団の判断で遅延行為によりランナーをアウトとする。
- (9) 指名選手（D P）制、再出場（リエントリー）制を採用する。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチ及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下に付けなければならない。監督は30番、コーチは31・32番、主将は10番とし、他の選手は1番から99番までの番号とする。また、ユニフォームの左袖（左肩から10cm程度）に都道府県・指定都市

名を表示すること。

- (3) 打者、打者走者、走者、次打者席内にいる次打者及び1・3塁のベースコーチは、両耳あてのある同色のヘルメットを着用する。また、捕手は、スロートガード付きマスク・捕手用ヘルメット、ボディプロテクター及び膝当て付きレガースを着用する。
- (4) 金属製のスパイクは禁止する。

5 試合球

試合球は公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製3号球とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、令和5(2023)年7～8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選の上、決定する。

7 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻30分前までに5部作成し、各球場の競技本部へ提出する。ただし、第1試合は開始式終了後に提出すること。
なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。
- (2) 攻守順の決定は、打順表提出の時に審判員立会いの下「コイントス」によって決定する。

8 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施の有無及び実施方法を変更することがある。

9 その他

- (1) 令和5(2023)年10月27日(金)に監督会議を行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、監督、コーチ、選手以外は入場することができない。ただし、チームスタッフ3名とは別にトレーナー1名を帯同しているチームは、1名ベンチに入ることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (4) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (5) 練習球は、各チームが用意する。
- (6) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 フットソフトボール競技実施要領

1 競技規則

令和5年(2023)度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ2名以内及び登録選手15名以内(男女は問わない。)とする。
- (2) 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含め15名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合はトーナメント方式とし、3位決定戦及び交流戦を実施する。
- (2) 試合は7回までとし、試合開始後60分を経過した後は、新しい回に入らない。
- (3) 指名選手(DP)及び再出場(リエントリー)を採用する。
- (4) 同点の場合は、タイブレークにより試合を延長しておこなう。ただし、延長は2回を限度とし、それでも同点の場合は、最終回に出場していたプレイヤーによる抽選によって勝敗を決める。
- (5) 抽選方法は主管競技団体が定めた方法に添い、最終回に出場していた選手9名の打順で抽選を行う。なお、監督会議にて実施方法を確認する。
- (6) 3回終了以降20点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断され、コールドゲームとなった場合は、3回以上の回を終了していれば、正式の試合と認める。(決勝戦を含む)

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチ及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。ただし、選手がショートパンツを着用するチームの監督及びコーチについては、上衣は同色・同意匠でなければならないが、下衣については、監督及びコーチのみで統一された、別のものを着用してもよい。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は30番、コーチは31・32番、主将は10番とし、他の選手は1番99番までの番号とする。数字の大きさは、背中は15cm以上、胸は6cm～12cmとする。ユニフォームの背中はユニフォームナンバーと個人名・チーム名のみとする。個人名・チーム名をつけるときは、ユニフォームナンバーの上部に全員がつけること(個人名はローマ字表記のみとする)。また、ユニフォームの左袖に、都道府県・指定都市名を表示すること。
- (3) 靴は、運動靴又は金属製以外のスパイクとする。

- (4) 危険防止のため手袋を用意してよい。ただし、投手は、ボール以外の色でなければならない。

5 試合球

試合球はサッカーボール（ゴム製4号球）とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、令和5年7～8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選の上、決定する。

7 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻30分前までに5部作成し、各球場の競技本部へ提出する。ただし、第1試合は、開始式終了後に提出すること。
なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。
- (2) 攻守順の決定は、監督及び主将の立会いのもと、球審のコインのトスによって決定する。

8 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施の有無及び実施方法を変更することがある。

9 その他

- (1) 令和5（2023）年10月27日（金）に監督会議を行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、選手、監督、コーチ以外は入場することができない。ただし、チームスタッフ3名とは別にトレーナーを帯同しているチームは、1名ベンチに入ることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (4) 競技場内へは、主催者の許可を受けたもの以外は立ち入ることができない。
- (5) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (6) 練習球は、各チームが用意する。
- (7) 少雨の場合は決行するが、荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 グランドソフトボール競技実施要領

1 競技規則

令和5年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名及び選手15名以内（男女は問わない。）とし、ほかに専任のコーチャー4名以内、スコアラー1名及びマネージャー1名を設けてもよい。
- (2) 監督が選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。
この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督を含めて15名以内とする。
- (3) 参加申込書の提出後は、登録選手の変更を認めない。

3 競技方法

- (1) 試合は、トーナメント方式とし、3位決定戦及び交流戦を実施する。
- (2) 試合は7回までとし、試合開始後80分（決勝・3決は110分）を経過した後は、新しい回に入らない。7回終了時、同点の場合は8回からタイブレークにより試合を延長して行う。
- (3) 同点の場合は、試合終了時に出場していた両チームのプレイヤーが最終回の守備位置順に抽選し、勝敗を決定する。
- (4) 指名打者(DH)及び再出場（リエントリー）を採用する。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチャー及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は30番、専任のコーチャーは31番から34番、主将は10番とし、他の選手は1番から99番の番号とする。
また、ユニフォームの左袖に都道府県・指定都市名を表示すること。
- (3) 競技中、コーチャーズボックスにいるコーチャーは、黄色の帽子を着用すること。
- (4) スコアラー及びマネージャーは、ユニフォームを着用してはならない。
- (5) 金属製スパイクの使用は禁止する。
- (6) 危険防止のため、競技中の選手（コーチャー含む）は、腕時計、ブレスレット、ネックレス等、危険と思われるものを着用してはならない。

5 試合球

試合球は、全日本グランドソフトボール連盟公認球とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、令和5年7～8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選の上、決定する。

7 打順表等

- (1) 打順表は試合開始時刻 30 分前までに5部作成し、各球場の競技本部へ提出すること。ただし、第1試合は開始式終了後に提出すること。
なお、打順表は、監督会議において競技本部から配布する。
- (2) 攻守順の決定は、打順表の提出の時に審判員立会いのもと決定する
- (3) 視力区分（全盲・弱視）の登録は、打順表の提出をもって行う。

8 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施の有無及び実施方法を変更することがある。

9 その他

- (1) 令和5年10月27日（金）に監督会議を行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、選手、監督、コーチャー、スコアラー、マネージャー以外は入場することができない。
- (4) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (5) アイシェード、全盲プレイヤー標示物、黄色標示物、コーチャー用帽子及び練習球は、各チームで用意すること。
- (6) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (7) 少雨の場合は決行するが、荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 バレーボール競技実施要領

1 競技規則

令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

全てのチームにおいて監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていないならば選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含めて12名以内とする。

(1) 聴覚障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

(2) 知的障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

(3) 精神障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。

イ 男女混合でチームを構成する。（試合中は少なくとも1名以上の女性プレイヤーが出場していなければならない。）

3 競技方法

(1) 試合は、聴覚障害（男女別）、知的障害（男女別）及び精神障害ごとにトーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。

(2) 全試合3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。

(3) 1セット25点のラリーポイント制とする。（ただし、交流戦の3セット目は15点のラリーポイント制とする。）

なお、得点が「24対24」（交流戦3セット目は「14対14」）の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームがそのセットの勝者とする。

(4) 第3セットはいずれかのチームが13点（交流戦は8点）先取したときにコートの変更を行う。

(5) 試合は、ワンボールシステムで行う。

(6) 設定時刻より早く試合を開始することはない。設定時刻を過ぎた場合は、直前の試合終了の10分後にプロトコールを開始する。ただし、連続試合となる場合は試合終了後の20分以上空けてプロトコールを開始する。

4 服装等

- (1) 背番号は、1番から12番までとする。やむを得ない場合は、1番から99番までとする。なお、チーム名、キャプテンマーク及び背番号等のサイズは、規定のものとする。また、ユニフォームに都道府県名・指定都市名を表示すること。
- (2) リベロプレーヤーを採用する場合は、他の競技者と明確に区別できるユニフォームを着用すること。

5 ネットの高さと試合球

- (1) ネットの高さは、次のとおりとする。
 - ア 聴覚障害の試合 男子 2.43m, 女子 2.24m
 - イ 知的障害の試合 男子 2.30m, 女子 2.15m
 - ウ 精神障害の試合 2.24m
- (2) 聴覚障害及び知的障害の試合球は、次の公益財団法人日本バレーボール協会検定球5号球（人工皮革・カラーボール）とする。
 - ア 男子 モルテン製カラーボール（V5M5000）
 - イ 女子 ミカサ製カラーボール（V300W）
- (3) 精神障害の試合球は、日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製円周 78 ± 1 cm, 重量 210 ± 10 g）（S3Y1500-WX）とする。

6 組合せ

組合せは、令和5（2023）年7～8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選を行い、決定する。

7 表彰式

表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 その他

- (1) 監督会議は、令和5（2023）年10月27日（金）に行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチには、選手、監督、コーチ、マネージャー以外は入ることができない。ただし、聴覚障害者のチームにおいて、チームスタッフ3名とは別に手話通訳者1名が帯同する場合はこの限りではない。手話通訳者は、参加申込時に登録した者とする。
- (3) 監督、コーチ、マネージャーは統一された服装を着用すること。
- (4) チームスタッフ3名とは別にトレーナーを帯同しているチームは、決められた位置に1名待機させることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (5) 競技場内へは、ベンチに入る者の他、大会役員等の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (6) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途定める。

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 サッカー競技実施要領

1 競技規則

令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ2名以内及び選手16名以内とする。
- (2) 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含めて16名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合は、トーナメント方式で行い、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。
- (2) 試合時間は60分間（前後半各30分）とし、ハーフタイムのインターバルは10分間とする。ただし、決勝戦及び3位決定戦は、試合時間70分間（前後半各35分）とし、ハーフタイムのインターバルは10分間とする。
交流戦においては40分間（前後半各20分）とし、ハーフタイムのインターバルは10分間とする。
- (3) 試合時間終了時、勝敗が決しないときは、ペナルティーキック方式により次回戦進出チーム及び3位を決定する。決勝戦は、20分間（前後半各10分）の延長戦を行い、なお決しないときは、ペナルティーキック方式により1位を決定する。ただし、交流戦はペナルティーキックを実施しない。
- (4) 試合開始前に登録された交代要員の内、5名まで交代が認められる。
- (5) 試合は、マルチボールシステムで行う。
- (6) 全てのチーム役員は、その都度1名が、主催者が設けるテクニカルエリアから戦術的指示を選手に伝えることができる。テクニカルエリアに入る者は、責任ある態度で行動しなければならない。
- (7) 出場停止処分について、累積警告2枚で次試合に出場することができない。また、退場処分を受けた者についても次試合に出場することができない。

4 服装等

- (1) チームは、フィールドプレーヤー、ゴールキーパーそれぞれ正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を用意しなければならない。原則として背番号は1番から16番までの番号とする。
- (2) 正・副2組のユニフォームについては、参加申込時に登録したもの以外は認めない。

(3) その他については、公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規程に準ずる。

5 試合球

試合球は、公益財団法人日本サッカー協会検定5号球とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、令和5（2023）年7～8月（予定）に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下、代理抽選の上、決定する。

7 開始式・表彰式

(1) 開始式は、令和5（2023）年10月28日（土）に競技会場で行う。

(2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

(3) 開始式、表彰式については、主催者の定める新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン等に基づき、実施しないこともある。

8 招集

(1) メンバー表（監督1名、コーチ2名、選手16名の合計19名以内）は、試合ごとに試合開始90分前までに競技本部に提出すること。（用紙は競技本部が用意し、監督会議時に配布する。）

(2) タイムスケジュールを厳守すること。ただし、前の試合がペナルティーキック方式等により試合時間が延長した場合は、本部より別途指示する。

9 その他

(1) 令和5（2023）年10月27日（金）に監督会議を行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。

(2) 各試合開始70分前にマッチコーディネーションミーティングを行う（交流戦も含む）。

(3) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームをグラウンドに向かって左側とする。

(4) ベンチ内へは、選手、監督、コーチ以外は入場することができない。ただし、チームスタッフ3名とは別にトレーナーを帯同しているチームは2名までベンチに入ることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録したものとする。このトレーナーは実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。

(5) 競技会場の指定されたエリアには、選手、監督、コーチ、事前登録されたトレーナー、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員、情報支援ボランティア及び主催者が認めた者以外は入場することはできない。

(6) 競技に関する不明な点は競技本部に、その他不明な点は実施本部に問い合わせる。

(7) 練習球は、各チームで用意する。

(8) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。

(9) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。

余 白

燃ゆる感動かごしま大会リハーサル大会 荒天時等対応要領

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」リハーサル大会実施要綱17(2)の規定に基づき、この要領を制定する。

1 大会の対応

(1) 大会日程の変更について

台風等の影響により大会日程を変更する（競技会の中止を含む。）必要がある場合及びそのおそれのある場合の対応については、以下の方針に基づき取り進めることとする。

ア 変更を検討する条件

変更を検討する条件は、以下のいずれかに該当する場合又は該当する事案が発生するおそれがある場合とする。

- (ア) 大雨・強風等により、競技施設を競技可能な状態に保てない場合。
- (イ) 競技運営に必要な人員が集合できない場合。
- (ウ) 参加県、指定都市選手団及び個人で参加する選手（以下、「選手団等」という。）が会場に集合できない場合。
- (エ) 県又は開催地市が災害対策等で競技会開催に必要な対応ができない場合。
- (オ) 全国瞬時警報システム（Jアラート）が発令され、安全確保ができない場合。
- (カ) 国内の広範囲に及ぶ大規模な災害が発生した場合又は社会的に大きな事件等が発生した場合。

イ 変更の基本方針

- (ア) 大会会期の移動は不可とする（開始日の前倒し及び最終日の順延は不可）。
- (イ) 大会会期の短縮は可とする。
- (ウ) 大会会期において各競技日程（開始・終了時刻、試合数等）を変更することは可とする。ただし、競技会最終日の終了時刻は、原則として当初の終了予定時刻より遅い時刻に変更しない。

ウ 変更のパターン

原則として以下の(ア)～(ウ)の変更とする。

- (ア) 競技開始日・競技開始時刻を遅らせる又は競技開始時刻を前倒しする（天候が回復するのを待って競技を実施する場合や台風接近前に競技を実施する場合等。ただし、全試合消化できないまま、競技会を終える場合も含む。）。
- (イ) 競技日程・種目の一部を中止する（実施予定日の競技種目のみ実施しない場合等）。
- (ウ) 全日程を中止する（台風接近等により競技開始前に競技施設を撤去し、競技期間内に再設営ができない場合等）。

エ 選手団等の会場への到着に遅れが出ると想定される場合の対応

原則として、全選手団等が会場に到着してから競技会を開始する。ただし、会場に到着が遅れる選手団等の状況を勘案し、当該競技の関係者間〔県と開催地市で構成する競技会実施のための本部（以下、「競技会実施本部」）という。〕、競技運営主管団体及び団体競技においては監督会議出席者〕の合意の上、全選手団等が揃っていない場合においても、競技会を開始できるものとする。

オ 選手団等の帰路における移動に支障があると想定される場合の対応

競技を終了した選手団等が交通機関の運航（運行）している間に帰路につけるよう、競技の開始・終了時刻を変更するなどの対応を行い、可能な限り選手団等の移動に配慮する。

(2) 競技会の全日程を終了できなかった場合の成績・順位の取扱い

天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、以下の判断基準により、当該競技運営主管団体と競技会実施本部が協議し、順位を決定する。

ア 個人競技

(ア) 競技が中止になるまでの成績は、正式な記録として取扱う。

(イ) 天候その他の事情により一時中止となり、競技日程、時間の変更で対応できなかった競技・種目の順位は決定しない。

イ 団体競技

(ア) 競技が中止となる前までの成績で判断し、順位を決定する。

決勝が実施できなかった場合は、決勝に進出した2チームを1位とする。

※ 特別全国障害者スポーツ大会の出場権については、競技会実施本部、当該運営主管団体、該当チーム監督が協議を行い、代表チームを決定する。

(イ) 競技運営上支障がある場合には、2チームを3位とし、3位決定戦を行わなくてもよい。（全国障害者スポーツ大会開催基準要綱細則1-(2)②に準拠）

(ウ) 準決勝が終了していない場合は、順位を空位とし、確定しない。

(3) 変更の決定手順

ア 大会全日程の中止を決定する場合

(ア) 主催者である県が組織する大会実施のための本部（以下、「大会実施本部」という。）において、全日程の中止を検討する。なお、大会開催時まで全日程の中止を検討する場合、大会期日初日の3日前まで及びその必要な時期に、大会実施本部において検討する。

(イ) 最終決定は、主催者間で協議の上、大会実施本部長が判断する。

イ 競技会場ごとに変更を決定する場合

(ア) 天候、交通機関の状況等を勘案し、当該競技運営主管団体及び競技会実施本部において協議の上、対応案を作成する。

(イ) 大会実施本部は、他の競技においても同様に対応案の作成が必要と判断した際は、関連する競技に係る競技会実施本部に対し、競技運営主管団体と協議の上、対応案の作成を求める。

(ウ) 大会実施本部は、(ア)、(イ)を踏まえ、主催者間で協議の上、変更を決定する。

(4) その他

ア 競技会の実施にあたっては、競技会周辺の交通機関の状況等、大会関係者及び観覧者の安全が十分に確保されることを確認すること。

イ 競技会の開始・終了時刻の変更にあたっては、競技役員・競技補助員等の対応についても、十分に配慮すること。

ウ 大会実施本部は、大会ホームページ等を活用し、可能な限り検討状況及び変更の結果を公表する。

2 緊急事案発生時の対応に係る文書の整備

大会期間中に緊急事案が発生した場合における対応については、大会実施本部において、事前に対応要領等を整備するように努めることとする。

